

4 非常用電源設備の基本設計方針，適用基準及び適用規格

(1) 基本設計方針

変更前	変更後
<p>用語の定義は「発電用原子力設備に関する技術基準を定める省令」，「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置，構造及び設備の基準に関する規則」及び「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」並びにこれらの解釈による。</p>	<p>用語の定義は「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置，構造及び設備の基準に関する規則」及び「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」並びにこれらの解釈による。</p>
<p>第1章 共通項目</p> <p>非常用電源設備の共通項目である「1. 地盤等，2. 自然現象，3. 火災，5. 設備に対する要求(5.6 逆止め弁を除く。)，6. その他(6.4 放射性物質による汚染の防止を除く。)」の基本設計方針については，原子炉冷却系統施設の基本設計方針「第1章 共通項目」に基づく設計とする。</p>	<p>第1章 共通項目</p> <p>非常用電源設備の共通項目である「1. 地盤等，2. 自然現象，3. 火災，4. 溢水等，5. 設備に対する要求(5.6 逆止め弁を除く。)，6. その他(6.4 放射性物質による汚染の防止を除く。)」の基本設計方針については，原子炉冷却系統施設の基本設計方針「第1章 共通項目」に基づく設計とする。</p>
<p>第2章 個別項目</p> <p>1. 非常用電源設備の電源系統</p> <p>1.1 非常用電源系統</p> <p>重要安全施設においては，多重性を有し，系統分離が可能である母線で構成し，信頼性の高い機器を設置する。</p> <p>非常用高圧母線(メタルクラッド開閉装置で構成)は，多重性を持たせ，3系統の母線で構成し，工学的安全施設に係る高圧補機と発電所の保安に必要な高圧補機へ給電する設計とする。また，動力変圧器を通して降圧し，非常用低圧母線(パワーセンタ及びモータコントロールセンタで構成)へ給電する。非常用低圧母線も同</p>	<p>第2章 個別項目</p> <p>1. 非常用電源設備の電源系統</p> <p>1.1 非常用電源系統</p> <p>重要安全施設においては，多重性を有し，系統分離が可能である母線で構成し，信頼性の高い機器を設置する。</p> <p>非常用高圧母線(メタルクラッド開閉装置で構成)は，多重性を持たせ，3系統の母線で構成し，工学的安全施設に係る高圧補機と発電所の保安に必要な高圧補機へ給電する設計とする。また，動力変圧器を通して降圧し，非常用低圧母線(パワーセンタ及びモータコントロールセンタで構成)へ給電する。非常用低圧母線も同</p>

変更前	変更後
<p>様に多重性を持たせ、3系統の母線で構成し、工学的安全施設に係る低圧補機と発電所の保安に必要な低圧補機へ給電する設計とする。</p> <p>また、高圧及び低圧母線等で故障が発生した際は、遮断器により故障箇所を隔離できる設計とし、故障による影響を局所化できるとともに、他の安全施設への影響を限定できる設計とする。</p> <p>さらに、非常用所内電源系からの受電時の母線切替操作が容易な設計とする。</p> <p>これらの母線は、独立性を確保し、それぞれ区画分離された部屋に配置する設計とする。</p> <p>原子炉緊急停止系並びに工学的安全施設に係る多重性を持つ動力回路に使用するケーブルは、負荷の容量に応じたケーブルを使用し、多重化したそれぞれのケーブルについて相互に物理的分離を図る設計とするとともに制御回路や計装回路への電氣的影響を考慮した設計とする。</p> <p>1.2 所内電気系統</p> <p>非常用所内電気設備は、3系統の非常用母線等（メタルクラッド</p>	<p>様に多重性を持たせ、3系統の母線で構成し、工学的安全施設に係る低圧補機と発電所の保安に必要な低圧補機へ給電する設計とする。</p> <p>また、高圧及び低圧母線等で故障が発生した際は、遮断器により故障箇所を隔離できる設計とし、故障による影響を局所化できるとともに、他の安全施設への影響を限定できる設計とする。</p> <p>さらに、非常用所内電源系からの受電時の母線切替操作が容易な設計とする。</p> <p>加えて、重要安全施設への電力供給に係る電気盤及び当該電気盤に影響を与えるおそれのある電気盤（安全施設（重要安全施設を除く。）への電力供給に係るものに限る。）について、遮断器の遮断時間の適切な設定、非常用ディーゼル発電機の停止等により、高エネルギーのアーク放電によるこれらの電気盤の損壊の拡大を防止することができる設計とする。</p> <p>これらの母線は、独立性を確保し、それぞれ区画分離された部屋に配置する設計とする。</p> <p>原子炉緊急停止系並びに工学的安全施設に係る多重性を持つ動力回路に使用するケーブルは、負荷の容量に応じたケーブルを使用し、多重化したそれぞれのケーブルについて相互に物理的分離を図る設計とするとともに制御回路や計装回路への電氣的影響を考慮した設計とする。</p> <p>1.2 所内電気系統</p> <p>非常用所内電気設備は、3系統の非常用母線等（メタルクラッド</p>

変更前	変更後
<p>開閉装置（6900V, 1200A のものを 3 個）、パワーセンタ（480V, 5000A, 480V, 3000A 及び 480V, 2000A のものを 6 個）、モータコントロールセンタ（480V, 400A 及び 480V, 800A のものを 21 個）、動力変圧器（4000kVA, 6900/480V, 2000kVA, 6900/480V 及び 1500kVA, 6900/480V のものを 6 個）により構成することにより、共通要因で機能を失うことなく、少なくとも 1 系統は電力供給機能の維持及び人の接近性の確保を図る設計とする。</p>	<p>開閉装置（6900V, 1200A のものを 3 個）、パワーセンタ（480V, 5000A, 480V, 3000A 及び 480V, 2000A のものを 6 個）、モータコントロールセンタ（480V, 400A 及び 480V, 800A のものを 21 個）、動力変圧器（4000kVA, 6900/480V, 2000kVA, 6900/480V 及び 1500kVA, 6900/480V のものを 6 個）により構成することにより、共通要因で機能を失うことなく、少なくとも 1 系統は電力供給機能の維持及び人の接近性の確保を図る設計とする。</p> <p>これとは別に設計基準事故対処設備の非常用所内電気設備が機能喪失した場合の重大事故等対処設備として、代替所内電気設備を使用できる設計とする。</p> <p>代替所内電気設備は、緊急用断路器（「7 号機設備, 6, 7 号機共用」（以下同じ。））（6900V, 600A のものを 2 個）、緊急用電源切替箱断路器（6900V, 600A のものを 1 個）、緊急用電源切替箱接続装置（6900V, 1200A のものを 2 個）、AM 用動力変圧器（750kVA, 6900/480V のものを 1 個）、AM 用 MCC（480V, 800A のものを 2 個）、AM 用切替盤（480V, 30A 及び 480V, 60A のものを 2 個）、AM 用操作盤、メタルクラッド開閉装置 6C 及びメタルクラッド開閉装置 6D、電路、計測制御装置で構成し、常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備又は可搬型直流電源設備の電路として使用し電力を供給できる設計とする。</p> <p>また、代替所内電気設備及び非常用所内電気設備は、少なくとも 1 系統は機能の維持及び人の接近性の確保を図る設計とする。</p> <p>代替所内電気設備の緊急用断路器、緊急用電源切替箱断路器、緊急用電源切替箱接続装置、AM 用動力変圧器、AM 用 MCC 及び AM 用</p>

変更前	変更後
	<p>操作盤は、非常用所内電気設備と異なる区画に設置することで、共通要因によって同時に機能を損なわないように位置的分散を図る設計とする。</p> <p>代替所内電気設備は、独立した電路で系統構成することにより、非常用所内電気設備に対して、独立性を有する設計とする。</p> <p>これらの位置的分散及び電路の独立性によって、代替所内電気設備は非常用所内電気設備に対して独立性を有する設計とする。</p> <p>重大事故等対処施設の動力回路に使用するケーブルは、負荷の容量に応じたケーブルを使用し、非常用電源系統へ接続するか、非常用電源系統と独立した代替所内電気系統へ接続する設計とする。</p> <p>1.3 号炉間電力融通系統</p> <p>設計基準事故対処設備の交流電源が喪失（全交流動力電源喪失）した場合の重大事故等対処設備として、号炉間電力融通電気設備を使用できる設計とする。</p> <p>号炉間電力融通電気設備は、号炉間電力融通ケーブル（常設）（「7号機設備，6，7号機共用，6号機及び7号機の間にもわたり設置」（以下同じ。））（6900V，258.3Aのものを1相分1本の3相分3本を1セット），号炉間電力融通ケーブル（可搬型）（「7号機設備，6，7号機共用，屋外に保管」（以下同じ。））（6900V，258.3Aのものを1相分1本の3相分3本を1セット），計測制御装置で構成し，号炉間電力融通ケーブル（常設）をあらかじめ敷設し，6号機及び7号機の緊急用電源切替箱断路器に手動で接続することで，7号機の電源設</p>

変更前	変更後
	<p>備からメタルクラッド開閉装置 6C 及びメタルクラッド開閉装置 6D に電力を融通できる設計とする。また、号炉間電力融通ケーブル（常設）が使用できない場合に、予備ケーブルとして号炉間電力融通ケーブル（可搬型）を 6 号機及び 7 号機の緊急用電源切替箱断路器に手動で接続することで、7 号機の電源設備からメタルクラッド開閉装置 6C 及びメタルクラッド開閉装置 6D に電力を融通できる設計とする。</p> <p>号炉間電力融通電気設備の号炉間電力融通ケーブル（常設）は、コントロール建屋内に設置することで、原子炉建屋内の非常用ディーゼル発電設備のディーゼル機関及び発電機（以下、「非常用ディーゼル発電機」という。）と共通要因によって同時に機能を損なわないよう位置的分散を図る設計とする。</p> <p>号炉間電力融通電気設備の号炉間電力融通ケーブル（可搬型）は、原子炉建屋及びコントロール建屋から離れた屋外に保管することで、原子炉建屋内の非常用ディーゼル発電機及びコントロール建屋内の号炉間電力融通ケーブル（常設）と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。</p>
<p>2. 交流電源設備</p> <p>2.1 非常用ディーゼル発電設備</p> <p>発電用原子炉施設は、重要安全施設がその機能を維持するために必要となる電力を当該重要安全施設に供給するため、電力系統に連系した設計とする。</p> <p>発電用原子炉施設には、電線路及び当該発電用原子炉施設にお</p>	<p>2. 交流電源設備</p> <p>2.1 非常用ディーゼル発電設備</p> <p>発電用原子炉施設は、重要安全施設がその機能を維持するために必要となる電力を当該重要安全施設に供給するため、電力系統に連系した設計とする。</p> <p>発電用原子炉施設には、電線路及び当該発電用原子炉施設にお</p>

変更前	変更後
<p>いて常時使用される発電機からの電力の供給が停止した場合において発電用原子炉施設の安全性を確保するために必要な装置の機能を維持するため、内燃機関を原動力とする非常用電源設備を設ける設計とする。</p> <p>発電用原子炉施設の安全性を確保するために必要な装置（非常用電源設備及びその燃料補給設備、使用済燃料貯蔵プールへの補給設備、原子炉格納容器内の圧力、温度、酸素・水素濃度、放射性物質の濃度及び線量当量率の監視設備並びに中央制御室外からの原子炉停止設備）は、内燃機関を原動力とする非常用電源設備の非常用ディーゼル発電設備からの電源供給が可能な設計とする。</p> <p>非常用電源設備及びその付属設備は、多重性又は多様性を確保し、及び独立性を確保し、その系統を構成する機械又は器具の単一故障が発生した場合であっても、運転時の異常な過渡変化時又は設計基準事故時において、工学的安全施設及び設計基準事故に対処するための設備がその機能を確保するために十分な容量を有する設計とする。</p> <p>非常用ディーゼル発電設備は、非常用高圧母線低電圧信号又は非常用炉心冷却設備作動信号で起動し、設置（変更）許可を受けた原子炉冷却材喪失事故における工学的安全施設の設備の作動開始時間を満足する時間である13秒以内に電圧を確立した後は、各非常用高圧母線に接続し、負荷に給電する設計とする。</p> <p>設計基準事故時において、発電用原子炉施設に属する非常用所内電源設備及びその付属設備は、発電用原子炉ごとに設置し、他の発電用原子炉施設と共用しない設計とする。</p>	<p>いて常時使用される発電機からの電力の供給が停止した場合において発電用原子炉施設の安全性を確保するために必要な装置の機能を維持するため、内燃機関を原動力とする非常用電源設備を設ける設計とする。</p> <p>発電用原子炉施設の安全性を確保するために必要な装置（非常用電源設備及びその燃料補給設備、使用済燃料貯蔵プールへの補給設備、原子炉格納容器内の圧力、温度、酸素・水素濃度、放射性物質の濃度及び線量当量率の監視設備並びに中央制御室外からの原子炉停止設備）は、内燃機関を原動力とする非常用電源設備の非常用ディーゼル発電設備からの電源供給が可能な設計とする。</p> <p>非常用電源設備及びその付属設備は、多重性又は多様性を確保し、及び独立性を確保し、その系統を構成する機械又は器具の単一故障が発生した場合であっても、運転時の異常な過渡変化時又は設計基準事故時において、工学的安全施設及び設計基準事故に対処するための設備がその機能を確保するために十分な容量を有する設計とする。</p> <p>非常用ディーゼル発電設備は、非常用高圧母線低電圧信号又は非常用炉心冷却設備作動信号で起動し、設置（変更）許可を受けた原子炉冷却材喪失事故における工学的安全施設の設備の作動開始時間を満足する時間である13秒以内に電圧を確立した後は、各非常用高圧母線に接続し、負荷に給電する設計とする。</p> <p>設計基準事故時において、発電用原子炉施設に属する非常用所内電源設備及びその付属設備は、発電用原子炉ごとに設置し、他の発電用原子炉施設と共用しない設計とする。</p>

変更前	変更後
	<p>非常用ディーゼル発電設備は、想定される重大事故等時において、重大事故等対処設備（設計基準拡張）として使用できる設計とする。</p> <p>非常用ディーゼル発電設備は、設計基準事故対処設備であるとともに、重大事故等時においても使用するため、重大事故等対処設備としての基本方針に示す設計方針を適用する。ただし、多様性及び独立性並びに位置的分散を考慮すべき対象の設計基準事故対処設備はないことから、重大事故等対処設備の基本方針のうち「5.1.2 多様性、位置的分散等」に示す設計方針は適用しない。</p> <p>非常用ディーゼル発電設備は重大事故等時に、ATWS 緩和設備（代替制御棒挿入機能）、ATWS 緩和設備（代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能）、ほう酸水注入系、高圧炉心注水系、代替自動減圧ロジック（代替自動減圧機能）、低圧代替注水系（常設）、低圧代替注水系（可搬型）、残留熱除去系（低圧注水モード）、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）、原子炉補機冷却水系、原子炉補機冷却海水系、代替格納容器スプレイ冷却系（常設）、代替格納容器スプレイ冷却系（可搬型）、残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード）、残留熱除去系（サブプレッションチェンバプール水冷却モード）、計装設備及び非常用ガス処理系へ電力を供給できる設計とする。</p> <p>2.2 常設代替交流電源設備</p> <p>設計基準事故対処設備の電源が喪失したことにより重大事故等が発生した場合において、炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、使用済燃料貯蔵プール内の燃料体等の著しい損傷及び運転停</p>

変更前	変更後
	<p>止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止するために必要な交流負荷へ電力を供給する重大事故等対処設備として常設代替交流電源設備を設ける設計とする。</p> <p>常設代替交流電源設備は、第一ガスタービン発電機（「7号機設備, 6,7号機共用」(以下同じ。)), 第一ガスタービン発電機用燃料タンク（「7号機設備, 6,7号機共用」(以下同じ。)), 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ（「7号機設備, 6,7号機共用」(以下同じ。)), 軽油タンク（「重大事故等時のみ6,7号機共用」, 「7号機設備, 重大事故等時のみ6,7号機共用」(以下同じ。)), タンクローリ（16kL）（「7号機設備, 6,7号機共用」(以下同じ。)), 電路, 計測制御装置等で構成し, 設計基準事故対処設備の交流電源が喪失（全交流動力電源喪失）した場合に, 重大事故等に対処するために第一ガスタービン発電機を中央制御室での操作にて速やかに起動し, 代替所内電気設備を介してメタルクラッド開閉装置6C及びメタルクラッド開閉装置6D, 又はAM用MCCへ接続することで電力を供給できる設計とする。</p> <p>常設代替交流電源設備は, 非常用ディーゼル発電設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう, 第一ガスタービン発電機をガスタービンにより駆動することで, ディーゼルエンジンにより駆動する非常用ディーゼル発電機を用いる非常用ディーゼル発電設備に対して多様性を有する設計とする。</p> <p>常設代替交流電源設備の第一ガスタービン発電機, タンクローリ（16kL）, 第一ガスタービン発電機用燃料タンク及び第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプは, 原子炉建屋から離れた屋外に</p>

変更前	変更後
	<p>設置又は保管することで、原子炉建屋内の非常用ディーゼル発電機及び燃料ディタンク並びに原子炉建屋近傍の燃料移送ポンプと共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。</p> <p>常設代替交流電源設備は、第一ガスタービン発電機から非常用高圧母線までの系統において、独立した電路で系統構成することにより、非常用ディーゼル発電機から非常用高圧母線までの系統に対して、独立性を有する設計とする。</p> <p>これらの多様性及び位置的分散並びに電路の独立性によって、常設代替交流電源設備は非常用ディーゼル発電設備に対して独立性を有する設計とする。</p> <p>2.3 可搬型代替交流電源設備</p> <p>設計基準事故対処設備の交流電源が喪失（全交流動力電源喪失）した場合に、重大事故等の対応に必要な発電用原子炉等を冷却するための設備である復水移送ポンプ、プラント監視機能を維持する設備等に電力を供給する重大事故等対処設備として、可搬型代替交流電源設備を使用できる設計とする。</p> <p>可搬型代替交流電源設備は、電源車（「7号機設備、6,7号機共用」（以下同じ。）、軽油タンク、タンクローリ（4kL）（「7号機設備、6,7号機共用」（以下同じ。）、電路、計測制御装置等で構成し、電源車を、非常用所内電気設備又は代替所内電気設備を経由してメタルクラッド開閉装置 6C 及びメタルクラッド開閉装置 6D、若しくは AM 用 MCC へ接続し、又は直接、熱交換器ユニットへ接続する</p>

変更前	変更後
	<p>ことで電力を供給できる設計とする。</p> <p>可搬型代替交流電源設備は、非常用ディーゼル発電設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、電源車の冷却方式を空冷とすることで、冷却方式が水冷である非常用ディーゼル発電機を用いる非常用ディーゼル発電設備に対して多様性を有する設計とする。また、可搬型代替交流電源設備は、常設代替交流電源設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、電源車をディーゼルエンジンにより駆動することで、ガスタービンにより駆動する第一ガスタービン発電機を用いる常設代替交流電源設備に対して多様性を有する設計とする。</p> <p>可搬型代替交流電源設備の電源車及びタンクローリ（4kL）は、屋外の原子炉建屋から離れた場所に保管することで、原子炉建屋内の非常用ディーゼル発電機及び燃料ディタンク並びに原子炉建屋近傍の燃料移送ポンプと共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。また、可搬型代替交流電源設備の電源車及びタンクローリ（4kL）は、屋外のタービン建屋近傍の第一ガスタービン発電機、第一ガスタービン発電機用燃料タンク及び第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプから離れた場所に保管することで、共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。</p> <p>可搬型代替交流電源設備は、電源車から非常用高圧母線までの系統において、独立した電路で系統構成することにより、非常用ディーゼル発電機から非常用高圧母線までの系統に対して、独立性を有する設計とする。</p>

変更前	変更後
	<p>これらの多様性及び位置的分散並びに電路の独立性によって、可搬型代替交流電源設備は非常用ディーゼル発電設備に対して独立性を有する設計とする。</p> <p>可搬型代替交流電源設備の電源車の接続箇所は、共通要因によって接続できなくなることを防止するため、位置的分散を図った複数箇所に設置する設計とする。</p> <p>2.4 負荷に直接接続する電源設備</p> <p>2.4.1 監視測定設備用電源設備</p> <p>モニタリングポスト用発電機（「7号機設備，6,7号機共用」（以下同じ。））は、モニタリングポスト用発電機1台により、3台のモニタリングポストに給電できる設計とする。</p> <p>2.4.2 可搬型窒素供給装置用電源設備</p> <p>可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備（「7号機設備，6,7号機共用」（以下同じ。））は、可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備1台により、1台の可搬型窒素供給装置に給電できる設計とする。</p> <p>2.4.3 緊急時対策所代替電源設備</p> <p>5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備（「7号機設備，6,7号機共用」（以下同じ。））は、5号機原子炉建屋内緊急時対策所用受電盤（「7号機設備，6,7号機共用，5号機に設置」（以下同じ。））（440V, 225Aのものを1個）、5号機原子</p>

変更前	変更後
	<p>炉建屋内緊急時対策所用主母線盤（「7号機設備, 6, 7号機共用, 5号機に設置」(以下同じ。)) (150kVA, 440/220-110Vのものを1個), 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用交流110V分電盤1（「7号機設備, 6, 7号機共用, 5号機に設置」(以下同じ。)) (110V, 225Aのものを1個), 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用交流110V分電盤2（「7号機設備, 6, 7号機共用, 5号機に設置」(以下同じ。)) (110V, 225Aのものを1個), 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用交流110V分電盤3（「7号機設備, 6, 7号機共用, 5号機に設置」(以下同じ。)) (110V, 225Aのものを1個), 可搬ケーブル（7号機設備, 6, 7号機共用, 屋外に保管）(440V, 290Aのものを1相分1本の3相分3本を1セット及び1相分2本の3相分6本を3セット)を經由して5号機原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)可搬型陽圧化空調機（ファン）(7号機設備, 6, 7号機共用), 5号機原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)可搬型外気取入送風機（7号機設備, 6, 7号機共用）, 5号機原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)可搬型陽圧化空調機（ファン）(7号機設備, 6, 7号機共用), 衛星電話設備（常設）(7号機設備, 6, 7号機共用, 5号機に設置), 統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備（テレビ会議システム, IP-電話機及びIP-FAX）(7号機設備, 6, 7号機共用, 5号機に設置), 安全パラメータ表示システム(SPDS)（7号機設備, 6, 7号機共用, 5号機に設置）等へ給電できる設計とする。</p>

変更前	変更後
<p>3. 直流電源設備及び計測制御用電源設備</p> <p>3.1 常設直流電源設備</p> <p>設計基準対象施設の安全性を確保する上で特に必要な設備に対し、直流電源設備を施設する設計とする。</p> <p>直流電源設備は、短時間の全交流動力電源喪失時においても、発電用原子炉を安全に停止し、かつ、発電用原子炉の停止後に炉心を冷却するための設備が動作することができるよう、これらの設備の動作に必要な容量を有する直流 125V 蓄電池を設ける設計とする。</p> <p>非常用の直流電源設備は、直流 125V4 系統の蓄電池、充電器、直流 125V 主母線盤等で構成する。これらの 4 系統のうち 1 系統が故障しても発電用原子炉の安全性は確保できる設計とする。また、これらの系統は、多重性及び独立性を確保することにより、共通要因により同時に機能が喪失することのない設計とする。直流母線は 125V であり、非常用直流電源設備 4 組の電源の負荷は、工学的安全施設等の制御装置、電磁弁、交流 120V バイタル分電盤に給電するバイタル交流電源装置等である。</p>	<p>3. 直流電源設備及び計測制御用電源設備</p> <p>3.1 常設直流電源設備</p> <p>設計基準対象施設の安全性を確保する上で特に必要な設備に対し、直流電源設備を施設する設計とする。</p> <p>直流電源設備は、全交流動力電源喪失時から重大事故等に対処するために必要な電力の供給が常設代替交流電源設備から開始されるまでの約 70 分を包絡した約 12 時間に対し、発電用原子炉を安全に停止し、かつ、発電用原子炉の停止後に炉心を冷却するための設備が動作するとともに、原子炉格納容器の健全性を確保するための設備が動作することができるよう、これらの設備の動作に必要な容量を有する直流 125V 蓄電池を設ける設計とする。</p> <p>非常用の直流電源設備は、直流 125V4 系統の蓄電池、充電器、直流 125V 主母線盤等で構成する。これらの 4 系統のうち 1 系統が故障しても発電用原子炉の安全性は確保できる設計とする。また、これらの系統は、多重性及び独立性を確保することにより、共通要因により同時に機能が喪失することのない設計とする。直流母線は 125V であり、非常用直流電源設備 4 組の電源の負荷は、工学的安全施設等の制御装置、電磁弁、交流 120V バイタル分電盤に給電するバイタル交流電源装置等である。</p> <p>非常用直流電源設備の直流 125V 蓄電池、直流 125V 充電器 (125V, 700A 及び 125V, 400A のものを 5 個)、直流 125V 主母線盤 (125V, 800A のものを 4 個)、直流 125V RCIC 動力切替盤 (125V, 800A のものを 1 個)、直流 125V RCIC 制御切替盤 (125V, 225A のものを 1 個) は、想定される重大事故等時において、重大事故等対処設備</p>

変更前	変更後
	<p>(設計基準拡張)として使用できる設計とする。</p> <p>非常用直流電源設備は、設計基準事故対処設備であるとともに、重大事故等時においても使用するため、重大事故等対処設備としての基本方針に示す設計方針を適用する。ただし、多様性及び独立性並びに位置的分散を考慮すべき対象の設計基準事故対処設備はないことから、重大事故等対処設備の基本方針のうち「5.1.2 多様性、位置的分散等」に示す設計方針は適用しない。</p> <p>設計基準事故対処設備の交流電源が喪失(全交流動力電源喪失)した場合に、重大事故等の対応に必要な設備に直流電力を供給する重大事故等対処設備として、所内蓄電式直流電源設備及び常設代替直流電源設備を使用できる設計とする。</p> <p>所内蓄電式直流電源設備は、直流 125V 蓄電池 6A, 直流 125V 蓄電池 6A-2, AM 用直流 125V 蓄電池, 直流 125V 充電器 6A, 直流 125V 充電器 6A-2, AM 用直流 125V 充電器, 直流 125V 主母線盤 6A, AM 用直流 125V 主母線盤 (125V, 1200A のものを 1 個), 直流 125V RCIC 動力切替盤, 直流 125V RCIC 制御切替盤, 直流 125V HPAC MCC (125V, 800A のものを 1 個), 電路, 計測制御装置等で構成し、直流 125V 蓄電池 6A, 直流 125V 蓄電池 6A-2 及び AM 用直流 125V 蓄電池は、直流母線へ電力を供給できる設計とする。</p> <p>所内蓄電式直流電源設備の直流 125V 蓄電池 6A, 直流 125V 蓄電池 6A-2 及び AM 用直流 125V 蓄電池は、全交流動力電源喪失から 8 時間後に不要な負荷の切り離しを行うことで、全交流動力電源喪失から 24 時間にわたり、直流 125V 蓄電池 6A, 直流 125V 蓄電池 6A-2 及び AM 用直流 125V 蓄電池から電力を供給できる設計とす</p>

変更前	変更後
	<p>る。</p> <p>また、交流電源復旧後に、交流電源を直流 125V 充電器 6A, 直流 125V 充電器 6A-2 又は AM 用直流 125V 充電器を経由し直流母線へ接続することで電力を供給できる設計とする。</p> <p>常設代替直流電源設備は, AM 用直流 125V 蓄電池, AM 用直流 125V 充電器, AM 用直流 125V 主母線盤, 直流 125V HPAC MCC, 電路, 計測制御装置等で構成し, 全交流動力電源喪失から 24 時間にわたり, AM 用直流 125V 蓄電池から電力を供給できる設計とする。また, 交流電源復旧後に, 交流電源を AM 用直流 125V 充電器を経由し直流母線へ接続することで電力を供給できる設計とする。</p> <p>所内蓄電式直流電源設備は, コントロール建屋内の非常用直流電源設備 4 系統のうち 3 系統と異なる区画及び原子炉建屋内に設置することで, 非常用直流電源設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう, 位置的分散を図る設計とする。</p> <p>所内蓄電式直流電源設備は, 蓄電池及び充電器から直流母線までの系統において, 独立した電路で系統構成することにより, 非常用直流電源設備 4 系統のうち 3 系統の蓄電池及び充電器から直流母線までの系統に対して, 独立性を有する設計とする。</p> <p>これらの位置的分散及び電路の独立性によって, 所内蓄電式直流電源設備は非常用直流電源設備 4 系統のうち 3 系統に対して独立性を有する設計とする。</p> <p>常設代替直流電源設備は, 原子炉建屋内に設置することで, コントロール建屋内の非常用直流電源設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう, 位置的分散を図る設計とする。</p>

変更前	変更後
	<p>常設代替直流電源設備は、蓄電池及び充電器から直流母線までの系統において、独立した電路で系統構成することにより、非常用直流電源設備の蓄電池及び充電器から直流母線までの系統に対して、独立性を有する設計とする。</p> <p>これらの位置的分散及び電路の独立性によって、常設代替直流電源設備は非常用直流電源設備に対して独立性を有する設計とする。</p> <p>3.2 可搬型直流電源設備</p> <p>設計基準事故対処設備の交流電源及び直流電源が喪失した場合に、重大事故等の対応に必要な設備に直流電力を供給する重大事故等対処設備として可搬型直流電源設備を使用できる設計とする。</p> <p>可搬型直流電源設備は、電源車、AM用直流125V充電器、AM用直流125V主母線盤、直流125V HPAC MCC、軽油タンク、タンクローリ（4kL）、電路、計測制御装置等で構成し、電源車を代替所内電気設備及びAM用直流125V充電器を經由して直流母線へ接続することで電力を供給できる設計とする。</p> <p>可搬型直流電源設備は、電源車の運転を継続することで、設計基準事故対処設備の交流電源及び直流電源の喪失から24時間にわたり必要な負荷に電力の供給を行うことができる設計とする。</p> <p>可搬型直流電源設備は、非常用直流電源設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、電源車の冷却方式を空冷とすることで、冷却方式が水冷である非常用ディーゼル発電機から給電</p>

変更前	変更後
	<p>する非常用直流電源設備に対して多様性を有する設計とする。また、AM用直流125V充電器により交流電力を直流に変換できることで、直流125V蓄電池を用いる非常用直流電源設備に対して多様性を有する設計とする。</p> <p>可搬型直流電源設備の電源車、AM用直流125V充電器及びタンクローリ（4kL）は、屋外の原子炉建屋から離れた場所及び原子炉建屋内に設置又は保管することで、原子炉建屋内の非常用ディーゼル発電機及び燃料ディタンク、原子炉建屋近傍の燃料移送ポンプ並びにコントロール建屋内の充電器と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。</p> <p>可搬型直流電源設備は、電源車から直流母線までの系統において、独立した電路で系統構成することにより、非常用ディーゼル発電機から直流母線までの系統に対して、独立性を有する設計とする。</p> <p>これらの多様性及び位置的分散並びに電路の独立性によって、可搬型直流電源設備は非常用直流電源設備に対して独立性を有する設計とする。</p> <p>可搬型直流電源設備の電源車の接続箇所は、共通要因によって接続できなくなることを防止するため、位置的分散を図った複数箇所に設置する設計とする。</p> <p>3.3 逃がし安全弁用可搬型直流電源設備</p> <p>原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための設備のうち、主蒸気逃がし安全弁の機能回復のための重大事故等対処設備とし</p>

変更前	変更後
	<p>て、可搬型直流電源設備及び逃がし安全弁用可搬型蓄電池を使用できる設計とする。</p> <p>原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための設備のうち、主蒸気逃がし安全弁の機能回復のための重大事故等対処設備として使用する可搬型直流電源設備は、主蒸気逃がし安全弁の作動に必要な常設直流電源系統が喪失した場合においても、AM 用切替装置 (SRV) (125V, 100A のものを 1 個) を切り替えることにより、主蒸気逃がし安全弁 (8 個) の作動に必要な電源を供給できる設計とする。</p> <p>原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための設備のうち、主蒸気逃がし安全弁の機能回復のための重大事故等対処設備として使用する逃がし安全弁用可搬型蓄電池は、主蒸気逃がし安全弁の作動に必要な常設直流電源系統が喪失した場合においても、主蒸気逃がし安全弁の作動回路に接続することにより、主蒸気逃がし安全弁 (2 個) を一定期間にわたり連続して開状態を保持できる設計とする。</p> <p>3.4 通信連絡設備用直流電源設備</p> <p>送受話器 (ページング) 用 48V 蓄電池 (「7 号機設備, 6, 7 号機共用, 6 号機に設置」(以下同じ。)) (48V, 2400Ah/組 (10 時間率) のものを 1 組 (1 組当たり 24 個)) 及び 5 号機電力保安通信用電話設備用 48V 蓄電池 (「7 号機設備, 6, 7 号機共用, 5 号機に設置」(以下同じ。)) (48V, 1000Ah/組 (10 時間率) のものを 1 組 (1 組当たり 25 個)) は、外部電源が期待できない場合においても、通信連絡設</p>

変更前	変更後
<p>3.5 計測制御用電源設備</p> <p>設計基準対象施設の安全性を確保する上で特に必要な設備に対し、計測制御用電源設備として、無停電電源装置であるバイタル交流電源装置を施設する設計とする。</p> <p>非常用の計測制御用電源設備は、バイタル交流電源装置 4 母線及び中央制御室計測用分電盤 3 母線で構成する。</p> <p>非常用の計測制御用電源設備は、非常用低圧母線及び非常用直流母線に接続するバイタル交流電源装置並びに中央制御室計測用分電盤で構成し、原子炉核計装の監視による発電用原子炉の安全停止状態及び未臨界の維持状態の確認が可能な設計とする。</p> <p>バイタル交流電源装置は、非常用直流電源設備である直流 125V 蓄電池から直流電源が供給されることにより、交流 120V バイタル分電盤に対し電力供給を確保する設計とする。</p>	<p>備の動作に必要な電力を給電できる設計とする。</p> <p>3.5 計測制御用電源設備</p> <p>設計基準対象施設の安全性を確保する上で特に必要な設備に対し、計測制御用電源設備として、無停電電源装置であるバイタル交流電源装置を施設する設計とする。</p> <p>非常用の計測制御用電源設備は、バイタル交流電源装置 4 母線及び中央制御室計測用分電盤 3 母線で構成する。</p> <p>非常用の計測制御用電源設備は、非常用低圧母線及び非常用直流母線に接続するバイタル交流電源装置並びに中央制御室計測用分電盤で構成し、原子炉核計装の監視による発電用原子炉の安全停止状態及び未臨界の維持状態の確認が可能な設計とする。</p> <p>バイタル交流電源装置 6A は、外部電源喪失及び全交流動力電源喪失時から重大事故等に対処するために必要な電力の供給が常設代替交流電源設備から開始されるまでの間においても、非常用直流電源設備である直流 125V 蓄電池から直流電源が供給されることにより、交流 120V バイタル分電盤に対し電力供給を確保する設計とする。</p> <p>なお、バイタル交流電源装置 6B, 6C 及び 6D は約 1 時間、電力供給が可能な設計とする。</p>
<p>4. 燃料設備</p> <p>4.1 非常用ディーゼル発電設備の燃料補給設備</p> <p>非常用ディーゼル発電設備は、7 日間の外部電源喪失を仮定して</p>	<p>4. 燃料設備</p> <p>4.1 非常用ディーゼル発電設備の燃料補給設備</p> <p>非常用ディーゼル発電設備は、7 日間の外部電源喪失を仮定して</p>

変更前	変更後
<p>も、連続運転により必要とする電力を供給できるよう、7日間分の容量以上の燃料を6号機の軽油タンクに貯蔵する設計とする。</p>	<p>も、連続運転により必要とする電力を供給できるよう、7日間分の容量以上の燃料を6号機の軽油タンクに貯蔵する設計とする。</p> <p>4.2 常設代替交流電源設備の燃料補給設備</p> <p>第一ガスタービン発電機は、第一ガスタービン発電機用燃料タンクから第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプを用いて燃料を補給できる設計とする。</p> <p>また、第一ガスタービン発電機用燃料タンクは、軽油タンクからタンクローリ（16kL）を用いて燃料を補給できる設計とする。</p> <p>軽油タンクからタンクローリ（16kL）への軽油の補給は、ホースを用いる設計とする。</p> <p>4.3 その他発電装置の燃料補給設備</p> <p>重大事故等時に非常用電源設備の燃料を貯蔵及び補給する設備として、軽油タンク、タンクローリ（4kL）及びホースを使用できる設計とする。</p> <p>電源車、モニタリングポスト用発電機及び5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備は、軽油タンクからタンクローリ（4kL）を用いて燃料を補給できる設計とする。</p> <p>軽油タンクからタンクローリ（4kL）への軽油の補給は、ホースを用いる設計とする。</p> <p>燃料補給設備のタンクローリ（4kL）は、原子炉建屋近傍の燃料移送ポンプから離れた屋外に分散して保管することで、燃料移送ポンプと共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的</p>

変更前	変更後
	<p>分散を図る設計とする。</p> <p>軽油タンクは、屋外に分散して設置することで、共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。</p>
—	<p>5. 設備の共用</p> <p>非常用所内電源系については、5号機及び6号機並びに6号機及び7号機間で相互に接続するが、通常時は、5号機及び6号機並びに6号機及び7号機間連絡ケーブルの両端の遮断器を開放することにより、6号機非常用所内電源系と7号機非常用所内電源系を分離するとともに、迅速かつ安全な電源融通を可能とすることで、6号機及び7号機の安全性が向上するよう、重大事故等発生時においては、5号機及び6号機並びに6号機及び7号機間連絡ケーブルの両端の遮断器を投入することを保安規定に定めて管理する。</p> <p>送受話器（ページング）用48V蓄電池及び5号機電力保安通信用電話設備用48V蓄電池は6号機及び7号機で共用とするが、共用する通信連絡設備への給電に必要な仕様を満足する設備とすることで、安全性を損なわない設計とする。</p> <p>号炉間電力融通ケーブル（常設）は、共用により6号機及び7号機相互間での電力融通を可能とし、安全性の向上を図れることから、6号機及び7号機で共用する設計とする。号炉間電力融通ケーブル（常設）は、共用により悪影響を及ぼさないよう、通常時は接続先の系統と分離した状態で設置する設計とする。</p> <p>第一ガスタービン発電機、第一ガスタービン発電機用燃料タンク、第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ及び緊急用断路器は、共</p>

変更前	変更後
—	<p>用により第一ガスタービン発電機から自号機だけでなく他号機にも電力の供給が可能となり、安全性の向上を図れることから、6号機及び7号機で共用する設計とする。第一ガスタービン発電機、第一ガスタービン発電機用燃料タンク、第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ及び緊急用断路器は、共用により悪影響を及ぼさないよう、6号機及び7号機を断路器等により系統を隔離して使用する設計とする。</p> <p>軽油タンクは、第一ガスタービン発電機、電源車、可搬型代替注水ポンプ（A-1級）（7号機設備、6,7号機共用）、可搬型代替注水ポンプ（A-2級）（7号機設備、6,7号機共用）、大容量送水車（熱交換器ユニット用）（7号機設備、6,7号機共用）、大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）（7号機設備、6,7号機共用）、大容量送水車（海水取水用）（7号機設備、6,7号機共用）、モニタリングポスト用発電機及び5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備の燃料を貯蔵しており、共用により他号機のタンクに貯蔵している燃料も使用可能となり、安全性の向上が図られることから、6号機及び7号機で共用する設計とする。軽油タンクは、共用により悪影響を及ぼさないよう、6号機及び7号機で必要な重大事故等対処設備の燃料を確保するとともに、号機の区分けなくタンクローリ（16kL）及びタンクローリ（4kL）を用いて燃料を利用できる設計とする。</p> <p>なお、軽油タンクは、重大事故等時に重大事故等対処設備へ燃料補給を実施する場合のみ6号機及び7号機共用とする。</p> <p>モニタリングポスト用発電機は、モニタリングポストに給電する設備であるため、モニタリングポストと同様に6号機及び7号機で</p>

変更前	変更後
—	<p>共用することで、操作に必要な時間及び要員を減少させて安全性の向上を図る設計とする。モニタリングポスト用発電機は、共用により悪影響を及ぼさないよう、号機の区分けなく使用できる設計とする。</p> <p>5号機原子炉建屋内緊急時対策所用受電盤, 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用主母線盤, 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用交流 110V 分電盤 1, 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用交流 110V 分電盤 2 及び 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用交流 110V 分電盤 3 は, 5号機原子炉建屋内緊急時対策所(「7号機設備, 6,7号機共用, 5号機に設置」(以下同じ。))の設備であり, 5号機原子炉建屋内緊急時対策所の共用により, 必要な情報(相互のプラント状況, 運転員の対応状況等)を共有・考慮しながら, 総合的な管理(事故対応を含む。)を行うことで, 安全性の向上が図れることから, 6号機及び7号機で共用する設計とする。5号機原子炉建屋内緊急時対策所用受電盤, 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用主母線盤, 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用交流 110V 分電盤 1, 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用交流 110V 分電盤 2 及び 5号機原子炉建屋内緊急時対策所用交流 110V 分電盤 3 は, 共用により悪影響を及ぼさないよう, 6号機及び7号機を5号機原子炉建屋内緊急時対策所用 6/7号機電源切替盤(7号機設備, 6,7号機共用)(480V, 225Aのものを1個)の遮断器により系統を隔離して使用する設計とする。</p>
<p>6. 主要対象設備</p> <p>非常用電源設備の対象となる主要な設備について、「表 1 非常用電源設備の主要設備リスト」に示す。</p>	<p>6. 主要対象設備</p> <p>非常用電源設備の対象となる主要な設備について、「表 1 非常用電源設備の主要設備リスト」に示す。</p>

表1 非常用電源設備の主要設備リスト (1/13)

設備区分	系統名	機器区分	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
常用電源設備との 切換方法	非常用ディーゼル 発電設備	—	発電機 (常用電源設備との切換方法)	—	—	—	変更なし*2	—	—	—	—	
	代替交流電源設備		—	—	—	第一ガスタービン発電機 (7号機設備, 6,7号機共用) (常用電源設備との切換方法) *3	—	—	—	—		
	緊急時対策所代替 電源設備		—	—	—	電源車 (7号機設備, 6,7号機共用) (常用電源設 備との切換方法) *3	—	—	—	—		
	監視測定設備用電 源設備		—	—	—	5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備 (7号機設備, 6,7号機共用) (常用電源設備との 切換方法) *3	—	—	—	—		
	可搬型窒素供給装 置用電源設備		—	—	—	可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備 (7号機設 備, 6,7号機共用) (常用電源設備との切換方法) *3	—	—	—	—		

表1 非常用電源設備の主要設備リスト (2/13)

設備区分	系統名	機器区分	名称	変更前				変更後				
				設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
非常用発電装置	非常用ディーゼル発電設備	内燃機関	機関及び過給機	ディーゼル機関	S	火力技術基準	—	変更なし	常設/防止 (DB 拡張) 常設/緩和 (DB 拡張)	火力技術基準		
			調速装置及び非常調速装置	調速装置	S	—	—	変更なし	常設/防止 (DB 拡張) 常設/緩和 (DB 拡張)	—		
				非常調速装置	S	—	—	変更なし	常設/防止 (DB 拡張) 常設/緩和 (DB 拡張)	—		
			内燃機関に附属する冷却水設備	機関付清水ポンプ	S	火力技術基準	—	変更なし	常設/防止 (DB 拡張) 常設/緩和 (DB 拡張)	火力技術基準		
			内燃機関に附属する空気圧縮設備	空気だめ	S	クラス3	—	変更なし	常設/防止 (DB 拡張) 常設/緩和 (DB 拡張)	S Aクラス2		
				空気だめの安全弁	S	—	—	変更なし	常設/防止 (DB 拡張) 常設/緩和 (DB 拡張)	—		
				圧縮機	S	—	—	変更なし	常設/防止 (DB 拡張) 常設/緩和 (DB 拡張)	—		
			燃料ディタンク又はサービスタンク	燃料ディタンク	S	火力技術基準	—	変更なし	常設/防止 (DB 拡張) 常設/緩和 (DB 拡張)	火力技術基準		

表1 非常用電源設備の主要設備リスト (3/13)

設備区分	系統名	機器区分	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
非常用発電装置	非常用ディーゼル発電設備	燃料設備	ポンプ	—		—		燃料移送ポンプ	S	火力技術基準	常設/防止 (DB 拡張) 常設/緩和 (DB 拡張)	火力技術基準
			容器	—		—		軽油タンク (重大事故等時のみ 6, 7 号機共用)	S	火力技術基準	常設/防止 (DB 拡張) 常設/緩和 (DB 拡張)	火力技術基準
			主配管	—		—		軽油タンク～燃料移送ポンプ	S	火力技術基準	常設/防止 (DB 拡張) 常設/緩和 (DB 拡張)	火力技術基準
				—		—		燃料移送ポンプ～燃料ディタンク	S	火力技術基準	常設/防止 (DB 拡張) 常設/緩和 (DB 拡張)	火力技術基準
		発電機	発電機	発電機	S	—	—	変更なし		常設/防止 (DB 拡張) 常設/緩和 (DB 拡張)	—	
			励磁装置	励磁装置	S	—	—	変更なし		常設/防止 (DB 拡張) 常設/緩和 (DB 拡張)	—	
			保護継電装置	保護継電装置	S	—	—	変更なし		常設/防止 (DB 拡張) 常設/緩和 (DB 拡張)	—	
			原動機との連結方法	発電機 (原動機との連結方法)	—		—	変更なし*2	—	—		

表1 非常用電源設備の主要設備リスト (4/13)

設備区分	系統名	機器区分		変更前				変更後					
				名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
					耐震重要度 分類	機器 クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス		耐震重要度 分類	機器 クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス
非常用発電装置	代替交流電源設備	ガスタービン	ガスタービン	—			第一ガスタービン発電機用 ガスタービン (7号機設備, 6,7号機共用)	—		常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準		
			調速装置 及び非常 調速装置	—			第一ガスタービン発電機用 調速装置及び非常調速装置 (7号機設備, 6,7号機共 用)	—		常設耐震/防止 常設/緩和	—		
		内燃機関	機関及び 過給機	—			電源車用内燃機関 (7号機 設備, 6,7号機共用)	—		可搬/防止 可搬/緩和	—		
			調速装置 及び非常 調速装置	—			電源車用調速装置及び非常 調速装置 (7号機設備, 6,7 号機共用)	—		可搬/防止 可搬/緩和	—		
			内燃機関 に附属す る冷却水 設備	—			電源車用機関付冷却水ポン プ (7号機設備, 6,7号機 共用)	—		可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3		
			燃料デイ タンク又 はサービ スタンク	—			電源車用車載燃料タンク (7号機設備, 6,7号機共 用)	—		可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3		

表1 非常用電源設備の主要設備リスト (5/13)

設備区分	系統名	機器区分	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
非常用発電装置	代替交流電源設備	燃料設備	ポンプ	—	—	—	—	第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準
			容器	—	—	—	—	第一ガスタービン発電機用燃料タンク (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準
		—		—	—	—	第一ガスタービン発電機用燃料小出し槽 (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準	
		—		—	—	—	軽油タンク (重大事故等時のみ6,7号機共用)	—	—	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準	
		—		—	—	—	軽油タンク (7号機設備, 重大事故等時のみ6,7号機共用)	—	—	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準	
		—		—	—	—	タンクローリ (16kL) (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3	
		—		—	—	—	タンクローリ (4kL) (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3	

表1 非常用電源設備の主要設備リスト (6/13)

設備区分	系統名	機器区分	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
非常用発電装置	代替交流電源設備	燃料設備	主配管	—	—	—	—	軽油タンク(A)～タンクローリ接続口 (6,7号機共用)	—	—	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準
				—	—	—	—	軽油タンク(B)～タンクローリ接続口 (6,7号機共用)	—	—	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準
				—	—	—	—	軽油タンク(A)～タンクローリ接続口 (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準
				—	—	—	—	軽油タンク(B)～タンクローリ接続口 (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準
				—	—	—	—	給油口～第一ガスタービン発電機用燃料タンク (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準
				—	—	—	—	第一ガスタービン発電機用燃料タンク～第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準
				—	—	—	—	第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ～第一ガスタービン発電機用燃料小出し槽 (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準
				—	—	—	—	タンクローリ給油ライン接続用20mホース (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3
				—	—	—	—	タンクローリ給油ライン接続用40mホース (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3
				—	—	—	—	タンクローリ給油ライン接続用3mホース (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3

表1 非常用電源設備の主要設備リスト (7/13)

設備区分	系統名	機器区分	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
非常用発電装置	代替交流電源設備	発電機	発電機	—	—	—	—	第一ガスタービン発電機 (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	常設耐震/防止 常設/緩和	—
				—	—	—	—	電源車(7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	可搬/防止 可搬/緩和	—
			励磁装置	—	—	—	—	第一ガスタービン発電機用励磁装置(7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	常設耐震/防止 常設/緩和	—
				—	—	—	—	電源車用励磁装置(7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	可搬/防止 可搬/緩和	—
			保護継電装置	—	—	—	—	第一ガスタービン発電機用保護継電装置(7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	常設耐震/防止 常設/緩和	—
				—	—	—	—	電源車用保護継電装置(7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	可搬/防止 可搬/緩和	—
			原動機との連結方法	—	—	—	—	第一ガスタービン発電機 (7号機設備, 6,7号機共用) (原動機との連結方法) *3	—	—	—	—
				—	—	—	—	電源車 (7号機設備, 6,7号機共用) (原動機との連結方法) *3	—	—	—	—

表1 非常用電源設備の主要設備リスト (8/13)

設備区分	系統名	機器区分	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
非常用発電装置	緊急時対策所代替電源設備	内燃機関	機関及び過給機	—	—	—	—	5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用内燃機関 (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	可搬/防止 可搬/緩和	—
			調速装置及び非常調速装置	—	—	—	—	5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用調速装置及び非常調速装置 (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	可搬/防止 可搬/緩和	—
			内燃機関に附属する冷却水設備	—	—	—	—	5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用機関付冷却水ポンプ (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3
			燃料デイトンク又はサービスタンク	—	—	—	—	5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備用燃料タンク (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3
		燃料設備	容器	—	—	—	—	軽油タンク (重大事故等時のみ6,7号機共用)	—	—	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準
				—	—	—	—	軽油タンク (7号機設備, 重大事故等時のみ6,7号機共用)	—	—	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準
				—	—	—	—	タンクローリ (4kL) (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3

表1 非常用電源設備の主要設備リスト (9/13)

設備区分	系統名	機器区分	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
非常用発電装置	緊急時対策所代替電源設備	燃料設備	主配管	—	—	—	—	軽油タンク(A)～タンクローリ接続口 (6,7号機共用)	—	—	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準
				—	—	—	—	軽油タンク(B)～タンクローリ接続口 (6,7号機共用)	—	—	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準
				—	—	—	—	軽油タンク(A)～タンクローリ接続口 (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準
				—	—	—	—	軽油タンク(B)～タンクローリ接続口 (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準
				—	—	—	—	タンクローリ給油ライン接続用20mホース (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3
				—	—	—	—	タンクローリ給油ライン接続用40mホース (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3
		発電機	発電機	—	—	—	—	5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型 電源設備 (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	可搬/防止 可搬/緩和	—
			励磁装置	—	—	—	—	5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型 電源設備用励磁装置 (7号機設備, 6,7号 機共用)	—	—	可搬/防止 可搬/緩和	—
			保護継電装置	—	—	—	—	5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型 電源設備用保護継電装置 (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	可搬/防止 可搬/緩和	—
			原動機との 連結方法	—	—	—	—	5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型 電源設備 (7号機設備, 6,7号機共用) (原 動機との連結方法) *3	—	—	—	—

表1 非常用電源設備の主要設備リスト (10/13)

設備区分	系統名	機器区分	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
非常用発電装置	監視測定設備用電源設備	内燃機関	機関及び過給機	—			モニタリングポスト用発電機用内燃機関 (7号機設備, 6,7号機共用)	—		常設/その他	火力技術基準	
			調速装置及び非常調速装置	—			モニタリングポスト用発電機用調速装置 (7号機設備, 6,7号機共用)	—		常設/その他	—	
				—			モニタリングポスト用発電機用非常調速装置 (7号機設備, 6,7号機共用)	—		常設/その他	—	
			内燃機関に附属する冷却水設備	—			モニタリングポスト用発電機用機関付冷却水ポンプ (7号機設備, 6,7号機共用)	—		常設/その他	火力技術基準	
			燃料デイトンク又はサービスタンク	—			モニタリングポスト用発電機用燃料タンク (7号機設備, 6,7号機共用)	—		常設/その他	火力技術基準	
		燃料設備	容器	—			軽油タンク (重大事故等時のみ6,7号機共用)	—		常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準	
				—			軽油タンク (7号機設備, 重大事故等時のみ6,7号機共用)	—		常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準	
				—			タンクローリ (4kL) (7号機設備, 6,7号機共用)	—		可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3	

表1 非常用電源設備の主要設備リスト (11/13)

設備区分	系統名	機器区分	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
非常用発電装置	監視測定設備用電源設備	燃料設備	主配管	—	—	—	—	軽油タンク(A)～タンクローリ接続口 (6,7号機共用)	—	—	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準
				—	—	—	—	軽油タンク(B)～タンクローリ接続口 (6,7号機共用)	—	—	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準
				—	—	—	—	軽油タンク(A)～タンクローリ接続口 (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準
				—	—	—	—	軽油タンク(B)～タンクローリ接続口 (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	常設耐震/防止 常設/緩和	火力技術基準
				—	—	—	—	タンクローリ給油ライン接続用 20mホース(7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3
				—	—	—	—	タンクローリ給油ライン接続用 40mホース(7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3
		発電機	発電機	—	—	—	—	モニタリングポスト用発電機(7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	常設/その他	—
			励磁装置	—	—	—	—	モニタリングポスト用発電機用励磁装置(7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	常設/その他	—
			保護継電装置	—	—	—	—	モニタリングポスト用発電機用保護継電装置(7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	常設/その他	—
			原動機との連結方法	—	—	—	—	モニタリングポスト用発電機(7号機設備, 6,7号機共用)(原動機との連結方法) *3	—	—	—	—

表1 非常用電源設備の主要設備リスト (12/13)

設備区分	系統名	機器区分	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
非常用発電装置	可搬型窒素供給装置用電源設備	内燃機関	機関及び過給機	—	—	—	—	可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用内燃機関 (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	可搬/防止 可搬/緩和	—
			調速装置及び非常調速装置	—	—	—	—	可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用調速装置 (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	可搬/防止 可搬/緩和	—
				—	—	—	—	可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用非常調速装置 (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	可搬/防止 可搬/緩和	—
			内燃機関に附属する冷却水設備	—	—	—	—	可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用機関付冷却水ポンプ (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3
			燃料デイトンク又はサービスタンク	—	—	—	—	可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用燃料タンク (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	可搬/防止 可搬/緩和	SAクラス3
		発電機	発電機	—	—	—	—	可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備 (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	可搬/防止 可搬/緩和	—
			励磁装置	—	—	—	—	可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用励磁装置 (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	可搬/防止 可搬/緩和	—
			保護継電装置	—	—	—	—	可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用保護継電装置 (7号機設備, 6,7号機共用)	—	—	可搬/防止 可搬/緩和	—
			原動機との連結方法	—	—	—	—	可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備 (7号機設備, 6,7号機共用) (原動機との連結方法) *3	—	—	—	—

表1 非常用電源設備の主要設備リスト (13/13)

設備区分	系統名	機器区分	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
その他の電源装置	—	無停電電源装置	バイタル交流電源装置	S	—	—	変更なし				—	
			—				AM用直流125V充電器	—		常設耐震/防止 常設/緩和	—	
		電力貯蔵装置	直流125V蓄電池6A	S	—	—	変更なし				常設耐震/防止 常設/緩和	—
			—				直流125V蓄電池6A-2	S	—	常設耐震/防止 常設/緩和	—	
			直流125V蓄電池6B	S	—	—	変更なし				常設耐震/防止 常設/緩和	—
			直流125V蓄電池6C	S	—	—	変更なし				常設/防止 (DB拡張) 常設/緩和 (DB拡張)	—
			直流125V蓄電池6D	S	—	—	変更なし				常設/防止 (DB拡張) 常設/緩和 (DB拡張)	—
			—				AM用直流125V蓄電池	—		常設耐震/防止 常設/緩和	—	
			—				逃がし安全弁用 可搬型蓄電池	—		可搬/防止	—	

注記*1 : 表1に用いる略語の定義は「原子炉本体」の「8 原子炉本体の基本設計方針, 適用基準及び適用規格」に記載する「表1 原子炉本体の主要設備リスト」の「付表1」による。

*2 : 設計基準対象施設及び重大事故等対処設備として使用する。

*3 : 重大事故等対処設備として使用する。

(2) 適用基準及び適用規格

変更前	変更後
<p>第1章 共通項目</p> <p>非常用電源設備に適用する共通項目の基準及び規格については、原子炉冷却系統施設、火災防護設備、浸水防護施設の「(2) 適用基準及び適用規格 第1章 共通項目」に示す。</p>	<p>第1章 共通項目</p> <p>非常用電源設備に適用する共通項目の基準及び規格については、原子炉冷却系統施設、火災防護設備、浸水防護施設の「(2) 適用基準及び適用規格 第1章 共通項目」に示す。</p>
<p>第2章 個別項目</p> <p>非常用電源設備に適用する個別項目の基準及び規格は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発電用原子力設備に関する技術基準を定める省令の解釈 (平成17年12月15日原院第5号) ・発電用火力設備の技術基準の解釈 (平成25年5月17日20130507商局第2号) 	<p>第2章 個別項目</p> <p>非常用電源設備に適用する個別項目の基準及び規格は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈 (平成25年6月19日原規技発第1306194号) ・発電用原子力設備に関する技術基準を定める省令の解釈 (平成17年12月15日原院第5号) ・発電用火力設備の技術基準の解釈 (平成25年5月17日20130507商局第2号) ・消防法(昭和23年7月24日法律第186号) 消防法施行令(昭和36年3月25日政令第37号) 消防法施行規則(昭和36年4月1日自治省令第6号) 危険物の規制に関する政令(昭和34年9月26日政令第306号) ・NEGA C 331-2005 可搬形発電設備技術基準 ・日本電機工業会 JEM 1354-2003 エンジン駆動陸用同期発電機 ・日本電機工業会 JEM 1398-1995 ディーゼルエンジン駆動可搬形交流発電装置 ・日本電機工業会 JEM 1398-2006 ディーゼルエンジン駆動可搬形交流発電装置 ・乾式キャスクを用いる使用済燃料中間貯蔵建屋の基礎構造の設計に関する技術規程(JEAC 4616-2009) ・土木学会 2002年 コンクリート標準示方書[構造性能照査編] ・土木学会 2012年 コンクリート標準示方書[設計編]

変更前	変更後
<p>・ J I S B 8 2 0 1-1987 陸用鋼製ボイラー構造</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土木学会 2008 年 鋼・合成構造標準示方書 [耐震設計編] ・ 土木学会 2005 年 原子力発電所屋外重要土木建造物の耐震性能照査指針・マニュアル ・ タービンミサイル評価について (昭和 52 年 7 月 20 日原子力委員会原子炉安全専門審査会) ・ J I S B 8 2 0 1-2005 陸用鋼製ボイラー構造

上記のほか「高エネルギーアーク損傷 (HEAF) に係る電気盤の設計に関する審査ガイド」を参照する。

5 非常用電源設備に係る工事の方法

変更前	変更後
<p>非常用電源設備に係る工事の方法は、「原子炉本体」における「9 原子炉本体に係る工事の方法」（「1.3 燃料体に係る工事の手順と使用前事業者検査」, 「2.1.3 燃料体に係る検査」及び「3.2 燃料体の加工に係る工事上の留意事項」を除く。）に従う。</p>	<p>変更なし</p>

2 常用電源設備

1 発電機に係る次の事項

(1) 発電機の種類，容量，力率，電圧，相，周波数，回転速度，結線法及び冷却法並びに発電電動機の場合は，出力

			変更前	変更後
名称			発電機*1	
種類	—		横軸円筒回転界磁形耐爆構造式 三相交流同期発電機	
容量	kVA		1540000 (水素圧 520kPa*2)	
力率	—		0.9 (遅れ)	
電圧	kV		27	
相	—		3	
周波数	Hz		50	
回転速度*3	rpm		1500	
結線法	—		三重星形	
冷却法	固定子	—	水直接及び水素間接冷却	
	回転子	—	水素直接冷却	

変更なし

注：記載の適正化を行う。既工事計画書の「個数」の記載を削除。

注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

*2：SI単位に換算したものである。

*3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「回転数」と記載。

(2) 励磁装置の種類，容量，回転速度，駆動方法及び個数（常用及び予備の別に記載すること。）

			変 更 前	変 更 後
名 称			励磁装置*1	変更なし
種 類	—		サイリスタ励磁方式	
容 量	kW		4095	
回 転 速 度*2	rpm		—	
駆 動 方 法	—		—	
個 数	常 用	—	1	
	予 備	—	なし	

注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「回転数」と記載。

(3) 保護継電装置の種類

名 称		変 更 前	変 更 後
種 類*2	自 動 遮 断 用	発電機*1	変 更 な し
		発電機比率差動継電器	
		発電機・主変圧器比率差動継電器	
		距離継電器（過電流保護）	
		スラスト軸受摩耗検出装置	
		発電機逆電力継電器	
		発電機地絡継電器	
		発電機界磁喪失継電器	
		発電機・変圧器過励磁継電器	
		発電機逆相電流継電器	
		発電機固定子冷却水喪失検出装置	
		発電機界磁地絡継電器	
		励磁電源変圧器過電流継電器	
	励磁電源巻線地絡継電器		
	警 報 用	発電機電圧不平衡継電器	
		水素純度低検出装置	
		水素温度高検出装置	
		水素圧力高低検出装置	
		発電機固定子冷却水温度高検出装置	

注記*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。

(4) 原動機との連結方法

	変更前	変更後
原動機との連結方法*	タービン軸直結	変更なし

注記*：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。

2 変圧器に係る次の事項

- (1) 変圧器の種類、容量、電圧（一次、二次及び三次の別に記載し、電圧調整装置を有するもの場合は、電圧調整範囲及びタップ数を付記すること。）、相、周波数、結線法、冷却法、個数及び取付箇所並びに電気事業の用に供するものにあつては、常用及び予備の別

a. 主変圧器

名 称			変 更 前	変 更 後
種 類			主変圧器* ¹	変更なし
容 量			屋外用三相二巻線無圧密封式	
容量			1450000	
電 圧	一 次	kV	26.325	
	二 次	kV	550.0/537.5/525.0/512.5 (4タップ)* ¹	
	三 次	kV	—* ²	
相			3	
周 波 数			50	
結 線 法	一 次	—	三角形	
	二 次	—	星形	
	三 次	—	—* ²	
冷 却 法			送油風冷式	
個 数	常 用	—	1	
	予 備	—	なし	
取 付 箇 所	系 統 名		主変圧器* ¹	
	設 置 床		屋外 T. M. S. L. 12200mm * ¹	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—	

注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。

以下の設備は、1号機設備であり、1号機、2号機、3号機、4号機、5号機、6号機及び7号機共用の設備（7号機で申請済）である。

1号高起動変圧器（1号機設備、1,2,3,4,5,6,7号機共用）

以下の設備は、5号機設備であり、1号機、2号機、3号機、4号機、5号機、6号機及び7号機共用の設備（7号機で申請済）である。

2号高起動変圧器（5号機設備、1,2,3,4,5,6,7号機共用）

以下の設備は、4号機設備であり、1号機、2号機、3号機、4号機、5号機、6号機及び7号機共用の設備（7号機で申請済）である。

3号高起動変圧器（4号機設備、1,2,3,4,5,6,7号機共用）

(2) 保護継電装置の種類

a. 主変圧器

		変更前	変更後
名称		主変圧器*1	変更なし
種類*2	自動遮断用	発電機・主変圧器比率差動継電器	
		距離継電器（発電機と共用）	
		主変圧器比率差動継電器	
		主変圧器中性点過電流継電器	
	警報用	主変圧器温度高検出装置	
		主変圧器衝撃油圧検出装置	

注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「保護継電装置の種類」と記載。

以下の設備は、1号機設備であり、1号機、2号機、3号機、4号機、5号機、6号機及び7号機共用の設備（7号機で申請済）である。

1号高起動変圧器（1号機設備、1,2,3,4,5,6,7号機共用）

以下の設備は、5号機設備であり、1号機、2号機、3号機、4号機、5号機、6号機及び7号機共用の設備（7号機で申請済）である。

2号高起動変圧器（5号機設備、1,2,3,4,5,6,7号機共用）

以下の設備は、4号機設備であり、1号機、2号機、3号機、4号機、5号機、6号機及び7号機共用の設備（7号機で申請済）である。

3号高起動変圧器（4号機設備、1,2,3,4,5,6,7号機共用）

3 遮断器に係る次の事項

(1) 遮断器の種類、電圧、電流、遮断電流、遮断時間、個数及び取付箇所

以下の設備は、1号機設備及び4号機設備であり、1号機、2号機、3号機、4号機、5号機、6号機及び7号機共用の設備（7号機で申請済）である。

線路用500kV遮断器(1号機設備, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号機共用)(4号機設備, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号機共用)

(2) 保護継電装置の種類

以下の設備は、1号機設備及び4号機設備であり、1号機、2号機、3号機、4号機、5号機、6号機及び7号機共用の設備（7号機で申請済）である。

線路用500kV遮断器(1号機設備, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号機共用)(4号機設備, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号機共用)

4 常用電源設備の基本設計方針、適用基準及び適用規格

(1) 基本設計方針

変更前	変更後
<p>用語の定義は「発電用原子力設備に関する技術基準を定める省令」, 「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置, 構造及び設備の基準に 関する規則」及び「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関 する規則」並びにこれらの解釈による。</p>	<p>用語の定義は「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置, 構造及び 設備の基準に関する規則」及び「実用発電用原子炉及びその附属施設の 技術基準に関する規則」並びにこれらの解釈による。</p>
<p>第1章 共通項目</p> <p>常用電源設備の共通項目である「1. 地盤等, 2. 自然現象, 3. 火 災, 5. 設備に対する要求 (5.2 材料及び構造等, 5.3 使用中の亀裂 等による破壊の防止, 5.4 耐圧試験等, 5.5 安全弁等, 5.6 逆止め 弁, 5.7 内燃機関の設計条件を除く。), 6. その他」の基本設計方針 については, 原子炉冷却系統施設の基本設計方針「第1章 共通項目」 に基づく設計とする。</p>	<p>第1章 共通項目</p> <p>常用電源設備の共通項目である「1. 地盤等, 2. 自然現象, 3. 火 災, 4. 溢水等, 5. 設備に対する要求 (5.2 材料及び構造等, 5.3 使 用中の亀裂等による破壊の防止, 5.4 耐圧試験等, 5.5 安全弁等, 5.6 逆止め弁, 5.7 内燃機関及びガスタービンの設計条件を除く。), 6. その他」の基本設計方針については, 原子炉冷却系統施設の基本設計方 針「第1章 共通項目」に基づく設計とする。</p>
<p>第2章 個別項目</p> <p>1. 保安電源設備</p> <p>1.1 発電所構内における電気系統の信頼性確保</p> <p>1.1.1 機器の損壊, 故障その他の異常の検知と拡大防止</p> <p>安全施設へ電力を供給する保安電源設備は, 電線路, 発電用 原子炉施設において常時使用される発電機, 外部電源系及び 非常用電源設備から安全施設への電力の供給が停止すること がないよう, 発電機, 送電線, 変圧器, 母線等に保護継電器を 設置し, 機器の損壊, 故障その他の異常を検知するとともに,</p>	<p>第2章 個別項目</p> <p>1. 保安電源設備</p> <p>1.1 発電所構内における電気系統の信頼性確保</p> <p>1.1.1 機器の損壊, 故障その他の異常の検知と拡大防止</p> <p>安全施設へ電力を供給する保安電源設備は, 電線路, 発電用 原子炉施設において常時使用される発電機, 外部電源系及び 非常用電源設備から安全施設への電力の供給が停止すること がないよう, 発電機, 送電線, 変圧器, 母線等に保護継電器を 設置し, 機器の損壊, 故障その他の異常を検知するとともに,</p>

変更前	変更後
<p>異常を検知した場合は、ガス絶縁開閉装置あるいはメタルクラッド開閉装置等の遮断器が動作することにより、その拡大を防止する設計とする。</p> <p>特に、重要安全施設に給電する系統においては、多重性を有し、系統分離が可能である母線で構成し、信頼性の高い機器を設置する。</p> <p>常用高圧母線（メタルクラッド開閉装置で構成）は、4母線で構成し、通常運転時に必要な負荷を各母線に振り分け給電する。それぞれの母線から動力変圧器を通して降圧し、常用低圧母線（パワーセンタ及びモータコントロールセンタで構成）へ給電する。</p> <p>共通用高圧母線（メタルクラッド開閉装置で構成）は、4母線で構成し、それぞれの母線から動力変圧器を通して降圧し、共通用低圧母線（パワーセンタ及びモータコントロールセンタで構成）へ給電する。</p> <p>また、高圧及び低圧母線等で故障が発生した際は、遮断器により故障箇所を隔離できる設計とし、故障による影響を局所化できるとともに、他の安全施設への影響を限定できる設計とする。</p> <p>常用の直流電源設備は、蓄電池、充電器、直流主母線盤等で構成する。</p> <p>常用の直流電源設備は、主タービン非常用油ポンプ、給水ポンプタービン非常用油ポンプ等へ給電する設計とする。</p> <p>常用の計測制御用電源設備は、原子炉系計測用主母線盤、タ</p>	<p>異常を検知した場合は、ガス絶縁開閉装置あるいはメタルクラッド開閉装置等の遮断器が動作することにより、その拡大を防止する設計とする。</p> <p>特に、重要安全施設に給電する系統においては、多重性を有し、系統分離が可能である母線で構成し、信頼性の高い機器を設置する。</p> <p>常用高圧母線（メタルクラッド開閉装置で構成）は、4母線で構成し、通常運転時に必要な負荷を各母線に振り分け給電する。それぞれの母線から動力変圧器を通して降圧し、常用低圧母線（パワーセンタ及びモータコントロールセンタで構成）へ給電する。</p> <p>共通用高圧母線（メタルクラッド開閉装置で構成）は、4母線で構成し、それぞれの母線から動力変圧器を通して降圧し、共通用低圧母線（パワーセンタ及びモータコントロールセンタで構成）へ給電する。</p> <p>また、高圧及び低圧母線等で故障が発生した際は、遮断器により故障箇所を隔離できる設計とし、故障による影響を局所化できるとともに、他の安全施設への影響を限定できる設計とする。</p> <p>常用の直流電源設備は、蓄電池、充電器、直流主母線盤等で構成する。</p> <p>常用の直流電源設備は、主タービン非常用油ポンプ、給水ポンプタービン非常用油ポンプ等へ給電する設計とする。</p> <p>常用の計測制御用電源設備は、原子炉系計測用主母線盤、タ</p>

変更前	変更後
<p>ービン系計測用主母線盤等で構成する。</p> <p>常用電源設備の動力回路のケーブルは、負荷の容量に応じたケーブルを使用する設計とし、多重化した非常用電源設備の動力回路のケーブルの系統分離対策に影響を及ぼさない設計とするとともに、制御回路や計装回路への電氣的影響を考慮した設計とする。</p>	<p>ービン系計測用主母線盤等で構成する。</p> <p>常用電源設備の動力回路のケーブルは、負荷の容量に応じたケーブルを使用する設計とし、多重化した非常用電源設備の動力回路のケーブルの系統分離対策に影響を及ぼさない設計とするとともに、制御回路や計装回路への電氣的影響を考慮した設計とする。</p> <p>1.1.2 1相の電路の開放に対する検知及び電力の安定性回復</p> <p>変圧器一次側において3相のうちの1相の電路の開放が生じた場合に検知できるよう、変圧器一次側の電路は、電路を筐体に内包する変圧器やガス絶縁開閉装置等により構成し、3相のうちの1相の電路の開放が生じた場合に保護継電器にて自動で故障箇所の隔離及び非常用母線の受電切替ができる設計とし、電力の供給の安定性を回復できる設計とする。</p> <p>送電線において3相のうちの1相の電路の開放が生じた場合、500kV送電線は1回線での電路の開放時に、安全施設への電力の供給が不安定にならないよう、多重化した設計とする。また、電力送電時、保護装置による3相の電流不平衡監視にて常時自動検知できる設計とする。さらに保安規定に定めている巡視点検を加えることで、保護装置による検知が期待できない場合の1相開放故障や、その兆候を早期に検知できる設計とする。</p> <p>154kV送電線は、各相の不足電圧継電器にて常時自動検知できる設計とする。さらに保安規定に定めている巡視点検を加</p>

変更前	変更後
<p>1.2 電線路の独立性及び物理的分離</p> <p>発電用原子炉施設は、重要安全施設がその機能を維持するために必要となる電力を当該重要安全施設に供給するため、電力系統に連系した設計とする。</p> <p>設計基準対象施設は、送受電可能な回線として500kV送電線（東京電力パワーグリッド株式会社新新潟幹線及び東京電力パワーグリッド株式会社南新潟幹線）（「7号機設備，1,2,3,4,5,6,7号機共用，1号機に設置」（以下同じ。））2ルート4回線及び受電専用の回線として154kV送電線（東北電力ネットワーク株式会社荒浜線）（「7号機設備，1,2,3,4,5,6,7号機共用，1号機に設置」（以下同じ。））1ルート1回線の合計3ルート5回線にて、電力系統に接続する設計とする。</p> <p>500kV送電線4回線は、東京電力パワーグリッド株式会社西群馬開閉所に連系する設計とする。また、154kV送電線1回線は、東北電力ネットワーク株式会社刈羽変電所に連系する設計とする。</p>	<p>えることで、保護継電器による検知が期待できない場合の1相開放故障や、その兆候を早期に検知できる設計とする。</p> <p>500kV送電線及び154kV送電線において1相の電路の開放を検知した場合は、自動又は手動で、故障箇所の隔離又は非常用母線の受電切替ができる設計とし、電力の供給の安定性を回復できる設計とする。</p> <p>1.2 電線路の独立性及び物理的分離</p> <p>発電用原子炉施設は、重要安全施設がその機能を維持するために必要となる電力を当該重要安全施設に供給するため、電力系統に連系した設計とする。</p> <p>設計基準対象施設は、送受電可能な回線として500kV送電線（東京電力パワーグリッド株式会社新新潟幹線及び東京電力パワーグリッド株式会社南新潟幹線）（「7号機設備，1,2,3,4,5,6,7号機共用，1号機に設置」（以下同じ。））2ルート4回線及び受電専用の回線として154kV送電線（東北電力ネットワーク株式会社荒浜線）（「7号機設備，1,2,3,4,5,6,7号機共用，1号機に設置」（以下同じ。））1ルート1回線の合計3ルート5回線にて、電力系統に接続する設計とする。</p> <p>500kV送電線4回線は、東京電力パワーグリッド株式会社西群馬開閉所に連系する設計とする。また、154kV送電線1回線は、東北電力ネットワーク株式会社刈羽変電所に連系する設計とする。</p> <p>上記3ルート5回線の送電線の独立性を確保するため、万一、送電線の上流側接続先である東京電力パワーグリッド株式会社西</p>

変更前	変更後
	<p>群馬開閉所が停止した場合でも、外部電源からの電力供給が可能となるよう、東北電力ネットワーク株式会社刈羽変電所を経由するルートで本発電所に電力を供給することが可能な設計とする。</p> <p>また、東北電力ネットワーク株式会社刈羽変電所が停止した場合には、外部電源からの電力供給が可能となるよう、東京電力パワーグリッド株式会社西群馬開閉所を経由するルートで本発電所に電力を供給することが可能な設計とする。</p> <p>設計基準対象施設は、電線路のうち少なくとも1回線は、同一の送電鉄塔に架線されていない、他の回線と物理的に分離された送電線から受電する設計とする。</p> <p>また、大規模な盛土の崩壊、大規模な地すべり、急傾斜地の崩壊に対し鉄塔基礎の安定性が確保され、台風等による強風発生時及び着氷雪の事故防止対策が図られ、送電線の近接箇所においては、必要な絶縁距離及び水平距離が確保された送電線から受電する設計とする。</p> <p>1.3 複数号機を設置する場合における電力供給確保</p> <p>設計基準対象施設に接続する電線路は、いずれの2回線が喪失した場合においても電力系統から同一の発電所内の発電用原子炉施設への電力の供給が同時に停止しない設計とし、500kV送電線4回線は500kV開閉所及び66kV開閉所を介して接続するとともに、154kV送電線1回線は66kV開閉所を介して接続する設計とする。</p> <p>開閉所から主発電機側の送受電設備は、十分な支持性能を持つ地盤に設置するとともに、耐震性の高い、可とう性のある懸垂碍子</p>

変更前	変更後
	<p>並びに重心の低いガス絶縁開閉装置及びガス遮断器を設置する設計とする。</p> <p>さらに、津波の影響を受けない敷地高さに設置するとともに、塩害を考慮し、送電線引留部の碍子に対しては、碍子洗浄ができる設計とし、遮断器等に対しては、電路がタンクに内包されているガス絶縁開閉装置及びガス遮断器を設置し、ガス遮断器の架線部については屋内に設置する。</p>
<p>2. 設備の共用</p> <p>500kV 送電線, 154kV 送電線, 変圧器の一部及び開閉所の一部は1号機, 2号機, 3号機, 4号機, 5号機, 6号機及び7号機で共用とするが, 各号機に必要な容量をそれぞれ確保するとともに, 外部電源の受電ルートに遮断器を設け, 電気事故が発生した場合, 故障箇所を隔離し, 他の系統への影響を及ぼさない設計とし, 共用箇所の故障により外部電源を受電できなくなった場合は, 非常用ディーゼル発電設備により各号機の非常用所内電源系に給電できる設計とすることで, 安全性を損なわない設計とする。</p>	<p>2. 設備の共用</p> <p>変更なし</p>
<p>3. 主要対象設備</p> <p>常用電源設備の対象となる主要な設備について, 「表 1 常用電源設備の主要設備リスト」に示す。</p>	<p>3. 主要対象設備</p> <p>常用電源設備の対象となる主要な設備について, 「表 1 常用電源設備の主要設備リスト」に示す。</p>

表1 常用電源設備の主要設備リスト (1/1)

		変更前				変更後							
設備区分	系統名	機器区分	名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス	
発電機	—	発電機	発電機	C	—	—	—	変更なし	—	—	—	—	
		励磁装置	励磁装置	C	—	—	—	変更なし	—	—	—	—	
		保護継電装置	発電機	C	—	—	—	変更なし	—	—	—	—	
		原動機との連結方法	発電機 (原動機との連結方法) *2	—	—	—	—	変更なし	—	—	—	—	
変圧器	—	変圧器	主変圧器	C	—	—	—	変更なし	—	—	—	—	
			1号高起動変圧器 (1号機設備, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号機共用)	C	—	—	—	変更なし	—	—	—	—	
			2号高起動変圧器 (5号機設備, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号機共用)	C	—	—	—	変更なし	—	—	—	—	
			3号高起動変圧器 (4号機設備, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号機共用)	C	—	—	—	変更なし	—	—	—	—	
		保護継電装置	主変圧器	C	—	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			1号高起動変圧器 (1号機設備, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号機共用)	C	—	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			2号高起動変圧器 (5号機設備, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号機共用)	C	—	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			3号高起動変圧器 (4号機設備, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号機共用)	C	—	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
遮断器	—	遮断器	線路用 500kV 遮断器 (1号機設備, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号機共用) (4号機設備, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号機共用)	C	—	—	—	変更なし	—	—	—	—	
		保護継電装置	線路用 500kV 遮断器 (1号機設備, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号機共用) (4号機設備, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号機共用)	C	—	—	—	変更なし	—	—	—	—	

注記*1 : 表1に用いる略語の定義は「原子炉本体」の「8 原子炉本体の基本設計方針, 適用基準及び適用規格」の「表1 原子炉本体の主要設備リスト 付表1」による。

*2 : 設計基準対象施設として使用する。

(2) 適用基準及び適用規格

変更前	変更後
<p>第1章 共通項目</p> <p>常用電源設備に適用する共通項目の基準及び規格については、原子炉冷却系統施設、火災防護設備、浸水防護施設の「(2) 適用基準及び適用規格 第1章 共通項目」に示す。</p>	<p>第1章 共通項目</p> <p>常用電源設備に適用する共通項目の基準及び規格については、原子炉冷却系統施設、火災防護設備、浸水防護施設の「(2) 適用基準及び適用規格 第1章 共通項目」に示す。</p>
<p>第2章 個別項目</p> <p>常用電源設備に適用する個別項目の基準及び規格は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none">・発電用原子力設備に関する技術基準を定める省令の解釈 (平成17年12月15日原院第5号)・ANSI C50.13・電気学会 JEC 204-1978 変圧器・電気学会 JEC 181-1975 交流しゃ断器	<p>第2章 個別項目</p> <p>常用電源設備に適用する個別項目の基準及び規格は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none">・実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈 (平成25年6月19日原規技発第1306194号)・発電用原子力設備に関する技術基準を定める省令の解釈 (平成17年12月15日原院第5号)・ANSI C50.13・電気学会 JEC 204-1978 変圧器・電気学会 JEC 181-1975 交流しゃ断器

5 常用電源設備に係る工事の方法

変更前	変更後
<p>常用電源設備に係る工事の方法は、「原子炉本体」における「9 原子炉本体に係る工事の方法」（「1.2 主要な耐圧部の溶接部に係る工事の手順と使用前事業者検査」、「1.3 燃料体に係る工事の手順と使用前事業者検査」、「2.1.2 主要な耐圧部の溶接部に係る検査」、「2.1.3 燃料体に係る検査」及び「3.2 燃料体の加工に係る工事上の留意事項」を除く。）に従う。</p>	<p>変更なし</p>

15 補助ボイラーの基本設計方針、適用基準及び適用規格

(1) 基本設計方針

変更前	変更後
<p>用語の定義は「発電用原子力設備に関する技術基準を定める省令」, 「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置, 構造及び設備の基準に 関する規則」及び「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関 する規則」並びにこれらの解釈による。</p>	<p>用語の定義は「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置, 構造及び 設備の基準に関する規則」及び「実用発電用原子炉及びその附属施設の 技術基準に関する規則」並びにこれらの解釈による。</p>
<p>第1章 共通項目</p> <p>補助ボイラーの共通項目である「1. 地盤等, 2. 自然現象, 3. 火 災, 5. 設備に対する要求 (5.2 材料及び構造等, 5.3 使用中の亀裂 等による破壊の防止, 5.4 耐圧試験等, 5.6 逆止め弁, 5.7 内燃機 関の設計条件を除く。), 6. その他 (6.3 安全避難通路等, 6.4 放射 性物質による汚染の防止を除く。)」の基本設計方針については, 原子炉 冷却系統施設の基本設計方針「第1章 共通項目」に基づく設計とす る。</p>	<p>第1章 共通項目</p> <p>補助ボイラーの共通項目である「1. 地盤等, 2. 自然現象, 3. 火 災, 4. 溢水等, 5. 設備に対する要求 (5.2 材料及び構造等, 5.3 使 用中の亀裂等による破壊の防止, 5.4 耐圧試験等, 5.6 逆止め弁, 5.7 内燃機関及びガスタービンの設計条件を除く。), 6. その他 (6.3 安 全避難通路等, 6.4 放射性物質による汚染の防止を除く。)」の基本設 計方針については, 原子炉冷却系統施設の基本設計方針「第1章 共 通項目」に基づく設計とする。</p>
<p>第2章 個別項目</p> <p>1. 補助ボイラー</p> <p>1.1 補助ボイラーの機能</p> <p>発電用原子炉施設には, 設計基準事故に至るまでの間に想定さ れる使用条件として, 液体廃棄物処理系, タンクの保温用等及び主 蒸気を使用できない場合のタービンのグラウンド蒸気に必要な蒸気 を供給する能力を有する補助ボイラー (「5号機設備, 5, 6, 7号機 共用」, 「5, 6, 7号機共用」 (以下同じ。)) を設置する。</p>	<p>第2章 個別項目</p> <p>1. 補助ボイラー</p> <p>変更なし</p>

変更前	変更後
<p>補助ボイラーは、発電用原子炉施設の安全性を損なわない設計とする。</p> <p>1.2 補助ボイラーの設計条件</p> <p>補助ボイラーは、ボイラー本体、給水設備、制御装置、缶水処理装置等で構成し、蒸気を蒸気だめより所内蒸気系母管を経て、蒸気を使用する各機器に供給できる設計とする。蒸気使用機器で使用される蒸気のうち回収できるものは、所内蒸気戻り系より補助ボイラーの給水タンクに集め、ボイラー用水として再使用し、給水使用量を低減できる設計とする。</p> <p>補助ボイラーは、長期連続運転及び負荷変動に対応できる設計とし、設計基準事故時及び当該事故に至るまでの間に想定される全ての環境条件において、その機能を発揮できる設計とするとともに、補助ボイラーの健全性及び能力を確認するため、必要な箇所の保守点検（試験及び検査を含む。）ができるよう設計する。</p> <p>設計基準対象施設に施設する補助ボイラー及びその付属設備の耐圧部分に使用する材料は、安全な化学的成分及び機械的強度を有するとともに、耐圧部分の構造は、最高使用圧力及び最高使用温度において、発生する応力に対して安全な設計とする。</p> <p>設計基準対象施設に施設する補助ボイラーに属する主要な耐圧部の溶接部は、次のとおりとし、使用前事業者検査により適用基準及び適用規格に適合していることを確認する。</p> <p>(1) 不連続で特異な形状でない設計とする。</p> <p>(2) 溶接による割れが生ずるおそれがなく、かつ、健全な溶接部の</p>	

変更前	変更後
<p>確保に有害な溶込み不良その他の欠陥がないことを非破壊試験により確認する。</p> <p>(3) 適切な強度を有する設計とする。</p> <p>(4) 適切な溶接施工法，溶接設備及び技能を有する溶接士であることを機械試験その他の評価方法によりあらかじめ確認する。</p> <p>補助ボイラーの缶体には，圧力の上昇による設備の損傷防止のため，最大蒸発量と同等容量以上の安全弁を設ける設計とする。</p> <p>補助ボイラーの缶体には，圧力の上昇による設備の損傷防止のため，ドラム内水位，ドラム内圧力等の運転状態を計測する装置を設ける設計とする。</p> <p>補助ボイラーは，補助ボイラーの最大連続蒸発時において，熱的損傷が生ずることのないよう水を供給できる適切な容量の給水設備を設け，給水の入口及び蒸気の出口については，流路を速やかに遮断できる設計とする。</p> <p>補助ボイラーは，ボイラー水の濃縮を防止し，及び水位を調整するために，補助ボイラー水を抜くことができる設計とする。</p> <p>補助ボイラーは電気ボイラーを使用することにより，ばい煙を発生しない設計とする。</p>	
<p>2. 設備の共用</p> <p>補助ボイラー設備並びに所内蒸気系及び戻り系は，5号機，6号機及び7号機で共用とするが，各号機に必要な容量をそれぞれ確保するとともに，号機間の接続部の弁を閉操作することにより隔離できる設計とすることで，安全性を損なわない設計とする。</p>	<p>2. 設備の共用</p> <p>変更なし</p>

(2) 適用基準及び適用規格

変更前	変更後
<p>第1章 共通項目</p> <p>補助ボイラーに適用する共通項目の基準及び規格については、原子炉冷却系統施設、火災防護設備、浸水防護施設の「(2) 適用基準及び適用規格 第1章 共通項目」に示す。</p>	<p>第1章 共通項目</p> <p>補助ボイラーに適用する共通項目の基準及び規格については、原子炉冷却系統施設、火災防護設備、浸水防護施設の「(2) 適用基準及び適用規格 第1章 共通項目」に示す。</p>
<p>第2章 個別項目</p> <p>補助ボイラーに適用する個別項目の基準及び規格は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発電用火力設備の技術基準の解釈（平成25年5月17日20130507商局第2号） ・J I S B 8 2 4 3-1981 圧力容器の構造 ・J S M E S N C 1-2005/2007 発電用原子力設備規格 設計・建設規格 ・J S M E S N B 1-2007 発電用原子力設備規格 溶接規格 	<p>第2章 個別項目</p> <p>補助ボイラーに適用する個別項目の基準及び規格は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発電用火力設備の技術基準の解釈（平成25年5月17日20130507商局第2号） ・J I S B 8 2 4 3-1981 圧力容器の構造 ・J S M E S N C 1-2005/2007 発電用原子力設備規格 設計・建設規格 ・J S M E S N B 1-2007 発電用原子力設備規格 溶接規格

16 補助ボイラーに係る工事の方法

変更前	変更後
<p>補助ボイラーに係る工事の方法は、「原子炉本体」における「9 原子炉本体に係る工事の方法」（「1.3 燃料体に係る工事の手順と使用前事業者検査」, 「2.1.3 燃料体に係る検査」及び「3.2 燃料体の加工に係る工事上の留意事項」を除く。）に従う。</p>	<p>変更なし</p>

4 火災防護設備

1 火災区域構造物及び火災区画構造物の名称、種類、主要寸法及び材料

a. 原子炉建屋

以下の設備は、6号機設備であり、6号機及び7号機共用（7号機で申請済）である。

RW/B~C/B間クリーンアクセス通路（6,7号機共用）（火災区画 RW-B1F-15）

以下の設備は、7号機設備であり、6号機及び7号機共用（7号機で申請済）である。

配管室（R/B B3F 北西）（7号機設備、6,7号機共用）（火災区画 R-B3F-26）

変更前				変更後*1									
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料		
火災区域（区画）名称	区分	番号				火災区域（区画）名称	区分	番号					
			—				配管室	火災区域	RX-B3F-1	壁	123 以上 □	□	
							□		火災区域				RX-B3F-2
							HCU室（東側）エリア	火災区域	RX-B3F-3				
							HPACポンプ室エリア	火災区域	RX-B2F-2				
							□	火災区域	RX-B2F-3				
							□	火災区域	RX-B1F-1				
							□	火災区域	RX-B1F-2				
							□	火災区域	RX-B1F-3				
							□	火災区域	RX-B1F-4				
							原子炉系（DIV-III）計装ラック室	火災区域	RX-B1F-5				
							原子炉系（DIV-IV）計装ラック室	火災区域	RX-B1F-6				
							□	火災区域	RX-1F-1				
							SGTSモニタ室	火災区域	RX-1F-2				
							電気ペネ室（R/B 2F 北）	火災区域	RX-2F-1				
							MSIV搬出入用機器ハッチ室エリア	火災区域	RX-2F-2				

注記*1：本設備は既存の設備である。

*2：火災区域構造物及び火災区画構造物の公称寸法のうち最小のものを示す。

変更前				変更後*1							
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域（区画）名称	区分	番号				火災区域（区画）名称	区 分	番 号			
—				SGTS 室	火災区域	RX-3F-1	壁	123 以上 <input type="text"/>	<input type="text"/>		
				MS 放射線モニタ検出器・MS トンネル室空調機室	火災区域	RX-3F-2					
				CAMS (A) 室	火災区域	RX-M4F-1					
				原子炉建屋全域	火災区域	RX-ALL					

注記*1 : 本設備は既存の設備である。

*2 : 火災区域構造物及び火災区画構造物の公称寸法のうち最小のものを示す。

変更前				変更後*							
名称			種類	主要寸法 (mm)	材 料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域 (区画) 名称	区分	番号				火災区域 (区画) 名称	区 分	番 号			
							火災区画	R-1-1			
							火災区画	R-1-2			
							火災区画	R-1-3			
							火災区画	R-1-4			
							火災区画	R-1-5			
							火災区画	R-1-6			
						R/B 地下3階通路	火災区画	R-1-7			
						階段室 (R/B B3F 北西)	火災区画	R-1-8			
						HCU室 (西側)	火災区画	R-1-11			
						炉心流量 (DIV-I) 計装ラック, スクラム地震計 (I) 室	火災区画	R-1-12			
						炉心流量 (DIV-IV) 計装ラック, スクラム地震計 (IV) 室	火災区画	R-1-14			
						CUW 逆洗水移送ポンプ室	火災区画	R-1-15			
						SPCU ポンプ, CUW 系非再生熱交換器漏洩試験用ラック室	火災区画	R-1-19			
						階段室 (R/B B3F 南西)	火災区画	R-1-20			
						階段室 (R/B B3F 南東)	火災区画	R-1-22			
						HCU室 (東側)	火災区画	R-1-25			
						炉心流量 (DIV-II) 計装ラック, スクラム地震計 (II) 室	火災区画	R-1-26			

注記* : 本設備は既存の設備である。

変更前				変更後*							
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—				炉心流量(DIV-III)計装ラック, スクラム地震計(III), CRDマスターコントロール室			火災区画	R-1-27	—	—	—
				配管室(R-1-28)			火災区画	R-1-28			
				パイプスペース(R-1-29)			火災区画	R-1-29			
				R/B地下2階通路			火災区画	R-2-1			
							火災区画	R-2-2			
							火災区画	R-2-3			
				HPACポンプ室			火災区画	R-2-4			
				所員用エアロック室, TIPバルブアッセンブリ室			火災区画	R-2-6			
				FPC保持ポンプ室			火災区画	R-2-8			
							火災区画	R-2-11			
				RIP・CRD取扱装置制御室			火災区画	R-2-12			
				RIP・CRD補修室, ケーブル室			火災区画	R-2-14			
				CRDモータ試験室			火災区画	R-2-15			
				TIP駆動装置現場制御盤室			火災区画	R-2-20			
エレベータ前室(R/B MB2F 北西)			火災区画	R-2-21							

注記* : 本設備は既存の設備である。

変更前				変更後*							
名称			種類	主要寸法 (mm)	材 料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域 (区画) 名称	区分	番号				火災区域 (区画) 名称	区 分	番 号			
						R/B 地下 1 階通路	火災区画	R-3-1			
						<input type="text"/>	火災区画	R-3-2			
						<input type="text"/>	火災区画	R-3-3			
						<input type="text"/>	火災区画	R-3-4			
						RIP-ASD(A) (B) (E) (F) (H) 室	火災区画	R-3-6			
						<input type="text"/>	火災区画	R-3-7			
						原子炉系 (DIV-III) 計装ラック室	火災区画	R-3-8			
						原子炉系 (DIV-I) 計装ラック室	火災区画	R-3-9			
						階段室 (R/B B1F 北)	火災区画	R-3-11			
						サブプレッションチェンバ室	火災区画	R-3-12			
						<input type="text"/>	火災区画	R-3-13			
						原子炉系 (DIV-IV) 計装ラック室	火災区画	R-3-15			
						原子炉系 (DIV-II) 計装ラック室	火災区画	R-3-16			
						階段室 (R/B B1F 南)	火災区画	R-3-18			
						RIP-ASD(C) (D) (G) (J) (K) 室	火災区画	R-3-20			
						<input type="text"/>	火災区画	R-3-22			

注記* : 本設備は既存の設備である。

変更前				変更後*							
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
						R/B 地上1階通路	火災区画	R-4-1			
						<input type="text"/>	火災区画	R-4-2			
						<input type="text"/>	火災区画	R-4-3			
						<input type="text"/>	火災区画	R-4-4			
						配管室 (R-4-6)	火災区画	R-4-6			
						<input type="text"/>	火災区画	R-4-8			
						<input type="text"/>	火災区画	R-4-9			
						非管理区域入口室 (R/B 1F 北)	火災区画	R-4-10			
						<input type="text"/>	火災区画	R-4-11			
						除染パン室	火災区画	R-4-16			
						電気ペネ室 (R/B 1F 東)	火災区画	R-4-19			
						FCS 再結合装置室	火災区画	R-4-20			
						<input type="text"/>	火災区画	R-4-24			
						非管理区域入口室 (R/B 1F 南)	火災区画	R-4-25			
						SLC・電気ペネ室	火災区画	R-4-26			
						CUW プリコートポンプ・タンク室	火災区画	R-4-28			
						SGTS モニタ室	火災区画	R-4-32			
						MS トンネル室	火災区画	R-4-34			

注記* : 本設備は既存の設備である。

変更前				変更後*							
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
—			—	—	—	R/B 地上 2 階通路	火災区画	R-5-1	—	—	—
						MSIV 搬出入用機器ハッチ室	火災区画	R-5-2			
						IA・HPIN ペネ室	火災区画	R-5-3			
						DG(A)非常用送風機室	火災区画	R-5-5			
						<div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 15px;"></div>	火災区画	R-5-7			
						<div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 15px;"></div>	火災区画	R-5-8			
						電気ペネ室 (R/B 2F 北)	火災区画	R-5-9			
						DG(C)非常用送風機室	火災区画	R-5-11			
						FPC 熱交換器室・弁室	火災区画	R-5-14			
						FPC ポンプ室	火災区画	R-5-16			
						電気ペネ室 (R/B 2F 南)	火災区画	R-5-17			
						ASD 出力トランス(D)(J)室	火災区画	R-5-18			
						<div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 15px;"></div>	火災区画	R-5-19			
						格納容器所員用エアロック室	火災区画	R-5-20			
DG(B)非常用送風機室	火災区画	R-5-21									

注記* : 本設備は既存の設備である。

変更前				変更後*							
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
						R/B 地上3階通路	火災区画	R-6-1			
						<input type="text"/>	火災区画	R-6-2			
						<input type="text"/>	火災区画	R-6-6			
						MSIV・SRV ラッピング室	火災区画	R-6-7			
						<input type="text"/>	火災区画	R-6-9			
						ASD 出力トランス(A)(F)室	火災区画	R-6-10			
						<input type="text"/>	火災区画	R-6-11			
						<input type="text"/>	火災区画	R-6-15			
						CAMS(B)室	火災区画	R-6-22			
						<input type="text"/>	火災区画	R-6-23			
						SGTS 室	火災区画	R-6-24			
						ダストモニタ(B)室	火災区画	R-6-26			

注記* : 本設備は既存の設備である。

変更前				変更後*							
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
						DG(A)/Z送風機室	火災区画	R-7-4			
						CAMS(A)室	火災区画	R-7-5			
						ダストモニタ(A)室	火災区画	R-7-7			
						階段室(R/B M4F 北)	火災区画	R-7-8			
						北側FMCRD制御盤室	火災区画	R-7-9			
						LDSモニタ室	火災区画	R-7-10			
						DG(C)/Z送風機室	火災区画	R-7-13			
						DG(B)/Z送風機室	火災区画	R-7-23			
						南側FMCRD制御盤室	火災区画	R-7-25			
						MSトンネル室空調機室	火災区画	R-7-27			
						R/Bオペレーティングフロア	火災区画	R-8-1			
							火災区画	R-8-2A			
						AMバッテリー室	火災区画	R-8-2B			
							火災区画	R-8-3			
						RIP点検室	火災区画	R-8-7			
						階段前室(R/B 4F 南東)	火災区画	R-8-9			
							火災区画	R-8-23			
						格納容器	火災区画	K6-PCV			

注記* : 本設備は既存の設備である。

b. タービン建屋

変更前				変更後*1							
名称			種類	主要寸法 (mm)	材 料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域（区画）名称	区分	番号				火災区域（区画）名称	区分	番号			
—						T/B 北側配管室エリア	火災区域	TB-B2F-1	壁	123 以上 □	□
						□	火災区域	TB-B1F-1			
						A 系非常用送風機室エリア	火災区域	TB-1F-1			
						タービン建屋全域	火災区域	TB-ALL			

注記*1：本設備は既存の設備である。

*2：火災区域構造物及び火災区画構造物の公称寸法のうち最小のものを示す。

変更前				変更後*							
名称			種類	主要寸法 (mm)	材 料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域 (区画) 名称	区分	番号				火災区域 (区画) 名称	区 分	番 号			
						TCW ポンプ・熱交換器室	火災区画	T-1-2			
						[Redacted]	火災区画	T-1-20			
						配管室 (T-1-22)	火災区画	T-1-22			
						T/A B2F ケーブル (I) (III)・配管トレンチ	火災区画	T-1-50			
						T/A B2F ケーブル (II)・配管トレンチ	火災区画	T-1-51			
						[Redacted]	火災区画	T-2-16			
						[Redacted]	火災区画	T-3-1			
						[Redacted]	火災区画	T-3-2			
						[Redacted]	火災区画	T-3-3			
						[Redacted]	火災区画	T-3-10			
						[Redacted]	火災区画	T-4-2			
						A 系非常用送風機室	火災区画	T-6-1			

注記* : 本設備は既存の設備である。

c. コントロール建屋

以下の設備は、6号機設備であり、6号機及び7号機共用（7号機で申請済）である。

6号機 C/B 計測制御電源盤区域(B)送・排風機室（6,7号機共用）（火災区画 C-1F-11）

7号機 C/B 計測制御電源盤区域(B)送風機室（6,7号機共用）（火災区画 C-1F-01）

7号機 MCR 再循環フィルタ装置室（6,7号機共用）（火災区画 C-1F-02）

中央制御室（6,7号機共用）（火災区画 C-2F-03）

上部中央制御室（6,7号機共用）（火災区画 C-2F-02）

変更前				変更後*1							
名称			種類	主要寸法 (mm)	材 料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域（区画）名称	区分	番号				火災区域（区画）名称	区分	番号			
						6号機常用バッテリー（250V）室エリア	火災区域	CB(#6)-B2F-1	壁	123 以上 □	□
						□	火災区域	CB(#6)-B1F-1			
						□	火災区域	CB(#6)-B1F-2			
						□	火災区域	CB(#6)-B1F-3			
						□	火災区域	CB(#6)-B1F-4			
						6号機プロセス計算機室エリア	火災区域	CB(#6)-1F-1			
						6号機区分I ケーブル処理室	火災区域	CB(#6)-1F-2			
						中央制御室エリア	火災区域	CB(#6)-2F-1			
						6号機中央制御室送・排風機室	火災区域	CB(#6)-2F-2			
						コントロール建屋全域	火災区域	CB(#6)-ALL			

注記*1：本設備は既存の設備である。

*2：火災区域構造物及び火災区画構造物の公称寸法のうち最小のものを示す。

変更前				変更後*							
名称			種類	主要寸法 (mm)	材 料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域 (区画) 名称	区分	番号				火災区域 (区画) 名称	区 分	番 号			
						6号機常用電気品室	火災区画	C-1-1			
						6号機常用バッテリー (250V) 室	火災区画	C-1-2			
						6号機 HECW(A) (C) 冷凍機室	火災区画	C-1-3			
						6号機 HECW(B) (D) 冷凍機室	火災区画	C-1-4			
						6号機常用バッテリー (250V・48V) 室	火災区画	C-1-12			
						6号機 C/B 常用電気品区域送・排風機室	火災区画	C-1-13			
						6号機 C/B 計測制御電源盤区域(C)送風機室	火災区画	C-1-14			
						[Redacted]	火災区画	C-2-1			
						[Redacted]	火災区画	C-2-2			
						[Redacted]	火災区画	C-2-3			
						[Redacted]	火災区画	C-2-4			
						[Redacted]	火災区画	C-2-5			
						[Redacted]	火災区画	C-2-6			
						[Redacted]	火災区画	C-2-7			
						[Redacted]	火災区画	C-2-8			
						6号機 C/B 計測制御電源盤区域(A)送・排風機室	火災区画	C-2-9			
						6号機 C/B 計測制御電源盤区域(C)排風機室	火災区画	C-2-10			
						非管理区域アクセス通路 (C/B B1F)	火災区画	C-2-11			

注記* : 本設備は既存の設備である。

変更前					変更後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域 (区画) 名称	区分	番号				火災区域 (区画) 名称	区 分	番 号			
—					6号機下部中央制御室	火災区画	C-3-1	—	—	—	
					6号機常用ケーブル処理室	火災区画	C-3-2				
					6号機区分Ⅰケーブル処理室	火災区画	C-3-3				
					6号機区分Ⅱケーブル処理室	火災区画	C-3-4				
					6号機区分Ⅲケーブル処理室	火災区画	C-3-5				
					6号機プロセス計算機室	火災区画	C-3-6				
					6号機ダクトスペース (C-3-7)	火災区画	C-3-7				
					6号機計算機用トランス室	火災区画	C-3-8				
					6号機中央制御室再循環フィルタ装置室	火災区画	C-3-9				
					管理区域アクセス通路 (C/B 1F)	火災区画	C-3-11				
					6号機中央制御室送・排風機室	火災区画	C-3-25				
					6号機ケーブル処理室 (C-4-2)	火災区画	C-4-2				

注記*1 : 本設備は既存の設備である。

*2 : 火災区域構造物及び火災区画構造物の公称寸法のうち最小のものを示す。

廃棄物処理建屋

以下の設備は、6号機設備であり、6号機及び7号機共用（7号機で申請済）である。

廃棄物処理建屋全域（6,7号機共用）（火災区画 RWB-ALL）

使用済樹脂デカントポンプ室（6,7号機共用）（火災区画 RW-B3F-16）

7号機, 6号機復水移送ポンプ室（6,7号機共用）（火災区画 RW-B3F-22A）

RW/B 地下3F 北東側通路（6,7号機共用）（火災区画 RW-B3F-22B）

配管室（RW/B B3F 南東）（6,7号機共用）（火災区画 RW-B3F-23）

RW/B 地下3階通路（6,7号機共用）（火災区画 RW-B3F-25）

配管室（RW/B B2F 北東）（6,7号機共用）（火災区画 RW-B2F-04）

6号機 HNCW 冷凍機室（6,7号機共用）（火災区画 RW-B2F-07）

配管室（RW/B B1F 北西）（6,7号機共用）（火災区画 RW-B1F-08）

RW/B 地下1階通路(B)（6,7号機共用）（火災区画 RW-B1F-09）

RW 電気品室（6,7号機共用）（火災区画 RW-B1F-13）

6号機, 7号機 MG 電気品室（6,7号機共用）（火災区画 RW-1F-13）

以下の設備は、7号機設備であり、6号機及び7号機共用（7号機で申請済）である。

配管室・連絡トレンチ（R-B2F-21）（7号機設備, 6,7号機共用）（火災区画 R-B2F-21）

5号機原子炉建屋内緊急時対策所

以下の設備は、7号機設備であり、6号機及び7号機共用（7号機で申請済）である。

A系計装用電源室（7号機設備，6,7号機共用）（火災区画 K5TSC-3F-03）

計算機室（7号機設備，6,7号機共用）（火災区画 K5TSC-3F-04）

ケーブルトレイシャフト（7号機設備，6,7号機共用）（火災区画 K5TSC-3F-05）

計算機室前室（7号機設備，6,7号機共用）（火災区画 K5TSC-3F-06）

階段室（An/A 3F 北西）前室（7号機設備，6,7号機共用）（火災区画 K5TSC-3F-07）

日勤直控室・図書室（7号機設備，6,7号機共用）（火災区画 K5TSC-3F-08）

MCR 給気処理装置室（7号機設備，6,7号機共用）（火災区画 K5TSC-3F-09）

階段室（An/A 4F 北西）（7号機設備，6,7号機共用）（火災区画 K5TSC-4F-01）

D/G(A)/Z 排気ルーバ室（7号機設備，6,7号機共用）（火災区画 K5TSC-4F-02）

d. トレンチエリア

変更前				変更後*1							
名称			種類	主要寸法 (mm)	材 料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域（区画）名称	区分	番号				火災区域（区画）名称	区分	番号			
—						R/B～C/B間区分Ⅰトレンチ	火災区域	YD-1	壁	123 以上	<input type="text"/>
						R/B～C/B間区分Ⅱ・Ⅲ・Ⅳトレンチ	火災区域	YD-ALL		<input type="text"/>	<input type="text"/>

注記*1：本設備は既存の設備である。

*2：火災区域構造物及び火災区画構造物の公称寸法のうち最小のものを示す。

変 更 前				変 更 後*							
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域（区画）名称	区分	番号				火災区域（区画）名称	区分	番号			
—			—	—	—	R/B～C/B 区分Ⅰ トレンチ	火災区画	Y-1-1	—	—	—
—						R/B～C/B 区分Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ トレンチ	火災区画	Y-2-1			

注記*：本設備は既存の設備である。

2 消火設備に係る次の事項

- (1) ポンプの名称，種類，容量，揚程又は吐出圧力，最高使用圧力，最高使用温度，主要寸法，材料，個数及び取付箇所並びに原動機の種類，出力，個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・常設

以下の設備は，5号機設備であり，6号機及び7号機共用（7号機で申請済）である。

電動機駆動消火ポンプ（5号機設備，6,7号機共用）

以下の設備は，5号機設備であり，6号機及び7号機共用（7号機で申請済）である。

ディーゼル駆動消火ポンプ（5号機設備，6,7号機共用）


(2) 容器の名称, 種類, 容量, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料, 個数
及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)

・常設

以下の設備は, 5号機設備であり, 6号機及び7号機共用 (7号機で申請済) である。

ろ過水タンク (5号機設備, 6,7号機共用)

a. 二酸化炭素消火設備二酸化炭素ボンベ

			変更前	変 更 後	
名 称			—	 二酸化炭素ボンベ	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		68 以上 (68*)	
最	高	使 用 圧 力		MPa	10.8
最	高	使 用 温 度		℃	40
主 要 寸 法	外	径		mm	268*
	高	さ		mm	1500*
	胴	部 厚 さ		mm	5.9 以上 (7.0*)
	底	部 厚 さ		mm	12.0 以上 (12.0*)
材	料	—		マンガン鋼	
個	数	—		25	
取 付 箇 所	系	統 名		—	消火系
	設	置 床		—	原子炉建屋 T.M.S.L. 18100mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号		—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—	

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後	
名 称			—	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 30px; margin: 0 auto;"></div> 用 二酸化炭素ポンベ	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		68 以上 (68 *)	
最	高 使 用 圧 力	MPa		10.8	
最	高 使 用 温 度	℃		40	
主 要 寸 法	外	径		mm	268 *
	高	さ		mm	1500 *
	胴	部 厚 さ		mm	5.9 以上 (7.0 *)
	底	部 厚 さ		mm	12.0 以上 (12.0 *)
材	料	—		マンガン鋼	
個	数	—		25	
取 付 箇 所	系	統 名		—	消火系
	設	置 床		—	原子炉建屋 T.M.S.L. 18100mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号		—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—	

注記*：公称値を示す。

b. 小空間固定式消火設備ハロゲン化物ポンペ

以下の設備は、6号機及び7号機共用（7号機で申請済）である。

7号機 C/B 計測制御電源盤区域(B)送風機室用ハロゲン化物ポンペ（6,7号機共用）

使用済樹脂デカントポンプ室用ハロゲン化物ポンペ（6,7号機共用）

7号機, 6号機復水移送ポンプ室用ハロゲン化物ポンペ（6,7号機共用）

RW/B 地下3階通路用ハロゲン化物ポンペ（6,7号機共用）

配管室（RW/B B2F 北東）, 配管室（RW/B B1F 北西）用ハロゲン化物ポンペ（6,7号機共用）

RW/B 地下1階通路(B)用ハロゲン化物ポンペ（6,7号機共用）

RW 電気品室用ハロゲン化物ポンペ（6,7号機共用）

6号機, 7号機 MG 電気品室用ハロゲン化物ポンペ（6,7号機共用）

RW/B～C/B 間クリーンアクセス通路用ハロゲン化物ポンペ（6,7号機共用）

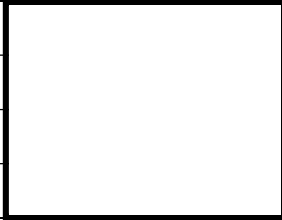
6号機 C/B 計測制御電源盤区域(B)送・排風機室用ハロゲン化物ポンペ（6,7号機共用）

6号機 HNCW 冷凍機室用ハロゲン化物ポンペ（6,7号機共用）



以下の設備は、7号機設備であり、6号機及び7号機共用（7号機で申請済）である。

配管室（R/B B3F 北西）用ハロゲン化物ポンペ（7号機設備, 6,7号機共用）

配管室・連絡トレンチ（R-B2F-21）用ハロゲン化物ポンペ（7号機設備, 6,7号機共用）

			変更前	変 更 後	
名 称			—	TCW ポンプ・熱交換器室用 ハロゲン化物ボンベ	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		68.1 以上 (68.1*)	
最 高 使 用 圧 力		MPa		5.2	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外	径		mm	
	高	さ		mm	
	胴 部	厚 さ		mm	
	底 部	厚 さ		mm	
材	料	—		マンガン鋼	
個	数	—		32	
取 付 箇 所	系	統 名		—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床		—	タービン建屋 T.M.S.L. -1100 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後	
名 称			—	 用 ハロゲン化物ボンベ	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		68.1 以上 (68.1*)	
最 高 使 用 圧 力		MPa		5.2	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外	径		mm	
	高	さ		mm	
	胴 部	厚 さ		mm	
	底 部	厚 さ		mm	
材	料	—		マンガン鋼	
個	数	—		27	
取 付 箇 所	系	統 名		—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床		—	タービン建屋 T.M.S.L. -1100 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—	—	

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後	
名 称			—	T/A B2F ケーブル (I) (III) ・ 配管トレンチ用 ハロゲン化物ボンベ	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		68.1 以上 (68.1*)	
最	高	使 用 圧 力		MPa	5.2
最	高	使 用 温 度		℃	40
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ		mm	
	胴	部 厚 さ		mm	
	底	部 厚 さ		mm	
材	料	—		マンガン鋼	
個	数	—		9	
取 付 箇 所	系	統 名		—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床		—	タービン建屋 T.M.S.L. -8500 mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号		—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後	
名 称			—	T/A B2F ケーブル (II) ・ 配管トレンチ用 ハロゲン化物ボンベ	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		68.1 以上 (68.1*)	
最	高	使 用 圧 力		MPa	5.2
最	高	使 用 温 度		℃	40
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ		mm	
	胴	部 厚 さ		mm	
	底	部 厚 さ		mm	
材	料	—		マンガン鋼	
個	数	—		10	
取 付 箇 所	系	統 名		—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床		—	タービン建屋 T.M.S.L. -1100 mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号		—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後	
名 称			—	<div style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 15px; margin: 5px auto;"></div> 用 ハロゲン化物ボンベ	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		68.1 以上 (68.1*)	
最 高 使 用 圧 力		MPa		5.2	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ		mm	
	胴 部	厚 さ		mm	
	底 部	厚 さ		mm	
材	料	—		マンガン鋼	
個	数	—		25	
取 付 箇 所	系	統 名		—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床		—	タービン建屋 T.M.S.L. -1100 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—	—	

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後	
名 称			—	<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 15px; margin: 5px auto;"></div> 用 ハロゲン化物ボンベ	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		68.1 以上 (68.1*)	
最 高 使 用 圧 力		MPa		5.2	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ		mm	
	胴 部	厚 さ		mm	
	底 部	厚 さ		mm	
材	料	—		マンガン鋼	
個	数	—		33	
取 付 箇 所	系	統 名		—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床		—	タービン建屋 T. M. S. L. 6300 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				 用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		68.1 以上 (68.1*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		5.2
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		4
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		タービン建屋 T. M. S. L. 3500 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後	
名 称			—	<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div> 用 ハロゲン化物ボンベ	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		68.1 以上 (68.1*)	
最 高 使 用 圧 力		MPa		5.2	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ		mm	
	胴 部	厚 さ		mm	
	底 部	厚 さ		mm	
材	料	—		マンガン鋼	
個	数	—		4	
取 付 箇 所	系	統 名		—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床		—	タービン建屋 T. M. S. L. 12300 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後	
名 称			—	<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div> 用 ハロゲン化物ボンベ	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)	
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 100px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ		mm	
	胴 部 厚 さ			mm	
	底 部 厚 さ			mm	
材	料	—		クロムモリブデン鋼	
個	数	—		6	
取 付 箇 所	系	統 名		—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床		—	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div> 用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm	—	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		クロムモリブデン鋼
個	数	—		6
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T. M. S. L. -8200 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後	
名 称			—	<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div> 用 ハロゲン化物ボンベ	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)	
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ		mm	
	胴 部	厚 さ		mm	
	底 部	厚 さ		mm	
材	料	—		クロムモリブデン鋼	
個	数	—		6	
取 付 箇 所	系	統 名		—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床		—	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></div> 用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm	—	<div style="border: 2px solid black; width: 100px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		クロムモリブデン鋼
個	数	—		4
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T. M. S. L. -8200 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—


注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後	
名 称			—	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div> 用 ハロゲン化物ボンベ	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)	
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ		mm	
	胴 部 厚 さ			mm	
	底 部 厚 さ			mm	
材	料	—		クロムモリブデン鋼	
個	数	—		4	
取 付 箇 所	系	統 名		—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床		—	原子炉建屋 T.M.S.L. -8200 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後	
名 称			—	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div> 用 ハロゲン化物ポンベ	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)	
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ		mm	
	胴 部	厚 さ		mm	
	底 部	厚 さ		mm	
材	料	—		クロムモリブデン鋼	
個	数	—		4	
取 付 箇 所	系	統 名		—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床		—	原子炉建屋 T. M. S. L. -8200 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—		


注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				HCU 室 (西側) 用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm	—	
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		クロムモリブデン鋼
個	数	—		4
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. -8200 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—


注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				HCU 室 (東側) 用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm	—	
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		クロムモリブデン鋼
個	数	—		4
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. -8200 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				HPAC ポンプ室用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm	—	
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		クロムモリブデン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T. M. S. L. -1700 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称			—	RIP・CRD 取扱装置制御室用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		クロムモリブデン鋼
個	数	—		2
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T. M. S. L. -1700 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		


注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称			—	CRD モータ試験室用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 100px; margin: auto;"></div>
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		クロムモリブデン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T. M. S. L. -1700 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称			—	TIP 駆動装置現場制御盤室用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 100px; margin: auto;"></div>
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		クロムモリブデン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T. M. S. L. -1500 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				RIP-ASD(A) (B) (E) (F) (H) 室用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		115.4 以上 (115.4*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm	—	
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		SM520B
個	数	—		8
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T. M. S. L. 4800 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後	
名 称			—	<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div> 用 ハロゲン化物ボンベ	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)	
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ		mm	
	胴 部 厚 さ			mm	
	底 部 厚 さ			mm	
材	料	—		クロムモリブデン鋼	
個	数	—		2	
取 付 箇 所	系	統 名		—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床		—	原子炉建屋 T.M.S.L. 12500 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後	
名 称			—	非管理区域入口室 (R/B 1F 北) 用 ハロゲン化物ボンベ	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)	
最	高	使 用 圧 力		MPa	4.8
最	高	使 用 温 度		℃	40
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 100px; margin: auto;"></div>
	高	さ		mm	
	胴	部 厚 さ		mm	
	底	部 厚 さ		mm	
材	料	—		クロムモリブデン鋼	
個	数	—		3	
取 付 箇 所	系	統 名		—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床		—	原子炉建屋 T.M.S.L. 23500 mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号		—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				電気ペネ室 (R/B 1F 東) 用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm	—	
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		クロムモリブデン鋼
個	数	—		2
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. 12300 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				FCS 再結合装置室用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴 部	厚 さ	mm	
	底 部	厚 さ	mm	
材	料	—		クロムモリブデン鋼
個	数	—		4
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 12300 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—	

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変更後	
名 称			—	非管理区域入口室 (R/B 1F 南) 用 ハロゲン化物ボンベ	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)	
最	高	使 用 圧 力		MPa	4.8
最	高	使 用 温 度		℃	40
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 100px; margin: auto;"></div>
	高	さ		mm	
	胴	部 厚 さ		mm	
	底	部 厚 さ		mm	
材	料	—		クロムモリブデン鋼	
個	数	—		2	
取 付 箇 所	系	統 名		—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床		—	原子炉建屋 T.M.S.L. 18175 mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号		—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				SLC・電気ペネ室用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm	—	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 100px; margin: auto;"></div>
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		クロムモリブデン鋼
個	数	—		2
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. 12300 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後	
名 称			—	MSIV 搬出入用機器ハッチ室用 ハロゲン化物ボンベ	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)	
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 100px; margin: auto;"></div>
	高	さ		mm	
	胴 部 厚 さ			mm	
	底 部 厚 さ			mm	
材	料	—		クロムモリブデン鋼	
個	数	—		1	
取 付 箇 所	系	統 名		—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床		—	原子炉建屋 T.M.S.L. 18230 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				IA・HPIN ペネ室用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		40 以上(40*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 80px; margin: auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		SM520B
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 18100 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—	

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後	
名 称			—	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div> 用 ハロゲン化物ボンベ	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)	
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ		mm	
	胴 部	厚 さ		mm	
	底 部	厚 さ		mm	
材	料	—		クロムモリブデン鋼	
個	数	—		3	
取 付 箇 所	系	統 名		—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床		—	原子炉建屋 T.M.S.L. 17800 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—	—	


注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後	
名 称			—	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div> 用 ハロゲン化物ボンベ	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)	
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ		mm	
	胴 部 厚 さ			mm	
	底 部 厚 さ			mm	
材	料	—		クロムモリブデン鋼	
個	数	—		4	
取 付 箇 所	系	統 名		—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床		—	原子炉建屋 T.M.S.L. 18100 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—	—	


注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				電気ペネ室 (R/B 2F 北) 用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm	—	
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		クロムモリブデン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. 18100 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称			—	電気ペネ室 (R/B 2F 南) 用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		クロムモリブデン鋼
個	数	—		2
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. 18100 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				ASD 出力トランス(D)(J)室用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴 部	厚 さ	mm	
	底 部	厚 さ	mm	
材	料	—		クロムモリブデン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 23500 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号		—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—	

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後	
名 称			—	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div> 用 ハロゲン化物ボンベ	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)	
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ		mm	
	胴 部 厚 さ			mm	
	底 部 厚 さ			mm	
材	料	—		クロムモリブデン鋼	
個	数	—		5	
取 付 箇 所	系	統 名		—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床		—	原子炉建屋 T.M.S.L. 23575 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—	—	


注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後	
名 称			—	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div> 用 ハロゲン化物ボンベ	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)	
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ		mm	
	胴 部	厚 さ		mm	
	底 部	厚 さ		mm	
材	料	—		クロムモリブデン鋼	
個	数	—		5	
取 付 箇 所	系	統 名		—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床		—	原子炉建屋 T.M.S.L. 23700 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—		

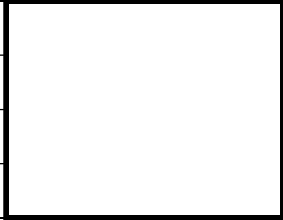
注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後	
名 称			—	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div> 用 ハロゲン化物ボンベ	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)	
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ		mm	
	胴 部 厚 さ			mm	
	底 部 厚 さ			mm	
材	料	—		クロムモリブデン鋼	
個	数	—		3	
取 付 箇 所	系	統 名		—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床		—	原子炉建屋 T.M.S.L. 23500 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後	
名 称			—	ASD 出力トランス (A) (F) 室用 ハロゲン化物ボンベ	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)	
最	高	使 用 圧 力		MPa	4.8
最	高	使 用 温 度		℃	40
主 要 寸 法	外	径		mm	
	高	さ		mm	
	胴	部 厚 さ		mm	
	底	部 厚 さ		mm	
材	料	—		クロムモリブデン鋼	
個	数	—		1	
取 付 箇 所	系	統 名		—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床		—	原子炉建屋 T. M. S. L. 23700 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—	—	

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				SGTS 室用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		115.4 以上 (115.4*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm	—	
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		SM520B
個	数	—		5
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. 23500 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		


注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後	
名 称			—	北側 FMCRD 制御盤室用 ハロゲン化物ボンベ	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)	
最	高	使 用 圧 力		MPa	4.8
最	高	使 用 温 度		℃	40
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 100px; margin: auto;"></div>
	高	さ		mm	
	胴	部 厚 さ		mm	
	底	部 厚 さ		mm	
材	料	—		クロムモリブデン鋼	
個	数	—		5	
取 付 箇 所	系	統 名		—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床		—	原子炉建屋 T.M.S.L. 27100 mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号		—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称			—	DG(B)/Z 送風機室用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 100px; margin: auto;"></div>
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		クロムモリブデン鋼
個	数	—		2
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. 27100 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		


注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				南側 FMCRD 制御盤室用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		115.4 以上 (115.4*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm	—	
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		SM520B
個	数	—		4
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. 31700 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—


注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称			—	MS トンネル室空調機室用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 100px; margin: auto;"></div>
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		クロムモリブデン鋼
個	数	—		3
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. 23630 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				配管室 (R-1-28) 用 ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		115.4 以上 (115.4*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm	—	
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		SM520B
個	数	—		5
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		タービン建屋 T.M.S.L. -1100mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				RIP・CRD 補修室, ケーブル室用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		115.4 以上 (115.4*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm	—	
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		SM520B
個	数	—		12
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. -8200mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後	
名 称			—	<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div> 用 ハロゲン化物ボンベ*1	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		115.4 以上 (115.4*2)	
最	高	使 用 圧 力		MPa	4.8
最	高	使 用 温 度		℃	40
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ		mm	
	胴	部 厚 さ		mm	
	底	部 厚 さ		mm	
材	料	—		SM520B	
個	数	—		9	
取 付 箇 所	系	統 名		—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床		—	原子炉建屋 T.M.S.L. 4800mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号		—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		


注記*1 :

用として兼用する。

*2 : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後	
名 称			—	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div> 用 ハロゲン化物ボンベ	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)	
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ		mm	
	胴 部 厚 さ			mm	
	底 部 厚 さ			mm	
材	料	—		クロムモリブデン鋼	
個	数	—		2	
取 付 箇 所	系	統 名		—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床		—	原子炉建屋 T.M.S.L. 4800mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—		

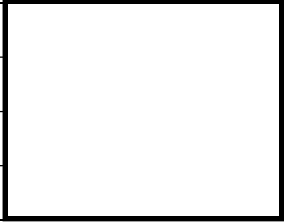
注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後				
名 称				RIP-ASD(C) (D) (G) (J) (K)室用 ハロゲン化物ボンベ				
種	類	—		鋼製容器				
容	量	L/個		82.5以上(82.5*)				
最	高	使	用	圧	力	MPa		4.8
最	高	使	用	温	度	℃		40
主 要 寸 法	外	径	mm					
	高	さ	mm					
	胴	部	厚		さ	mm		
	底	部	厚		さ	mm		
材	料	—		クロムモリブデン鋼				
個	数	—		14				
取 付 箇 所	系	統	名	—	ハロゲン化物消火系			
	設	置	床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. -1700mm			
	溢	水	防	護	上	の	—	—
	区	画	番	号				
溢	水	防	護	上	の	—	—	
配	慮	が	必	要	な	高		さ

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後	
名 称			—	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div> 用 ハロゲン化物ボンベ	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		115.4 以上 (115.4*)	
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ		mm	
	胴 部 厚 さ			mm	
	底 部 厚 さ			mm	
材	料	—		SM520B	
個	数	—		8	
取 付 箇 所	系	統 名		—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床		—	原子炉建屋 T.M.S.L. 31700mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—	—	

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後										
名 称			—	A系 HPIN 窒素ガスボンベラック・RCW(A) サージタンク室, AM バッテリー室用ハロゲン化物ボンベ*1										
種	類	—		鋼製容器										
容	量	L/個		115.4 以上(115.4*2)										
最	高	使		用	圧	力	MPa	4.8						
最	高	使		用	温	度	℃	40						
主 要 寸 法	外	径		mm										
	高	さ		mm										
	胴	部		厚		さ	mm							
	底	部		厚		さ	mm							
材	料	—		SM520B										
個	数	—		8										
取 付 箇 所	系	統		名	—	ハロゲン化物消火系								
	設	置		床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 30900mm								
	溢	水		防	護	上	の	区	画	番	号	—		
	溢	水	防	護	上	の	配	慮	が	必	要	な	高	さ

注記*1 : A系 HPIN 窒素ガスボンベラック・RCW(A) サージタンク室, AM バッテリー室用として兼用する。

*2 : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後	
名 称			—	<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div> 用 ハロゲン化物ポンベ	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		115.4 以上 (115.4*)	
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ		mm	
	胴 部 厚 さ			mm	
	底 部 厚 さ			mm	
材	料	—		SM520B	
個	数	—		4	
取 付 箇 所	系	統 名		—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床		—	原子炉建屋 T.M.S.L. 31700mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称			—	RIP 点検室用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		82.5 以上 (82.5*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 100px; margin: auto;"></div>
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		クロムモリブデン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. 31700mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

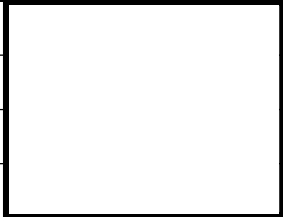
注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後					
名 称			—	B系 HPIN 窒素ガスボンベラック・ RCW(B)サージタンク室用 ハロゲン化物ボンベ					
種	類	—		鋼製容器					
容	量	L/個		115.4以上(115.4*)					
最	高	使		用	圧	力	MPa	4.8	
最	高	使		用	温	度	℃	40	
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 80px; margin: auto;"></div>				
	高	さ		mm					
	胴	部		厚		さ	mm		
	底	部		厚		さ	mm		
材	料	—		SM520B					
個	数	—		7					
取 付 箇 所	系	統		名	—	ハロゲン化物消火系			
	設	置		床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 25600mm			
	溢	水		防	護	上	の	—	
	区	画	番	号	—	—			
	溢	水	防	護	上	の	—		
	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後					
名 称			—	6号機 HECW(A)(C)冷凍機室用 ハロゲン化物ボンベ					
種	類	—		鋼製容器					
容	量	L/個		68.1以上(68.1*)					
最	高	使		用	圧	力	MPa	5.2	
最	高	使		用	温	度	℃	40	
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 100px; margin: auto;"></div>				
	高	さ		mm					
	胴	部		厚		さ	mm		
	底	部		厚		さ	mm		
材	料	—		マンガン鋼					
個	数	—		5					
取 付 箇 所	系	統		名	—	ハロゲン化物消火系			
	設	置		床	—	コントロール建屋 T.M.S.L. -4000mm			
	溢	水		防	護	上	の	—	
	区	画	番	号	—	—			
	溢	水	防	護	上	の	—		
	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後										
名 称			—	6号機 HECW(B)(D) 冷凍機室用 ハロゲン化物ボンベ										
種	類	—		鋼製容器										
容	量	L/個		68.1以上(68.1*)										
最	高	使		用	圧	力	MPa	5.2						
最	高	使		用	温	度	℃	40						
主 要 寸 法	外	径		mm										
	高	さ		mm										
	胴	部		厚		さ	mm							
	底	部		厚		さ	mm							
材	料	—		マンガン鋼										
個	数	—		4										
取 付 箇 所	系	統		名	—	ハロゲン化物消火系								
	設	置		床	—	コントロール建屋 T.M.S.L. 1000mm								
	溢	水		防	護	上	の	—	—					
	区	画	番	号	—									
溢	水	防	護	上	の	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—


注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後										
名 称			—	6号機常用バッテリー (250V・48V) 室 用ハロゲン化物ボンベ										
種	類	—		鋼製容器										
容	量	L/個		68.1以上(68.1*)										
最	高	使		用	圧	力	MPa	5.2						
最	高	使		用	温	度	℃	40						
主 要 寸 法	外	径		mm										
	高	さ		mm										
	胴	部		厚		さ	mm							
	底	部		厚		さ	mm							
材	料	—		マンガン鋼										
個	数	—		1										
取 付 箇 所	系	統		名	—	ハロゲン化物消火系								
	設	置		床	—	コントロール建屋 T.M.S.L. -2700mm								
	溢	水		防	護	上	の	—						
	区	画	番	号	—									
溢	水	防	護	上	の	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後	
名 称			—	6号機 C/B 常用電気品区域送・排風機室 用ハロゲン化物ボンベ	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		68.1 以上 (68.1*)	
最	高	使 用 圧 力		MPa	5.2
最	高	使 用 温 度		℃	40
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 100px; margin: auto;"></div>
	高	さ		mm	
	胴	部 厚 さ		mm	
	底	部 厚 さ		mm	
材	料	—		マンガン鋼	
個	数	—		5	
取 付 箇 所	系	統 名		—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床		—	コントロール建屋 T.M.S.L. 1000mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号		—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後					
名 称			—	6号機 C/B 計測制御電源盤区域(C)送風機室用ハロゲン化物ボンベ					
種	類	—		鋼製容器					
容	量	L/個		68.1以上(68.1*)					
最	高	使		用	圧	力	MPa	5.2	
最	高	使		用	温	度	℃	40	
主 要 寸 法	外	径		mm					
	高	さ		mm					
	胴	部		厚		さ	mm		
	底	部		厚		さ	mm		
材	料	—		マンガン鋼					
個	数	—		4					
取 付 箇 所	系	統		名	—	ハロゲン化物消火系			
	設	置		床	—	コントロール建屋 T.M.S.L. 6500mm			
	溢	水		防	護	上	の	—	
	区	画	番	号	—	—			
	溢	水	防	護	上	の	—		
	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後	
名 称			—	<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 30px; margin: 0 auto;"></div> 用 ハロゲン化物ボンベ*1	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		115.4 以上 (115.4*2)	
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.8	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ		mm	
	胴 部 厚 さ			mm	
	底 部 厚 さ			mm	
材	料	—		SM520B	
個	数	—		9	
取 付 箇 所	系	統 名		—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床		—	コントロール建屋 T.M.S.L. 6500mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—		

注記*1 : と 用

として兼用する。


*2 : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後					
名 称			—	6号機 C/B 計測制御電源盤区域(A)送・ 排風機室用ハロゲン化物ボンベ					
種	類	—		鋼製容器					
容	量	L/個		68.1以上(68.1*)					
最	高	使		用	圧	力	MPa	5.2	
最	高	使		用	温	度	℃	40	
主 要 寸 法	外	径		mm					
	高	さ		mm					
	胴	部		厚		さ	mm		
	底	部		厚		さ	mm		
材	料	—		マンガン鋼					
個	数	—		4					
取 付 箇 所	系	統		名	—	ハロゲン化物消火系			
	設	置		床	—	コントロール建屋 T.M.S.L. 6500mm			
	溢	水		防	護	上	の	—	
	区	画	番	号	—	—			
	溢	水	防	護	上	の	—		
	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後					
名 称			—	6号機 C/B 計測制御電源盤区域(C)排風機室用ハロゲン化物ボンベ					
種	類	—		鋼製容器					
容	量	L/個		68.1以上(68.1*)					
最	高	使		用	圧	力	MPa	5.2	
最	高	使		用	温	度	℃	40	
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 80px; margin: auto;"></div>				
	高	さ		mm					
	胴	部		厚		さ	mm		
	底	部		厚		さ	mm		
材	料	—		マンガン鋼					
個	数	—		4					
取 付 箇 所	系	統		名	—	ハロゲン化物消火系			
	設	置		床	—	コントロール建屋 T.M.S.L. 6500mm			
	溢	水		防	護	上	の	—	
	区	画	番	号	—	—			
	溢	水	防	護	上	の	—		
	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称			—	非管理区域アクセス通路 (C/B B1F) 用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		68.1 以上 (68.1*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		5.2
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		7
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		コントロール建屋 T.M.S.L. 6500mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後					
名 称			—	6号機常用ケーブル処理室用 ハロゲン化物ボンベ					
種	類	—		鋼製容器					
容	量	L/個		24以上(24*)					
最	高	使		用	圧	力	MPa	5.2	
最	高	使		用	温	度	℃	40	
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 80px; margin: auto;"></div>				
	高	さ		mm					
	胴	部		厚		さ	mm		
	底	部		厚		さ	mm		
材	料	—		マンガン鋼					
個	数	—		1					
取 付 箇 所	系	統		名	—	ハロゲン化物消火系			
	設	置		床	—	コントロール建屋 T.M.S.L.12300mm			
	溢	水		防	護	上	の	—	
	区	画	番	号	—	—			
	溢	水	防	護	上	の	—		
	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後					
名 称			—	6号機区分Iケーブル処理室用 ハロゲン化物ボンベ					
種	類	—		鋼製容器					
容	量	L/個		68.1以上(68.1*)					
最	高	使		用	圧	力	MPa	5.2	
最	高	使		用	温	度	℃	40	
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 80px; margin: auto;"></div>				
	高	さ		mm					
	胴	部		厚		さ	mm		
	底	部		厚		さ	mm		
材	料	—		マンガン鋼					
個	数	—		2					
取 付 箇 所	系	統		名	—	ハロゲン化物消火系			
	設	置		床	—	コントロール建屋 T.M.S.L.12300mm			
	溢	水		防	護	上	の	—	
	区	画	番	号	—	—			
	溢	水	防	護	上	の	—		
	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—

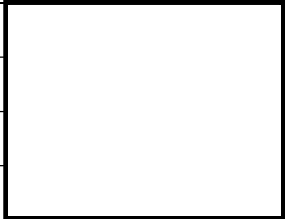
注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後				
名 称			—	6号機区分Ⅱケーブル処理室用 ハロゲン化物ボンベ				
種	類	—		鋼製容器				
容	量	L/個		68.1以上(68.1*)				
最	高	使		用	圧	力	MPa	5.2
最	高	使		用	温	度	℃	40
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 80px; margin: auto;"></div>			
	高	さ		mm				
	胴	部		厚		さ	mm	
	底	部		厚		さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼				
個	数	—		2				
取 付 箇 所	系	統		名	—	ハロゲン化物消火系		
	設	置		床	—	コントロール建屋 T.M.S.L.12300mm		
	溢	水		防	護	上	の	—
	区	画	番	号	—	—		
溢	水	防	護	上	の	—		
配	慮	が	必	要	な	高	さ	—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後					
名 称			—	6号機区分Ⅲケーブル処理室用 ハロゲン化物ボンベ					
種	類	—		鋼製容器					
容	量	L/個		68.1以上(68.1*)					
最	高	使		用	圧	力	MPa	5.2	
最	高	使		用	温	度	℃	40	
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 80px; margin: auto;"></div>				
	高	さ		mm					
	胴	部		厚		さ	mm		
	底	部		厚		さ	mm		
材	料	—		マンガン鋼					
個	数	—		2					
取 付 箇 所	系	統		名	—	ハロゲン化物消火系			
	設	置		床	—	コントロール建屋 T.M.S.L.12300mm			
	溢	水		防	護	上	の	—	
	区	画	番	号	—	—			
	溢	水	防	護	上	の	—		
	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後					
名 称			—	6号機ダクトスペース (C-3-7) 用 ハロゲン化物ボンベ					
種	類	—		鋼製容器					
容	量	L/個		24以上(24*)					
最	高	使		用	圧	力	MPa	5.2	
最	高	使		用	温	度	℃	40	
主 要 寸 法	外	径		mm					
	高	さ		mm					
	胴	部		厚		さ	mm		
	底	部		厚		さ	mm		
材	料	—		マンガン鋼					
個	数	—		1					
取 付 箇 所	系	統		名	—	ハロゲン化物消火系			
	設	置		床	—	コントロール建屋 T.M.S.L. 6500mm			
	溢	水		防	護	上	の	—	
	区	画	番	号	—	—			
	溢	水	防	護	上	の	—		
	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後					
名 称			—	6号機中央制御室再循環フィルタ装置室 用ハロゲン化物ポンベ					
種	類	—		鋼製容器					
容	量	L/個		68.1以上(68.1*)					
最	高	使		用	圧	力	MPa	5.2	
最	高	使		用	温	度	℃	40	
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 100px; margin: auto;"></div>				
	高	さ		mm					
	胴	部		厚		さ	mm		
	底	部		厚		さ	mm		
材	料	—		マンガン鋼					
個	数	—		4					
取 付 箇 所	系	統		名	—	ハロゲン化物消火系			
	設	置		床	—	コントロール建屋 T.M.S.L.17300mm			
	溢	水		防	護	上	の	—	
	区	画		番	号	—	—		
	溢	水	防	護	上	の	—		
	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後					
名 称			—	6号機中央制御室送・排風機室用 ハロゲン化物ボンベ					
種	類	—		鋼製容器					
容	量	L/個		68.1以上(68.1*)					
最	高	使		用	圧	力	MPa	5.2	
最	高	使		用	温	度	℃	40	
主 要 寸 法	外	径		mm					
	高	さ		mm					
	胴	部		厚		さ	mm		
	底	部		厚		さ	mm		
材	料	—		マンガン鋼					
個	数	—		12					
取 付 箇 所	系	統		名	—	ハロゲン化物消火系			
	設	置		床	—	コントロール建屋 T.M.S.L.17300mm			
	溢	水		防	護	上	の	—	
	区	画	番	号	—	—			
	溢	水	防	護	上	の	—		
	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—


注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後					
名 称			—	6号機ケーブル処理室 (C-4-2) 用 ハロゲン化物ボンベ					
種	類	—		鋼製容器					
容	量	L/個		68以上(68*)					
最	高	使		用	圧	力	MPa	5.2	
最	高	使		用	温	度	℃	40	
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 100px; margin: auto;"></div>				
	高	さ		mm					
	胴	部		厚		さ	mm		
	底	部		厚		さ	mm		
材	料	—		マンガン鋼					
個	数	—		2					
取 付 箇 所	系	統		名	—	ハロゲン化物消火系			
	設	置		床	—	コントロール建屋 T.M.S.L. 17300mm			
	溢	水		防	護	上	の	—	
	区	画	番	号	—	—			
	溢	水	防	護	上	の	—		
	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—

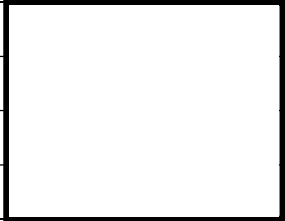
注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後	
名 称			—	パイプスペース (R-1-29) 用 ハロゲン化物ボンベ	
種	類	—		鋼製容器	
容	量	L/個		68.1 以上 (68.1*)	
最	高	使 用 圧 力		MPa	5.2
最	高	使 用 温 度		℃	40
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 100px; margin: auto;"></div>
	高	さ		mm	
	胴	部 厚 さ		mm	
	底	部 厚 さ		mm	
材	料	—		マンガン鋼	
個	数	—		4	
取 付 箇 所	系	統 名		—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床		—	タービン建屋 T.M.S.L. -1100mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号		—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R/B~C/B 区分 I トレンチ用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		68.1 以上 (68.1*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		5.2
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm	—	
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		9
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		コントロール建屋 T.M.S.L. -2700mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

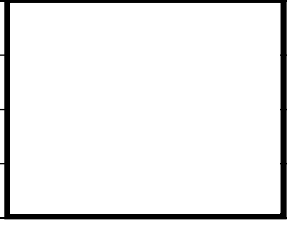
			変更前	変 更 後										
名 称			—	6号機常用電気品室, 6号機常用バッテリー (250V) 室, R/B~C/B区分Ⅱ・Ⅲ・Ⅳトレンチ 用ハロゲン化物ボンベ										
種	類	—		鋼製容器										
容	量	L/個		68.1以上(68.1*)										
最	高	使		用	圧	力	MPa	5.2						
最	高	使		用	温	度	℃	40						
主 要 寸 法	外	径		mm										
	高	さ		mm										
	胴	部		厚		さ	mm							
	底	部		厚		さ	mm							
材	料	—		マンガン鋼										
個	数	—		46										
取 付 箇 所	系	統		名	—	ハロゲン化物消火系								
	設	置		床	—	コントロール建屋 T.M.S.L. -2700mm								
	溢	水		防	護	上	の	—						
	区	画		番	号	—								
溢	水	防	護	上	の	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—

注記*1 : 6号機常用電気品室, 6号機常用バッテリー (250V) 室, R/B~C/B 区分Ⅱ・Ⅲ・Ⅳト
レンチ用として兼用する。

*2 : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後					
名 称			—	6号機下部中央制御室用 ハロゲン化物ボンベ					
種	類	—		鋼製容器					
容	量	L/個		68.1以上(68.1*)					
最	高	使		用	圧	力	MPa	5.2	
最	高	使		用	温	度	℃	40	
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 80px; margin: auto;"></div>				
	高	さ		mm					
	胴	部		厚		さ	mm		
	底	部		厚		さ	mm		
材	料	—		マンガン鋼					
個	数	—		3					
取 付 箇 所	系	統		名	—	ハロゲン化物消火系			
	設	置		床	—	コントロール建屋 T.M.S.L.12350mm			
	溢	水		防	護	上	の	—	
	区	画	番	号	—	—			
	溢	水	防	護	上	の	—		
	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後					
名 称				6号機プロセス計算機室用 ハロゲン化物ボンベ					
種	類	—		鋼製容器					
容	量	L/個		68.1以上(68.1*)					
最	高	使	用	圧	力	MPa		5.2	
最	高	使	用	温	度	℃		40	
主 要 寸 法	外	径	mm						
	高	さ	mm						
	胴	部	厚		さ	mm			
	底	部	厚		さ	mm			
材	料	—		マンガン鋼					
個	数	—		10					
取 付 箇 所	系	統	名	—	ハロゲン化物消火系				
	設	置	床	—	コントロール建屋 T.M.S.L.12350mm				
	溢	水	防	護	上	の	—		
	区	画	番	号	—				
	溢	水	防	護	上	の	—		
	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後				
名 称			—	6号機計算機用トランス室用 ハロゲン化物ボンベ				
種	類	—		鋼製容器				
容	量	L/個		68.1以上(68.1*)				
最	高	使		用	圧	力	MPa	5.2
最	高	使		用	温	度	℃	40
主 要 寸 法	外	径		mm	<div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 100px; margin: auto;"></div>			
	高	さ		mm				
	胴	部		厚		さ	mm	
	底	部		厚		さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼				
個	数	—		1				
取 付 箇 所	系	統		名	—	ハロゲン化物消火系		
	設	置		床	—	コントロール建屋 T.M.S.L.12350mm		
	溢	水		防	護	上	の	—
	区	画	番	号	—	—		
溢	水	防	護	上	の	—		
配	慮	が	必	要	な	高	さ	—

注記*：公称値を示す。

c. SLC ポンプ・CRD ポンプ局所消火設備ハロゲン化物ポンベ

			変更前	変 更 後
名 称				SLC ポンプ(A)局所消火設備用 ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		70 以上 (70*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		5.2
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴 部 厚 さ		mm	
	底 部 厚 さ		mm	
材	料	—		SM520B
個	数	—		2
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 23500mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号		—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—	

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称			—	SLC ポンプ(B)局所消火設備用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		70 以上 (70*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		5.2
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		SM520B
個	数	—		2
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. 23500mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称			—	CRD ポンプ(A)局所消火設備用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		70 以上 (70*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		5.2
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		SM520B
個	数	—		4
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				CRD ポンプ(B)局所消火設備用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		70 以上 (70*)
最 高 使 用 圧 力		MPa		5.2
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		SM520B
個	数	—		4
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T. M. S. L. -8200mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記* : 公称値を示す。

d. 電源盤・制御盤消火設備ハロゲン化物ポンベ

			変更前	変更後
名 称				MCC 6A-2-1 用 ハロゲン化物ポンベ
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			4.6
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm	—	<input type="text"/>
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—			マンガン鋼
個 数	—			2
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. 18100mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				MCC 6B-2-1 用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		2
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. 18100mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				MCC 6SB-1 用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		2
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. 23500mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後					
名 称				MCC 6S 用 ハロゲン化物ボンベ					
種	類	—		鋼製容器					
容	量	L/個		□					
最	高	使	用	圧	力	MPa		4.6	
最	高	使	用	温	度	℃		40	
主 要 寸 法	外	径	mm		□				
	高	さ	mm						
	胴	部	厚	さ		mm			
	底	部	厚	さ		mm			
材	料	—		マンガン鋼					
個	数	—		2					
取 付 箇 所	系	統	名	—	ハロゲン化物消火系				
	設	置	床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. 23500mm				
	溢	水	防	護	上	の	—		
	区	画	番	号					
	溢	水	防	護	上	の	—		
	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				CUW FPC F/D 盤用 ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		2
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—

注記* : 公称値を示す。

e. ケーブルトレイ消火設備ハロゲン化物ポンベ

			変更前	変 更 後		
名 称				R-B3F-①-1 用ハロゲン化物ポンベ		
種	類	—		鋼製容器		
容	量	L/個				
最	高	使	用	圧		
力				MPa		
4.6						
最	高	使	用	温		
度				℃		
40						
主 要 寸 法	外	径	mm			
	高	さ	mm			
	胴	部	厚		さ	mm
	底	部	厚		さ	mm
材	料	—		マンガン鋼		
個	数	—		1		
取 付 箇 所	系	統	名	—	ハロゲン化物消火系	
	設	置	床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. -8200mm	
	溢	水	防	護	上	の
	区	画	番	号	—	
溢	水	防	護	上	の	
配	慮	が	必	要	な	高
さ				—		

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B3F-①-2 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴 部	厚 さ	mm	
	底 部	厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. -8200mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—	—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B3F-①-3 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. -8200mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B3F-②-1 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. -8200mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B3F-②-2用ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. -8200mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B3F-②-3 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	高 さ	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	胴 部 厚 さ	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	底 部 厚 さ	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. -8200mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B3F-③-1 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. -8200mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B3F-③-2 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	高 さ	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	胴 部 厚 さ	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	底 部 厚 さ	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. -8200mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B3F-③-3 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	高 さ	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	胴 部 厚 さ	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	底 部 厚 さ	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. -8200mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B3F-④-1 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	高 さ	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	胴 部 厚 さ	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	底 部 厚 さ	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. -8200mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B3F-④-2 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	高 さ	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	胴 部 厚 さ	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	底 部 厚 さ	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. -8200mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B3F-⑤-1 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. -8200mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後					
名 称				R-B3F-⑤-2用ハロゲン化物ポンベ					
種	類	—		鋼製容器					
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>					
最	高	使	用	圧	力	MPa	4.6		
最	高	使	用	温	度	℃	40		
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 2px solid black; width: 100px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>					
	高	さ	mm						
	胴	部	厚			さ	mm		
	底	部	厚			さ	mm		
材	料	—		マンガン鋼					
個	数	—		1					
取 付 箇 所	系	統	名	—	ハロゲン化物消火系				
	設	置	床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. -8200mm				
	溢	水	防	護	上	の	—		
	区	画	番	号	—	—			
	溢	水	防	護	上	の	—		
	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B3F-⑤-3 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. -8200mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B2F-①-1 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. -1700mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B2F-①-2 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. -1700mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	



注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B2F-①-3 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. -1700mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B2F-②-1 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. -1700mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B2F-②-2用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. -1700mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B2F-②-3 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	高 さ	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	胴 部 厚 さ	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	底 部 厚 さ	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. -1700mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B2F-②-4 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. -1700mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B2F-②-5 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	胴	部 厚 さ	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	底	部 厚 さ	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. -1700mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—



注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B2F-②-6 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. -1700mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—



注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B2F-②-7用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. -1700mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—



注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B2F-③-1 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. -1700mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	



注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B2F-③-2 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. -1700mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	



注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B2F-③-3 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. -1700mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B2F-④-1 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. -1700mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B2F-④-2 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. -1700mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	



注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B2F-⑤-1 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. -1700mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—



注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B2F-⑤-2 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. -1700mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B2F-⑤-3 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. -1700mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B2F-⑥-1 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. -1700mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	


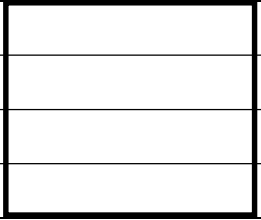
注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B2F-⑥-2 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. -1700mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B2F-⑦-1 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴 部	厚 さ	mm	
	底 部	厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. -1700mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号		—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—	

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B2F-⑦-2 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. -1700mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B1F-①-1 用ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. 4800mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B1F-①-2 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	高 さ	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	胴 部 厚 さ	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	底 部 厚 さ	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. 4800mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B1F-①-3 用ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	高 さ	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	胴 部 厚 さ	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	底 部 厚 さ	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. 4800mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B1F-②-1 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 4800mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後					
名 称				R-B1F-②-2用ハロゲン化物ボンベ					
種	類	—		鋼製容器					
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>					
最	高	使	用	圧	力	MPa	4.6		
最	高	使	用	温	度	℃	40		
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>					
	高	さ	mm						
	胴	部	厚		さ	mm			
	底	部	厚		さ	mm			
材	料	—		マンガン鋼					
個	数	—		1					
取 付 箇 所	系	統	名	—	ハロゲン化物消火系				
	設	置	床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 4800mm				
	溢	水	防	護	上	の	—		
	区	画	番	号	—	—			
	溢	水	防	護	上	の	—		
	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B1F-②-3 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 4800mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B1F-③-1 用ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. 4800mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—



注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B1F-③-2用ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 4800mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B1F-④-1 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. 4800mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B1F-④-2用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 4800mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B1F-④-3 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 4800mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B1F-④-4 用ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 4800mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B1F-④-5 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. 4800mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B1F-⑤-1 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 4800mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B1F-⑤-2用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 4800mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B1F-⑤-3 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. 4800mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—



注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B1F-⑥-1 用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 4800mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-B1F-⑥-2用ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 4800mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-1F-①-1用ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 12300mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	



注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-1F-①-2用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	高 さ	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	胴 部 厚 さ	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	底 部 厚 さ	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. 12300mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—



注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-1F-①-3用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 12300mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—



注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-1F-①-4用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 12300mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	


注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-1F-②-1用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 12300mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	



注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-1F-②-2用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 12300mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	



注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-1F-②-3用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 12300mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	


注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-1F-②-4用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 12300mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	



注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-1F-②-5用ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 12300mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	



注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-1F-③-1用ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 12300mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	



注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-1F-③-2用ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴 部	厚 さ	mm	
	底 部	厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 12300mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号		—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—	

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-1F-③-3用ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 12300mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	


注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-1F-③-4用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 12300mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後			
名 称				R-1F-③-5用ハロゲン化物ポンベ			
種	類	—		鋼製容器			
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>			
最	高	使	用	圧	力	MPa	4.6
最	高	使	用	温	度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>			
	高	さ	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>			
	胴	部	厚	さ	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>	
	底	部	厚	さ	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>	
材	料	—		マンガン鋼			
個	数	—		1			
取 付 箇 所	系	統	名	—	ハロゲン化物消火系		
	設	置	床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 12300mm		
	溢	水	防	護	上	の	—
	区	画	番	号	—	—	
	溢	水	防	護	上	の	—
	配	慮	が	必	要	な	高
							さ



注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-1F-④-1用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 12300mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-1F-④-2用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	胴	部 厚 さ	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	底	部 厚 さ	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 12300mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—



注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-1F-④-3用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 12300mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-1F-④-4用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	胴	部 厚 さ	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	底	部 厚 さ	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 12300mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—


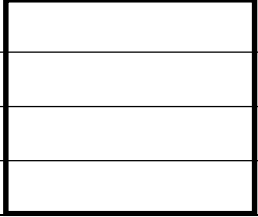
注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-2F-①-1用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 18100mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-2F-①-2用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 18100mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-2F-①-3用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 18100mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-2F-②-1用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	胴	部 厚 さ	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	底	部 厚 さ	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 18100mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—



注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-2F-②-2用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	胴	部 厚 さ	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	底	部 厚 さ	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 18100mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-2F-②-3用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最 高 使 用 圧 力		MPa		4.6
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋 T.M.S.L. 18100mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—



注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-2F-②-4用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 18100mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	



注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-2F-②-5用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 18100mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	



注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-2F-②-6用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 18100mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	



注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-2F-③-1用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 18100mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	



注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-2F-③-2用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 18100mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-3F-①-1用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 23500mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-3F-①-2用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 23500mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後					
名 称				R-3F-①-3用ハロゲン化物ポンベ					
種	類	—		鋼製容器					
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>					
最	高	使	用	圧	力	MPa	4.6		
最	高	使	用	温	度	℃	40		
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 2px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>					
	高	さ	mm						
	胴	部	厚		さ	mm			
	底	部	厚		さ	mm			
材	料	—		マンガン鋼					
個	数	—		1					
取 付 箇 所	系	統	名	—	ハロゲン化物消火系				
	設	置	床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 23675mm				
	溢	水	防	護	上	の	—		
	区	画	番	号	—	—			
	溢	水	防	護	上	の	—		
	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-3F-①-4用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 23675mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—



注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-3F-①-5用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	胴	部 厚 さ	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	底	部 厚 さ	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 23675mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—


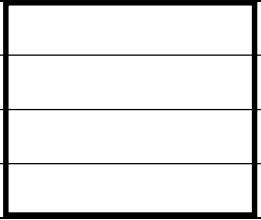
注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				C-1F-①-1用ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	コントロール建屋 T.M.S.L.12300mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				C-1F-①-2用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	コントロール建屋 T.M.S.L.12300mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				C-1F-②-1用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	コントロール建屋 T.M.S.L.12300mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	



注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				C-1F-②-2用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	コントロール建屋 T.M.S.L.12300mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後											
名 称				C-1F-②-3用ハロゲン化物ポンベ											
種	類	—		鋼製容器											
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>											
最	高	使	用	圧	力	MPa		4.6							
最	高	使	用	温	度	℃		40							
主 要 寸 法	外	径	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>										
	高	さ	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>										
	胴	部	厚	さ	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>								
	底	部	厚	さ	mm		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>								
材	料	—		マンガン鋼											
個	数	—		1											
取 付 箇 所	系	統	名	—	ハロゲン化物消火系										
	設	置	床	—	コントロール建屋 T.M.S.L. 12300mm										
	溢	水	防	護	上	の	—								
	区	画	番	号	—										
溢	水	防	護	上	の	配	慮	が	必	要	な	高	さ	—	


注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-1F-⑤-1用ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 12300mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	



注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-1F-⑤-2用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 12300mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-1F-⑤-3用ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 12300mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	



注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-1F-⑤-4用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 12300mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-1F-⑤-5用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	胴	部 厚 さ	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	底	部 厚 さ	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 12300mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—


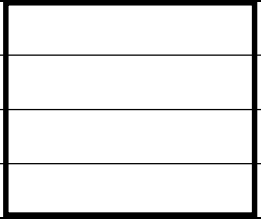
注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-1F-⑤-6用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 12300mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	



注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-1F-⑤-7用ハロゲン化物ボンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 12300mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-2F-④-1用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 18100mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	



注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-2F-④-2用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 18100mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	



注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-2F-④-3用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 18100mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—



注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-2F-④-4用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 18100mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-3F-②-1用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 23500mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-3F-②-2用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	
	高	さ	mm	
	胴	部 厚 さ	mm	
	底	部 厚 さ	mm	
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 23500mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				R-3F-②-3用ハロゲン化物ポンベ
種	類	—		鋼製容器
容	量	L/個		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最	高	使 用 圧 力	MPa	4.6
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	高	さ	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	胴	部 厚 さ	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
	底	部 厚 さ	mm	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		1
取 付 箇 所	系	統 名	—	ハロゲン化物消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋 T.M.S.L. 23500mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—

注記*：公称値を示す。

f. 中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備ハロゲン化物ボンベ

			変更前	変更後
名 称				中央制御室床下フリーアクセスフロア 消火設備 (NON) 用 ハロゲン化物ボンベ
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—			マンガン鋼
個 数	—			4
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		コントロール建屋 T. M. S. L. 12300mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				中央制御室床下フリーアクセスフロア 消火設備（区分Ⅰ）用 ハロゲン化物ボンベ
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—			マンガン鋼
個 数	—			2
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		コントロール建屋 T. M. S. L. 12300mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				中央制御室床下フリーアクセスフロア 消火設備（区分Ⅱ）用 ハロゲン化物ボンベ
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—			マンガン鋼
個 数	—			1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		コントロール建屋 T. M. S. L. 12300mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後										
名 称				中央制御室床下フリーアクセスフロア 消火設備（区分Ⅲ）用 ハロゲン化物ボンベ										
種	類	—		鋼製容器										
容	量	L/個		<input type="text"/>										
最	高	使	用	圧	力	MPa		5.2						
最	高	使	用	温	度	℃		40						
主 要 寸 法	外	径	mm		<input type="text"/>									
	高	さ	mm		<input type="text"/>									
	胴	部	厚	さ	mm		<input type="text"/>							
	底	部	厚	さ	mm		<input type="text"/>							
材	料	—		マンガン鋼										
個	数	—		1										
取 付 箇 所	系	統	名	—	ハロゲン化物消火系									
	設	置	床	—	コントロール建屋 T. M. S. L. 12300mm									
	溢	水	防	護	上	の	区	画	番	号	—			
	溢	水	防	護	上	の	配	慮	が	必	要	な	高	さ

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				中央制御室床下フリーアクセスフロア 消火設備（区分Ⅳ）用 ハロゲン化物ボンベ
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—			マンガン鋼
個 数	—			1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		コントロール建屋 T. M. S. L. 12300mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記*：公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				中央制御室床下フリーアクセスフロア 消火設備 (SA (I)) 用 ハロゲン化物ボンベ
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—			マンガン鋼
個 数	—			1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		コントロール建屋 T. M. S. L. 17300mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

			変更前	変 更 後
名 称				中央制御室床下フリーアクセスフロア 消火設備 (SA (II)) 用 ハロゲン化物ボンベ
種 類	—			鋼製容器
容 量	L/個			<input type="text"/>
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		<input type="text"/>
	高 さ	mm		
	胴 部 厚 さ	mm		
	底 部 厚 さ	mm		
材 料	—			マンガン鋼
個 数	—			1
取 付 箇 所	系 統 名	—		ハロゲン化物消火系
	設 置 床	—		コントロール建屋 T. M. S. L. 12300mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記* : 公称値を示す。

5号機原子炉建屋内緊急時対策所消火設備ハロゲン化物ボンベ

以下の設備は、7号機設備であり、6号機及び7号機共用（7号機で申請済）である。

A系計装用電源室用ハロゲン化物ボンベ（7号機設備，6,7号機共用）

階段室（An/A 3F 北西）前室用ハロゲン化物ボンベ（7号機設備，6,7号機共用）

(5) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料 (常設及び可搬型の別に記載し, 可搬型の場合は, 取付箇所を付記すること。)

・常設

a. 水系消火設備主配管

以下の設備は, 5号機設備であり, 6号機及び7号機共用(7号機で申請済)である。

No. 3, 4 ろ過水タンク (山側ノズル) ~電動機駆動消火ポンプ (5号機設備, 6, 7号機共用)

No. 3, 4 ろ過水タンク (海側ノズル) ~ディーゼル駆動消火ポンプ 5A, ディーゼル駆動消火ポンプ 5B (5号機設備, 6, 7号機共用)

給水建屋内分岐点 (ポンプ吸込側) ~大湊側 D/D ポンプ建屋内分岐点 (5号機設備, 6, 7号機共用)

ディーゼル駆動消火ポンプ 5A, ディーゼル駆動消火ポンプ 5B~U43-F023 (5号機設備, 6, 7号機共用)

電動機駆動消火ポンプ~U43-F023 (5号機設備, 6, 7号機共用)

給水建屋内分岐点 (ポンプ吐出側) ~U43-F069 及び U43-F096 (5号機設備, 6, 7号機共用)

5号機原子炉建屋供給ライン分岐点~5号機 U43-F051 (5号機設備, 6, 7号機共用)

以下の設備は, 6号機設備であり, 6号機及び7号機共用(7号機で申請済)である。

トレンチ内第1分岐点 (U43-F022) ~廃棄物処理建屋西側分岐点 (6, 7号機共用)

トレンチ内第2分岐点 (U43-F024) ~トレンチ内第3分岐点 (U43-F024) (6, 7号機共用)

U43-F052~U43-F029 (6, 7号機共用)

以下の設備は, 7号機設備であり, 6号機及び7号機共用(7号機で申請済)である。

U43-F069~U43-F051 (7号機設備, 6, 7号機共用)



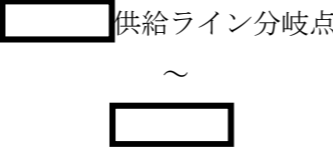



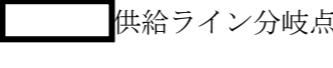

U43-F051~U43-F052 (7号機設備, 6, 7号機共用)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—	—				*1 6号機原子炉建屋供給ライン分岐点 ~ 6号機原子炉建屋内第1分岐点	1.37	66	114.3*2	6.0*2	STPG370
						*1 6号機タービン建屋供給ライン分岐点 ~ 6号機タービン建屋内第1分岐点	0.98	66	114.3*2	6.0*2	STPG370
						1.37	66	114.3*2	6.0*2	STPG370	
						1.37	66	114.3*2	6.0*2	STPG370	

注記*1 : 本設備は既存の設備である。

*2 : 公称値を示す。

b. 二酸化炭素消火設備主配管

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—					*1  二酸化炭素ポンペ ~ U43-ESV-2	10.8	40	89.1*2	7.6*2	STPG370
						60.5*2			5.5*2	STPG370	
						42.7*2			4.9*2	STPG370	
						27.2*2			3.9*2	STPG370	
						*1 U43-ESV-2 ~ 	10.8	40	89.1*2	7.6*2	STPG370
						89.1*2			7.6*2	SUS304TP	
						42.7*2			4.9*2	SUS304TP	
						*1  供給ライン分岐点 ~ 	10.8	40	76.3*2	7.0*2	SUS304TP
						*1  供給ライン分岐点 ~ 			10.8	40	89.1*2
						89.1*2	7.6*2	SUS304TP			
						42.7*2	4.9*2	SUS304TP			
						*1  供給ライン分岐点 ~ 	10.8	40	76.3*2	7.0*2	SUS304TP

変更前						変更後							
名称	最高使用力 (MPa)	最高使用度 最高温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用力 (MPa)	最高使用度 最高温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料		
消火設備	—					消火設備	*1	10.8	40	89.1*2	7.6*2	STPG370	
							<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div> 用 二酸化炭素ポンペ ~ U43-ESV-1			60.5*2	5.5*2	STPG370	
										48.6*2	5.1*2	STPG370	
										42.7*2	4.9*2	STPG370	
							*1	10.8	40	89.1*2	7.6*2	STPG370	
							U43-ESV-1 ~ <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>			89.1*2	7.6*2	SUS304TP	
										42.7*2	4.9*2	SUS304TP	
							*1	10.8	40	76.3*2	7.0*2	SUS304TP	<div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 20px; display: inline-block;"></div> 供給ライン分岐点 ~ <div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 20px; display: inline-block;"></div>

注記*1 : 本設備は既存の設備である。

*2 : 公称値を示す。

c. 小空間固定式消火設備主配管

以下の設備は、6号機及び7号機共用（7号機で申請済）である。

7号機 C/B 計測制御電源盤区域(B)送風機室用ハロゲン化物ボンベ～7号機 C/B 計測制御電源盤区域(B)送風機室（6,7号機共用）

使用済樹脂デカントポンプ室用ハロゲン化物ボンベ～使用済樹脂デカントポンプ室（6,7号機共用）

7号機, 6号機復水移送ポンプ室用ハロゲン化物ボンベ～7号機, 6号機復水移送ポンプ室（6,7号機共用）

RW/B 地下3階通路用ハロゲン化物ボンベ～RW/B 地下3階通路（6,7号機共用）

配管室（RW/B B2F 北東）, 配管室（RW/B B1F 北西）用ハロゲン化物ボンベ～分岐点（T6）（6,7号機共用）

分岐点（T333）～配管室（RW/B B2F 北東）（6,7号機共用）

分岐点（T6）～配管室（RW/B B1F 北西）（6,7号機共用）

RW/B 地下1階通路(B)用ハロゲン化物ボンベ～RW/B 地下1階通路(B)（6,7号機共用）

RW 電気品室用ハロゲン化物ボンベ～RW 電気品室（6,7号機共用）

6号機, 7号機 MG 電気品室用ハロゲン化物ボンベ～6号機, 7号機 MG 電気品室（6,7号機共用）

RW/B～C/B 間クリーンアクセス通路用ハロゲン化物ボンベ～RW/B～C/B 間クリーンアクセス通路（6,7号機共用）

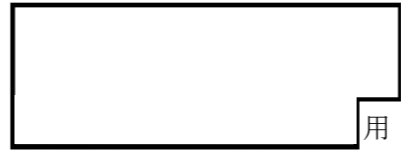

6号機 C/B 計測制御電源盤区域(B)送・排風機室用ハロゲン化物ボンベ～6号機 C/B 計測制御電源盤区域(B)送・排風機室（6,7号機共用）

6号機 HNCW 冷凍機室用ハロゲン化物ボンベ～6号機 HNCW 冷凍機室（6,7号機共用）

以下の設備は、7号機設備であり、6号機及び7号機共用（7号機で申請済）である。

配管室（R/B B3F 北西）用ハロゲン化物ボンベ～配管室（R/B B3F 北西）（7号機設備, 6,7号機共用）

配管室・連絡トレンチ（R-B2F-21）用ハロゲン化物ボンベ～配管室・連絡トレンチ（R-B2F-21）（7号機設備, 6,7号機共用）

変更前						変更後											
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料						
消火設備	—	—	—	—	—	TCW ポンプ・熱交換器室用 ハロゲン化物ポンペ ～ TCW ポンプ・熱交換器室	5.2	40	42.7*	4.9*	STPG370						
									48.6*	5.1*	STPG370						
									48.6*	5.1*	SUS304TP						
									48.6*	3.7*	SUS304TP						
									76.3*	5.2*	SUS304TP						
									89.1*	5.5*	SUS304TP						
						消火設備	—	—	—	—	—	 ハロゲン化物ポンペ ～ 	5.2	40	42.7*	4.9*	STPG370
															42.7*	4.9*	SUS304TP
															48.6*	5.1*	STPG370
															48.6*	5.1*	SUS304TP
															42.7*	3.6*	SUS304TP
															76.3*	5.2*	SUS304TP
															48.6*	3.7*	SUS304TP
															60.5*	3.9*	SUS304TP
89.1*	5.5*	SUS304TP															

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—	—	—	—	—	T/A B2F ケーブル (Ⅰ) (Ⅲ) ・配管トレンチ用 ハロゲン化物ポンペ ～ T/A B2F ケーブル (Ⅰ) (Ⅲ) ・配管トレンチ	5.2	40	42.7*	4.9*	STPG370
									48.6*	5.1*	STPG370
									48.6*	5.1*	SUS304TP
									42.7*	4.9*	SUS304TP
									48.6*	3.7*	SUS304TP
									60.5*	3.9*	SUS304TP
									42.7*	3.6*	SUS304TP
						76.3*	5.2*	SUS304TP			
						T/A B2F ケーブル (Ⅱ) ・配管トレンチ用 ハロゲン化物ポンペ ～ T/A B2F ケーブル (Ⅱ) ・配管トレンチ	5.2	40	42.7*	4.9*	STPG370
									42.7*	4.9*	SUS304TP
									48.6*	5.1*	STPG370
									48.6*	5.1*	SUS304TP
									42.7*	3.6*	SUS304TP
									76.3*	5.2*	SUS304TP
48.6*	3.7*	SUS304TP									

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—	—	—	—	—	<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> 用 ハロゲン化物ポンペ ~ <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div>	5.2	40	42.7*	4.9*	STPG370
									48.6*	5.1*	STPG370
									48.6*	5.1*	SUS304TP
									48.6*	3.7*	SUS304TP
									60.5*	3.9*	SUS304TP
									76.3*	5.2*	SUS304TP
						<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> 用 ハロゲン化物ポンペ ~ <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div>	5.2	40	42.7*	4.9*	STPG370
									48.6*	5.1*	STPG370
									48.6*	5.1*	SUS304TP
									42.7*	4.9*	SUS304TP
									42.7*	3.6*	SUS304TP
									76.3*	5.2*	SUS304TP
									48.6*	3.7*	SUS304TP
									89.1*	5.5*	SUS304TP

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—	—	—	—	—	消火設備	5.2	40	42.7*	4.9*	STPG370
									42.7*	4.9*	SUS304TP
									42.7*	3.6*	SUS304TP
									48.6*	3.7*	SUS304TP
						消火設備	5.2	40	42.7*	4.9*	STPG370
									42.7*	4.9*	SUS304TP
									42.7*	3.6*	SUS304TP
									48.6*	3.7*	SUS304TP

変更前						変更後											
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料						
消火設備	—	—				消火設備	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> 用 ハロゲン化物ポンベ ~ <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div>	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370					
							89.1*			7.6*	SUS304TP						
							89.1*			5.5*	SUS304TP						
							消火設備	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> 用 ハロゲン化物ポンベ ~ <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div>	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370				
											89.1*	7.6*	SUS304TP				
											89.1*	5.5*	SUS304TP				
						消火設備	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> 用 ハロゲン化物ポンベ ~ <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div>	4.8	40	76.3*	5.2*	SUS304TP					
										89.1*	7.6*	STPG370					
										76.3*	7.0*	SUS304TP					
															76.3*	5.2*	SUS304TP

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—	—	—	—	—	[] 用 ハロゲン化物ポンペ ～ []	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370
									76.3*	7.0*	SUS304TP
									76.3*	5.2*	SUS304TP
						[] 用 ハロゲン化物ポンペ ～ []	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370
									76.3*	7.0*	SUS304TP
									76.3*	5.2*	SUS304TP
						[] 用 ハロゲン化物ポンペ ～ []	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370
									76.3*	7.0*	SUS304TP
									76.3*	5.2*	SUS304TP

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
消火設備	—	—	—	—	—	消火設備	HCU室（西側）用 ハロゲン化物ポンペ ～ HCU室（西側）	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370
										76.3*	7.0*	SUS304TP
										76.3*	5.2*	SUS304TP
							HCU室（東側）用 ハロゲン化物ポンペ ～ HCU室（東側）	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370
										76.3*	7.0*	SUS304TP
										76.3*	5.2*	SUS304TP
						HPACポンプ室用 ハロゲン化物ポンペ ～ HPACポンプ室	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370	
									48.6*	5.1*	SUS304TP	
									48.6*	3.7*	SUS304TP	
						RIP・CRD取扱装置制御室用 ハロゲン化物ポンペ ～ RIP・CRD取扱装置制御室	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370	
									76.3*	7.0*	SUS304TP	
									76.3*	5.2*	SUS304TP	

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
消火設備	—	—	—	—	—	消火設備	CRD モーター試験室用 ハロゲン化物ポンペ ～ CRD モーター試験室	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370
										48.6*	5.1*	SUS304TP
										48.6*	3.7*	SUS304TP
							TIP 駆動装置現場制御盤室用 ハロゲン化物ポンペ ～ TIP 駆動装置現場制御盤室	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370
										89.1*	7.6*	SUS304TP
										89.1*	5.5*	SUS304TP
						48.6*	3.7*	SUS304TP				
						RIP-ASD(A)(B)(E)(F)(H)室用 ハロゲン化物ポンペ ～ RIP-ASD(A)(B)(E)(F)(H)室	4.8	40	114.3*	8.6*	STPG370	
									114.3*	8.6*	SUS304TP	
									114.3*	6.0*	SUS304TP	

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—					<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div> 用 ハロゲン化物ポンベ ~ <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370
									89.1*	7.6*	SUS304TP
									89.1*	5.5*	SUS304TP
									60.5*	3.9*	SUS304TP
						非管理区域入口室 (R/B 1F 北) 用 ハロゲン化物ポンベ ~ 非管理区域入口室 (R/B 1F 北)	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370
									89.1*	7.6*	SUS304TP
									89.1*	5.5*	SUS304TP
						電気ペネ室 (R/B 1F 東) 用 ハロゲン化物ポンベ ~ 電気ペネ室 (R/B 1F 東)	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370
									89.1*	7.6*	SUS304TP
									89.1*	5.5*	SUS304TP
									76.3*	5.2*	SUS304TP

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
消 火 設 備	—	—	—	—	—	FCS 再結合装置室用 ハロゲン化物ポンベ ～ FCS 再結合装置室	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370
									89.1*	7.6*	SUS304TP
									89.1*	5.5*	SUS304TP
						非管理区域入口室 (R/B 1F 南) 用 ハロゲン化物ポンベ ～ 非管理区域入口室 (R/B 1F 南)	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370
									89.1*	7.6*	SUS304TP
									89.1*	5.5*	SUS304TP
						SLC・電気ペネ室用 ハロゲン化物ポンベ ～ SLC・電気ペネ室	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370
									48.6*	5.1*	SUS304TP
									48.6*	3.7*	SUS304TP
						MSIV 搬出入用機器ハッチ室用 ハロゲン化物ポンベ ～ MSIV 搬出入用機器ハッチ室	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370
									89.1*	7.6*	SUS304TP
									89.1*	5.5*	SUS304TP
									48.6*	3.7*	SUS304TP





変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—	—				IA・HPIN ペネ室用 ハロゲン化物ポンベ ～ IA・HPIN ペネ室	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370
									89.1*	7.6*	SUS304TP
									89.1*	5.5*	SUS304TP
									48.6*	3.7*	SUS304TP
						[] 用 ハロゲン化物ポンベ ～ []	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370
									89.1*	7.6*	SUS304TP
									89.1*	5.5*	SUS304TP
						[] 用 ハロゲン化物ポンベ ～ []	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370
									89.1*	7.6*	SUS304TP
									89.1*	5.5*	SUS304TP

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
消火設備	—					消火設備	電気ペネ室 (R/B 2F 北) 用 ハロゲン化物ポンベ ～ 電気ペネ室 (R/B 2F 北)	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370
										89.1*	7.6*	SUS304TP
										89.1*	5.5*	SUS304TP
										48.6*	3.7*	SUS304TP
							電気ペネ室 (R/B 2F 南) 用 ハロゲン化物ポンベ ～ 電気ペネ室 (R/B 2F 南)	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370
										89.1*	7.6*	SUS304TP
										89.1*	5.5*	SUS304TP
							ASD 出力トランス (D) (J) 室用 ハロゲン化物ポンベ ～ ASD 出力トランス (D) (J) 室	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370
										89.1*	7.6*	SUS304TP
										89.1*	5.5*	SUS304TP
										48.6*	3.7*	SUS304TP

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
消火設備	—					消火設備	[] 用 ハロゲン化物ポンペ ～ []	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370
										89.1*	7.6*	SUS304TP
										89.1*	5.5*	SUS304TP
							[] 用 ハロゲン化物ポンペ ～ []	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370
										89.1*	7.6*	SUS304TP
										89.1*	5.5*	SUS304TP
							[] 用 ハロゲン化物ポンペ ～ []	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370
										89.1*	7.6*	SUS304TP
										89.1*	5.5*	SUS304TP
							ASD 出力トランス (A) (F) 室用 ハロゲン化物ポンペ ～ ASD 出力トランス (A) (F) 室	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370
										89.1*	7.6*	SUS304TP
										89.1*	5.5*	SUS304TP
										48.6*	3.7*	SUS304TP

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—	—	—	—	—	SGTS 室用 ハロゲン化物ポンベ ～ SGTS 室	4.8	40	114.3*	8.6*	STPG370
									114.3*	8.6*	SUS304TP
									114.3*	6.0*	SUS304TP
						北側 FMCRD 制御盤室用 ハロゲン化物ポンベ ～ 北側 FMCRD 制御盤室	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370
									89.1*	7.6*	SUS304TP
									89.1*	5.5*	SUS304TP
						DG(B)/Z 送風機室用 ハロゲン化物ポンベ ～ DG(B)/Z 送風機室	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370
									89.1*	7.6*	SUS304TP
									89.1*	5.5*	SUS304TP
						南側 FMCRD 制御盤室用 ハロゲン化物ポンベ ～ 南側 FMCRD 制御盤室	4.8	40	114.3*	8.6*	STPG370
									114.3*	8.6*	SUS304TP
									114.3*	6.0*	SUS304TP
						MS トンネル室空調機室用 ハロゲン化物ポンベ ～ MS トンネル室空調機室	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370
									89.1*	7.6*	SUS304TP
									89.1*	5.5*	SUS304TP
									76.3*	5.2*	SUS304TP

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—	—	—	—	—	配管室 (R-1-28) 用 ハロゲン化物ポンペ ～ 配管室 (R-1-28)	4.8	40	114.3*	8.6*	STPG370
									114.3*	8.6*	SUS304TP
									114.3*	6.0*	SUS304TP
						RIP・CRD 補修室, ケーブル室用 ハロゲン化物ポンペ ～ RIP・CRD 補修室, ケーブル室	4.8	40	114.3*	8.6*	STPG370
									114.3*	8.6*	SUS304TP
									114.3*	6.0*	SUS304TP
									139.8*	6.6*	SUS304TP
						[] 用 ハロゲン化物ポンペ ～ 6U53-F811-17-S1, S2, S3	4.8	40	114.3*	8.6*	STPG370
									114.3*	8.6*	SUS304TP
									114.3*	6.0*	SUS304TP
									114.3*	6.0*	STPG370
									76.3*	5.2*	STPG370
						6U53-F811-17-S1 ～ []	4.8	40	114.3*	6.0*	STPG370
									114.3*	6.0*	SUS304TP
						6U53-F811-17-S2 ～ []	4.8	40	114.3*	6.0*	STPG370
									114.3*	6.0*	SUS304TP
6U53-F811-17-S3 ～ []	4.8	40	76.3*	5.2*	STPG370						
			76.3*	5.2*	SUS304TP						

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—	—	—	—	—	<div style="text-align: center;">  用 ハロゲン化物ポンベ ~  </div>	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370
									89.1*	7.6*	SUS304TP
									89.1*	5.5*	SUS304TP
									48.6*	3.7*	SUS304TP
						RIP-ASD(C) (D) (G) (J) (K)室用 ハロゲン化物ポンベ ~ RIP-ASD(C) (D) (G) (J) (K)室	4.8	40	114.3*	8.6*	STPG370
									114.3*	8.6*	SUS304TP
									114.3*	6.0*	SUS304TP
									139.8*	6.6*	SUS304TP
						<div style="text-align: center;">  用 ハロゲン化物ポンベ ~  </div>	4.8	40	114.3*	8.6*	STPG370
									114.3*	8.6*	SUS304TP
									114.3*	6.0*	SUS304TP
						A系 HPIN 窒素ガスボンベラック・RCW(A)サージタンク室, AM バッテリー室用 ハロゲン化物ポンベ ~ A系 HPIN 窒素ガスボンベラック・RCW(A)サージタンク室, AM バッテリー室	4.8	40	114.3*	8.6*	STPG370
									114.3*	8.6*	SUS304TP
									114.3*	6.0*	SUS304TP
									89.1*	5.5*	SUS304TP
									76.3*	5.2*	SUS304TP
			48.6*	3.7*	SUS304TP						

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—					<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div> 用 ハロゲン化物ポンベ ~ <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>	4.8	40	114.3*	8.6*	STPG370
									114.3*	8.6*	SUS304TP
									114.3*	6.0*	SUS304TP
						RIP 点検室用 ハロゲン化物ポンベ ~ RIP 点検室	4.8	40	89.1*	7.6*	STPG370
									89.1*	7.6*	SUS304TP
									89.1*	5.5*	SUS304TP
									48.6*	3.7*	SUS304TP
						B系 HPIN 窒素ガスポンベラック・RCW(B)サージタンク室用 ハロゲン化物ポンベ ~ B系 HPIN 窒素ガスポンベラック・RCW(B)サージタンク室	4.8	40	114.3*	8.6*	STPG370
									114.3*	8.6*	SUS304TP
									114.3*	6.0*	SUS304TP
						6号機 HECW(A)(C)冷凍機室用 ハロゲン化物ポンベ ~ 6号機 HECW(A)(C)冷凍機室	5.2	40	42.7*	4.9*	STPG370
									48.6*	5.1*	STPG370
									48.6*	5.1*	SUS304TP
									48.6*	3.7*	SUS304TP
									60.5*	3.9*	SUS304TP

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
消 火 設 備	—	—	—	—	—	6号機 HECW(B)(D)冷凍機室用 ハロゲン化物ポンベ ～ 6号機 HECW(B)(D)冷凍機室	5.2	40	42.7*	4.9*	STPG370
									42.7*	4.9*	SUS304TP
									42.7*	3.6*	SUS304TP
									60.5*	3.9*	SUS304TP
						6号機常用バッテリー(250V・48V)室用 ハロゲン化物ポンベ ～ 6号機常用バッテリー(250V・48V)室	5.2	40	42.7*	4.9*	STPG370
									34.0*	4.5*	STPG370
									34.0*	4.5*	SUS304TP
									34.0*	3.4*	SUS304TP
						6号機 C/B 常用電気品区域送・排風機室用 ハロゲン化物ポンベ ～ 6号機 C/B 常用電気品区域送・排風機室	5.2	40	42.7*	4.9*	STPG370
									48.6*	5.1*	STPG370
									48.6*	5.1*	SUS304TP
									48.6*	3.7*	SUS304TP
						6号機 C/B 計測制御電源盤区域(C)送風機室用 ハロゲン化物ポンベ ～ 6号機 C/B 計測制御電源盤区域(C)送風機室	5.2	40	42.7*	4.9*	STPG370
									42.7*	4.9*	SUS304TP
									42.7*	3.6*	SUS304TP
									48.6*	3.7*	SUS304TP

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—	—	—	—	—	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div> 用 ハロゲン化物ポンペ ~ 6U53-F831-8-S1, S2, S3, S4	4.8	40	114.3*	8.6*	STPG370
									114.3*	8.6*	SUS304TP
									114.3*	6.0*	SUS304TP
									76.3*	5.2*	STPG370
						6U53-F831-8-S1 ~ <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>	4.8	40	76.3*	5.2*	STPG370
									76.3*	5.2*	SUS304TP
									48.6*	3.7*	SUS304TP
						6U53-F831-8-S2 ~ <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>	4.8	40	76.3*	5.2*	STPG370
									76.3*	5.2*	SUS304TP
									48.6*	3.7*	SUS304TP
						6U53-F831-8-S3 ~ <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>	4.8	40	76.3*	5.2*	STPG370
									76.3*	5.2*	SUS304TP
48.6*	3.7*	SUS304TP									
6U53-F831-8-S4 ~ <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>	4.8	40	76.3*	5.2*	STPG370						
			76.3*	5.2*	SUS304TP						
			48.6*	3.7*	SUS304TP						

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—	—	—	—	—	6号機 C/B 計測制御電源盤区域(A)送・排風機室用 ハロゲン化物ボンベ ～ 6号機 C/B 計測制御電源盤区域(A)送・排風機室	5.2	40	42.7*	4.9*	STPG370
									42.7*	4.9*	SUS304TP
									42.7*	3.6*	SUS304TP
									48.6*	3.7*	SUS304TP
						6号機 C/B 計測制御電源盤区域(C)排風機室用 ハロゲン化物ボンベ ～ 6号機 C/B 計測制御電源盤区域(C)排風機室	5.2	40	42.7*	4.9*	STPG370
									42.7*	4.9*	SUS304TP
									42.7*	3.6*	SUS304TP
									48.6*	3.7*	SUS304TP
						非管理区域アクセス通路 (C/B B1F) 用 ハロゲン化物ボンベ ～ 非管理区域アクセス通路 (C/B B1F)	5.2	40	42.7*	4.9*	STPG370
									48.6*	5.1*	STPG370
									48.6*	5.1*	SUS304TP
									48.6*	3.7*	SUS304TP
						6号機常用ケーブル処理室用 ハロゲン化物ボンベ ～ 6号機常用ケーブル処理室	5.2	40	42.7*	4.9*	STPG370
									34.0*	4.5*	STPG370
									34.0*	4.5*	SUS304TP
									34.0*	3.4*	SUS304TP

変 更 前						変 更 後						
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
消 火 設 備	—	—	—	—	—	消 火 設 備	6号機区分Ⅰケーブル処理室用 ハロゲン化物ポンペ ～ 6号機区分Ⅰケーブル処理室	5.2	40	42.7*	4.9*	STPG370
										42.7*	4.9*	SUS304TP
										42.7*	3.6*	SUS304TP
							6号機区分Ⅱケーブル処理室用 ハロゲン化物ポンペ ～ 6号機区分Ⅱケーブル処理室	5.2	40	42.7*	4.9*	STPG370
										42.7*	4.9*	SUS304TP
										42.7*	3.6*	SUS304TP
							6号機区分Ⅲケーブル処理室用 ハロゲン化物ポンペ ～ 6号機区分Ⅲケーブル処理室	5.2	40	42.7*	4.9*	STPG370
										42.7*	4.9*	SUS304TP
										42.7*	3.6*	SUS304TP
						6号機ダクトスペース (C-3-7) 用 ハロゲン化物ポンペ ～ 6号機ダクトスペース (C-3-7)	5.2	40	42.7*	4.9*	STPG370	
									34.0*	4.5*	STPG370	
									34.0*	4.5*	SUS304TP	
									34.0*	3.4*	SUS304TP	

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—	—	—	—	—	6号機中央制御室再循環フィルタ装置室用 ハロゲン化物ポンベ ～ 6号機中央制御室再循環フィルタ装置室	5.2	40	42.7*	4.9*	STPG370
									42.7*	4.9*	SUS304TP
									42.7*	3.6*	SUS304TP
									48.6*	3.7*	SUS304TP
						6号機中央制御室送・排風機室用 ハロゲン化物ポンベ ～ 6号機中央制御室送・排風機室	5.2	40	42.7*	4.9*	STPG370
									48.6*	5.1*	STPG370
									48.6*	5.1*	SUS304TP
									48.6*	3.7*	SUS304TP
									76.3*	5.2*	SUS304TP
						6号機ケーブル処理室 (C-4-2) 用 ハロゲン化物ポンベ ～ 6号機ケーブル処理室 (C-4-2)	5.2	40	42.7*	4.9*	STPG370
									42.7*	4.9*	SUS304TP
									42.7*	3.6*	SUS304TP

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—	—				パイプスペース (R-1-29) 用 ハロゲン化物ポンベ ～ パイプスペース (R-1-29)	5.2	40	42.7*	4.9*	STPG370
									42.7*	4.9*	SUS304TP
									42.7*	3.6*	SUS304TP
									48.6*	3.7*	SUS304TP
						R/B～C/B 区分 I トレンチ用 ハロゲン化物ポンベ ～ R/B～C/B 区分 I トレンチ	5.2	40	42.7*	4.9*	STPG370
									42.7*	4.9*	SUS304TP
									42.7*	3.6*	SUS304TP
									48.6*	5.1*	STPG370
									48.6*	5.1*	SUS304TP
									48.6*	3.7*	SUS304TP
									76.3*	5.2*	SUS304TP

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—	—	—	—	—	6号機常用電気品室, 6号機常用バッテリー (250V) 室, R/B~C/B 区分Ⅱ・Ⅲ・Ⅳトレンチ用 ハロゲン化物ボンベ ~ 6号機常用電気品室, 6号機常用バッテリー (250V) 室, 6U53-F831-1-S1, 6U53-F831-22-S1	5.2	40	42.7*	4.9*	STPG370
									48.6*	5.1*	STPG370
									48.6*	5.1*	SUS304TP
									34.0*	4.5*	STPG370
									34.0*	4.5*	SUS304TP
									48.6*	3.7*	SUS304TP
									76.3*	5.2*	SUS304TP
									89.1*	5.5*	SUS304TP
									34.0*	3.4*	SUS304TP
									42.7*	3.6*	SUS304TP
						60.5*	3.9*	SUS304TP			
						89.1*	5.5*	STPG370			
						6U53-F831-1-S1 ~ 6号機常用電気品室	5.2	40	89.1*	5.5*	STPG370
						89.1*			5.5*	SUS304TP	
						6U53-F831-22-S1 ~ R/B~C/B 区分Ⅱ・Ⅲ・Ⅳトレンチ	5.2	40	89.1*	5.5*	STPG370
						89.1*			5.5*	SUS304TP	
6号機下部中央制御室用 ハロゲン化物ボンベ ~ 6号機下部中央制御室	5.2	40	42.7*	4.9*	STPG370						
			42.7*	4.9*	SUS304TP						
			42.7*	3.6*	SUS304TP						
			60.5*	3.9*	SUS304TP						

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—	—	—	—	—	6号機プロセス計算機室用 ハロゲン化物ポンベ ～ 6号機プロセス計算機室	5.2	40	42.7*	4.9*	STPG370
									48.6*	5.1*	STPG370
									48.6*	5.1*	SUS304TP
									42.7*	4.9*	SUS304TP
									48.6*	3.7*	SUS304TP
									42.7*	3.6*	SUS304TP
						6号機計算機用トランス室用 ハロゲン化物ポンベ ～ 6号機計算機用トランス室	5.2	40	60.5*	3.9*	SUS304TP
									42.7*	4.9*	STPG370
									34.0*	4.5*	STPG370
									34.0*	4.5*	SUS304TP
34.0*	3.4*	SUS304TP									
48.6*	3.7*	SUS304TP									

注記*：公称値を示す。

d. SLCポンプ・CRDポンプ局所消火設備主配管

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—	—	—	—	—	SLCポンプ(A)局所消火設備用ハロゲン化物ポンプ ～ SLC(A)噴射ヘッド4	5.2	40	89.1*	7.6*	STPG370
									89.1*	7.6*	SUS304TP
									89.1*	5.5*	SUS304TP
									60.5*	3.9*	SUS304TP
									34.0*	3.4*	SUS304TP
						SLC(A)分岐点1～SLC(A)噴射ヘッド1	5.2	40	34.0*	3.4*	SUS304TP
						SLC(A)分岐点2～SLC(A)噴射ヘッド2	5.2	40	34.0*	3.4*	SUS304TP
						SLC(A)分岐点3～SLC(A)噴射ヘッド3	5.2	40	34.0*	3.4*	SUS304TP
						SLCポンプ(B)局所消火設備用ハロゲン化物ポンプ ～ SLC(B)噴射ヘッド4	5.2	40	89.1*	7.6*	STPG370
									89.1*	7.6*	SUS304TP
									89.1*	5.5*	SUS304TP
									60.5*	3.9*	SUS304TP
									34.0*	3.4*	SUS304TP
						SLC(B)分岐点1～SLC(B)噴射ヘッド1	5.2	40	34.0*	3.4*	SUS304TP
SLC(B)分岐点2～SLC(B)噴射ヘッド2	5.2	40	34.0*	3.4*	SUS304TP						
SLC(B)分岐点3～SLC(B)噴射ヘッド3	5.2	40	34.0*	3.4*	SUS304TP						

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
消火設備	—					CRD ポンプ(A)局所消火設備用ハロゲン化物ポンペ ～ CRD(A)分岐点 1	5.2	40	89.1*	7.6*	STPG370	
									89.1*	7.6*	SUS304TP	
									89.1*	5.5*	SUS304TP	
									60.5*	3.9*	SUS304TP	
									48.6*	3.7*	SUS304TP	
									42.7*	3.6*	SUS304TP	
									34.0*	3.4*	SUS304TP	
							CRD(A)分岐点 1～CRD(A)噴射ヘッド 2	5.2	40	34.0*	3.4*	SUS304TP
							CRD(A)分岐点 2～CRD(A)噴射ヘッド 1	5.2	40	34.0*	3.4*	SUS304TP
							CRD(A)分岐点 1～CRD(A)噴射ヘッド 4	5.2	40	34.0*	3.4*	SUS304TP
							CRD(A)分岐点 3～CRD(A)噴射ヘッド 3	5.2	40	34.0*	3.4*	SUS304TP
							CRD ポンプ(B)局所消火設備用ハロゲン化物ポンペ ～ CRD(B)噴射ヘッド 4	5.2	40	89.1*	7.6*	STPG370
										89.1*	7.6*	SUS304TP
						89.1*				5.5*	SUS304TP	
						60.5*				3.9*	SUS304TP	
						48.6*				3.7*	SUS304TP	
						42.7*				3.6*	SUS304TP	
						34.0*				3.4*	SUS304TP	
						CRD(B)分岐点 1～CRD(B)噴射ヘッド 1	5.2	40	34.0*	3.4*	SUS304TP	
						CRD(B)分岐点 2～CRD(B)噴射ヘッド 2	5.2	40	34.0*	3.4*	SUS304TP	
CRD(B)分岐点 3～CRD(B)噴射ヘッド 3	5.2	40	34.0*	3.4*	SUS304TP							

注記* : 公称値を示す。

e. 電源盤・制御盤消火設備主配管

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
消火設備	—					消火設備	MCC 6A-2-1 用ハロゲン化物ポンペ ～ MCC 盤 6A-2-1	4.6	40			C1220T
							MCC 6B-2-1 用ハロゲン化物ポンペ ～ MCC 盤 6B-2-1	4.6	40			C1220T
							MCC 6SB-1 用ハロゲン化物ポンペ ～ MCC 盤 6SB-1	4.6	40			C1220T
							MCC 6S 用ハロゲン化物ポンペ ～ MCC 盤 6S	4.6	40			C1220T
							CUW FPC F/D 盤用ハロゲン化物ポンペ ～ CUW FPC F/D 盤	4.6	40			C1220T

注記* : 公称値を示す。

f. ケーブルトレイ消火設備主配管

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
消火設備						消火設備	R-B3F-①-1 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B3F-①-1	4.6	40			C1220T
							R-B3F-①-2 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B3F-①-2	4.6	40			C1220T
							R-B3F-①-3 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B3F-①-3	4.6	40			C1220T
							R-B3F-②-1 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B3F-②-1	4.6	40			C1220T
							R-B3F-②-2 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B3F-②-2	4.6	40			C1220T
							R-B3F-②-3 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B3F-②-3	4.6	40			C1220T
							R-B3F-③-1 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B3F-③-1	4.6	40			C1220T
							R-B3F-③-2 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B3F-③-2	4.6	40			C1220T
							R-B3F-③-3 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B3F-③-3	4.6	40			C1220T
							R-B3F-④-1 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B3F-④-1	4.6	40			C1220T

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—	—	—	—	—	R-B3F-④-2 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B3F-④-2	4.6	40	—	—	C1220T
						R-B3F-⑤-1 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B3F-⑤-1	4.6	40			C1220T
						R-B3F-⑤-2 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B3F-⑤-2	4.6	40			C1220T
						R-B3F-⑤-3 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B3F-⑤-3	4.6	40			C1220T
						R-B2F-①-1 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B2F-①-1	4.6	40			C1220T
						R-B2F-①-2 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B2F-①-2	4.6	40			C1220T
						R-B2F-①-3 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B2F-①-3	4.6	40			C1220T
						R-B2F-②-1 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B2F-②-1	4.6	40			C1220T
						R-B2F-②-2 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B2F-②-2	4.6	40			C1220T
						R-B2F-②-3 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B2F-②-3	4.6	40			C1220T

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—	—	—	—	—	R-B2F-②-4 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B2F-②-4	4.6	40	[Redacted]	[Redacted]	C1220T
						R-B2F-②-5 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B2F-②-5	4.6	40			C1220T
						R-B2F-②-6 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B2F-②-6	4.6	40			C1220T
						R-B2F-②-7 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B2F-②-7	4.6	40			C1220T
						R-B2F-③-1 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B2F-③-1	4.6	40			C1220T
						R-B2F-③-2 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B2F-③-2	4.6	40			C1220T
						R-B2F-③-3 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B2F-③-3	4.6	40			C1220T
						R-B2F-④-1 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B2F-④-1	4.6	40			C1220T
						R-B2F-④-2 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B2F-④-2	4.6	40			C1220T
						R-B2F-⑤-1 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B2F-⑤-1	4.6	40			C1220T

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—					R-B2F-⑤-2 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B2F-⑤-2	4.6	40			C1220T
						R-B2F-⑤-3 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B2F-⑤-3	4.6	40			C1220T
						R-B2F-⑥-1 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B2F-⑥-1	4.6	40			C1220T
						R-B2F-⑥-2 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B2F-⑥-2	4.6	40			C1220T
						R-B2F-⑦-1 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B2F-⑦-1	4.6	40			C1220T
						R-B2F-⑦-2 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B2F-⑦-2	4.6	40			C1220T
						R-B1F-①-1 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B1F-①-1	4.6	40			C1220T
						R-B1F-①-2 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B1F-①-2	4.6	40			C1220T
						R-B1F-①-3 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B1F-①-3	4.6	40			C1220T
						R-B1F-②-1 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B1F-②-1	4.6	40			C1220T

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—	—	—	—	—	R-B1F-②-2 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B1F-②-2	4.6	40	—	—	C1220T
						R-B1F-②-3 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B1F-②-3	4.6	40			C1220T
						R-B1F-③-1 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B1F-③-1	4.6	40			C1220T
						R-B1F-③-2 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B1F-③-2	4.6	40			C1220T
						R-B1F-④-1 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B1F-④-1	4.6	40			C1220T
						R-B1F-④-2 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B1F-④-2	4.6	40			C1220T
						R-B1F-④-3 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B1F-④-3	4.6	40			C1220T
						R-B1F-④-4 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B1F-④-4	4.6	40			C1220T
						R-B1F-④-5 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B1F-④-5	4.6	40			C1220T
						R-B1F-⑤-1 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B1F-⑤-1	4.6	40			C1220T

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—	—	—	—	—	R-B1F-⑤-2 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B1F-⑤-2	4.6	40	—	—	C1220T
						R-B1F-⑤-3 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B1F-⑤-3	4.6	40			C1220T
						R-B1F-⑥-1 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B1F-⑥-1	4.6	40			C1220T
						R-B1F-⑥-2 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-B1F-⑥-2	4.6	40			C1220T
						R-1F-①-1 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-1F-①-1	4.6	40			C1220T
						R-1F-①-2 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-1F-①-2	4.6	40			C1220T
						R-1F-①-3 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-1F-①-3	4.6	40			C1220T
						R-1F-①-4 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-1F-①-4	4.6	40			C1220T
						R-1F-②-1 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-1F-②-1	4.6	40			C1220T
						R-1F-②-2 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-1F-②-2	4.6	40			C1220T

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—	—	—	—	—	R-1F-②-3用ハロゲン化物ポンベ ～ R-1F-②-3	4.6	40	—	—	C1220T
						R-1F-②-4用ハロゲン化物ポンベ ～ R-1F-②-4	4.6	40			C1220T
						R-1F-②-5用ハロゲン化物ポンベ ～ R-1F-②-5	4.6	40			C1220T
						R-1F-③-1用ハロゲン化物ポンベ ～ R-1F-③-1	4.6	40			C1220T
						R-1F-③-2用ハロゲン化物ポンベ ～ R-1F-③-2	4.6	40			C1220T
						R-1F-③-3用ハロゲン化物ポンベ ～ R-1F-③-3	4.6	40			C1220T
						R-1F-③-4用ハロゲン化物ポンベ ～ R-1F-③-4	4.6	40			C1220T
						R-1F-③-5用ハロゲン化物ポンベ ～ R-1F-③-5	4.6	40			C1220T
						R-1F-④-1用ハロゲン化物ポンベ ～ R-1F-④-1	4.6	40			C1220T
						R-1F-④-2用ハロゲン化物ポンベ ～ R-1F-④-2	4.6	40			C1220T

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—	—	—	—	—	R-1F-④-3 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-1F-④-3	4.6	40	—	—	C1220T
						R-1F-④-4 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-1F-④-4	4.6	40			C1220T
						R-2F-①-1 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-2F-①-1	4.6	40			C1220T
						R-2F-①-2 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-2F-①-2	4.6	40			C1220T
						R-2F-①-3 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-2F-①-3	4.6	40			C1220T
						R-2F-②-1 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-2F-②-1	4.6	40			C1220T
						R-2F-②-2 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-2F-②-2	4.6	40			C1220T
						R-2F-②-3 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-2F-②-3	4.6	40			C1220T
						R-2F-②-4 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-2F-②-4	4.6	40			C1220T
						R-2F-②-5 用ハロゲン化物ポンベ ～ R-2F-②-5	4.6	40			C1220T

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—					R-2F-②-6用ハロゲン化物ポンベ ～ R-2F-②-6	4.6	40			C1220T
						R-2F-③-1用ハロゲン化物ポンベ ～ R-2F-③-1	4.6	40			C1220T
						R-2F-③-2用ハロゲン化物ポンベ ～ R-2F-③-2	4.6	40			C1220T
						R-3F-①-1用ハロゲン化物ポンベ ～ R-3F-①-1	4.6	40			C1220T
						R-3F-①-2用ハロゲン化物ポンベ ～ R-3F-①-2	4.6	40			C1220T
						R-3F-①-3用ハロゲン化物ポンベ ～ R-3F-①-3	4.6	40			C1220T
						R-3F-①-4用ハロゲン化物ポンベ ～ R-3F-①-4	4.6	40			C1220T
						R-3F-①-5用ハロゲン化物ポンベ ～ R-3F-①-5	4.6	40			C1220T
						C-1F-①-1用ハロゲン化物ポンベ ～ C-1F-①-1	4.6	40			C1220T
						C-1F-①-2用ハロゲン化物ポンベ ～ C-1F-①-2	4.6	40			C1220T

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—					C-1F-②-1用ハロゲン化物ポンベ ～ C-1F-②-1	4.6	40			C1220T
						C-1F-②-2用ハロゲン化物ポンベ ～ C-1F-②-2	4.6	40			C1220T
						C-1F-②-3用ハロゲン化物ポンベ ～ C-1F-②-3	4.6	40			C1220T
						R-1F-⑤-1用ハロゲン化物ポンベ ～ R-1F-⑤-1	4.6	40			C1220T
						R-1F-⑤-2用ハロゲン化物ポンベ ～ R-1F-⑤-2	4.6	40			C1220T
						R-1F-⑤-3用ハロゲン化物ポンベ ～ R-1F-⑤-3	4.6	40			C1220T
						R-1F-⑤-4用ハロゲン化物ポンベ ～ R-1F-⑤-4	4.6	40			C1220T
						R-1F-⑤-5用ハロゲン化物ポンベ ～ R-1F-⑤-5	4.6	40			C1220T
						R-1F-⑤-6用ハロゲン化物ポンベ ～ R-1F-⑤-6	4.6	40			C1220T
						R-1F-⑤-7用ハロゲン化物ポンベ ～ R-1F-⑤-7	4.6	40			C1220T

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
消火設備	—					消火設備	R-2F-④-1用ハロゲン化物ポンベ ～ R-2F-④-1	4.6	40			C1220T
							R-2F-④-2用ハロゲン化物ポンベ ～ R-2F-④-2	4.6	40			C1220T
							R-2F-④-3用ハロゲン化物ポンベ ～ R-2F-④-3	4.6	40			C1220T
							R-2F-④-4用ハロゲン化物ポンベ ～ R-2F-④-4	4.6	40			C1220T
							R-3F-②-1用ハロゲン化物ポンベ ～ R-3F-②-1	4.6	40			C1220T
							R-3F-②-2用ハロゲン化物ポンベ ～ R-3F-②-2	4.6	40			C1220T
							R-3F-②-3用ハロゲン化物ポンベ ～ R-3F-②-3	4.6	40			C1220T

注記* : 公称値を示す。

g. 中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備主配管

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
消火設備	—					消火設備	中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備 (NON) 用 ハロゲン化物ポンベ ～ 東側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点	5.2	40			SUS304TP
							西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点 ～ 西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点	5.2	40			SUS304TP
							西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点 ～ 西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点, 西側 <input type="checkbox"/> A 供給ライン 1 分岐点及び西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点	5.2	40			SUS304TP
							西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点 ～ 西側 PCPS 区分 NON エリア	5.2	40			SUS304TP
							西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点 ～ 西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン 2 分岐点 及び西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン 3 分岐点	5.2	40			SUS304TP
							西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン 1 分岐点 ～ 西側 PCPS 区分 NON エリア	5.2	40			SUS304TP
							西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン 2 分岐点 ～ 西側 PCPS 区分 NON エリア	5.2	40			SUS304TP
							西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン 3 分岐点 ～ 西側 PCPS 区分 NON エリア	5.2	40			SUS304TP

K6 ① II R0

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—	—				西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン1分岐点 ～ 西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン4分岐点 及び西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン7分岐点	5.2	40			SUS304TP
						西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン4分岐点 ～ 西側 PCPS 区分 NON エリア	5.2	40			SUS304TP
						西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン5分岐点 ～ 西側 PCPS 区分 NON エリア	5.2	40			SUS304TP
						西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン6分岐点 ～ 西側 PCPS 区分 NON エリア	5.2	40			SUS304TP
						西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン7分岐点 ～ 西側 PCPS 区分 NON エリア	5.2	40			SUS304TP
						東側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点 ～ 東側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点及び東側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点	5.2	40			SUS304TP
						東側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点 ～ 東側 <input type="checkbox"/> 供給ライン1分岐点	5.2	40			SUS304TP
						東側 <input type="checkbox"/> 供給ライン2分岐点 ～ 東側 PCPS 区分 NON エリア	5.2	40			SUS304TP
						東側 <input type="checkbox"/> 供給ライン1分岐点 ～ 東側 <input type="checkbox"/> 供給ライン4分岐点	5.2	40			SUS304TP

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
消火設備	—					消火設備	東側 <input type="checkbox"/> 供給ライン 3 分岐点 ～ 東側 PCPS 区分 NON エリア	5.2	40			SUS304TP
							東側 <input type="checkbox"/> 供給ライン 4 分岐点 ～ 東側 PCPS 区分 NON エリア	5.2	40			SUS304TP
							東側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点 ～ 東側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点	5.2	40			SUS304TP
							東側 <input type="checkbox"/> 供給ライン 1 分岐点 ～ 東側 PCPS 区分 NON エリア	5.2	40			SUS304TP
							東側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点 ～ 東側 PCPS 区分 NON エリア	5.2	40			SUS304TP
							中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備（区分 I）用ハロゲン化物ポンベ ～ <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点	5.2	40			SUS304TP
							<input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点 ～ 東側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点	5.2	40			SUS304TP
							西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点 ～ 西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点	5.2	40			SUS304TP
							西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点 ～ 西側 PCPS 区分 I エリア	5.2	40			SUS304TP

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—					東側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点 ～ 東側 PCPS 区分Ⅰエリア	5.2	40			SUS304TP
						中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備（区分Ⅱ）用ハロゲン化物ポンベ ～ <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点	5.2	40			SUS304TP
						<input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点 ～ 西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点及び東側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点	5.2	40			SUS304TP
						西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点 ～ 西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点	5.2	40			SUS304TP
						西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点 ～ 西側 PCPS 区分Ⅱエリア	5.2	40			SUS304TP
						東側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点 ～ 東側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点及び東側 <input type="checkbox"/> 供給ライン1分岐点	5.2	40			SUS304TP
						東側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点 ～ 東側 PCPS 区分Ⅱエリア	5.2	40			SUS304TP
						東側 <input type="checkbox"/> 供給ライン1分岐点 ～ 東側 PCPS 区分Ⅱエリア	5.2	40			SUS304TP
						中央制御室床下フリーアクセスフロア消火設備（区分Ⅲ）用ハロゲン化物ポンベ ～ <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点	5.2	40			SUS304TP

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
消火設備	—					消火設備	<input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点 ~ 西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点及び東側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点	5.2	40			SUS304TP
							西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点 ~ 西側 PCPS 区分Ⅲエリア	5.2	40			SUS304TP
							東側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点 ~ 東側 PCPS 区分Ⅲエリア	5.2	40			SUS304TP
							中央制御室床下フリーアクセスフロア 消火設備（区分Ⅳ）用ハロゲン化 物ポンベ ~ <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点	5.2	40			SUS304TP
							<input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点 ~ 西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点	5.2	40			SUS304TP
							西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点 ~ 西側 PCPS 区分Ⅳエリア	5.2	40			SUS304TP
							東側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点 ~ 東側 PCPS 区分Ⅳエリア	5.2	40			SUS304TP
							中央制御室床下フリーアクセスフロア 消火設備（SA（Ⅰ））用ハロゲン化 物ポンベ ~ <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点	5.2	40			SUS304TP

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
消火設備	—	—				<input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点 ～ PCPS 区分 SA(I) エリア	5.2	40			SUS304TP
						中央制御室床下フリーアクセスフロ ア消火設備 (SA (II)) 用ハロゲン化 物ポンベ ～ <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点	5.2	40			SUS304TP
						<input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点 ～ 西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点及び東側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点	5.2	40			SUS304TP
						西側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点 ～ 西側 PCPS 区分 SA(II) エリア	5.2	40			SUS304TP
						東側 <input type="checkbox"/> 供給ライン分岐点 ～ 東側 PCPS 区分 SA(II) エリア	5.2	40			SUS304TP
						消火設備	—	—			

注記* : 公称値を示す。

5号機原子炉建屋内緊急時対策所消火設備主配管

以下の設備は、7号機設備であり、6号機及び7号機共用（7号機で申請済）である。

A系計装用電源室用ハロゲン化物ボンベ～A系計装用電源室（7号機設備，6,7号機共用）

階段室（An/A 3F 北西）前室用ハロゲン化物ボンベ～階段室（An/A 3F 北西）前室（7号機設備，6,7号機共用）